

 **YAMAHA PORTATONE**
PSR-540

取扱説明書



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

記号表示について

△記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

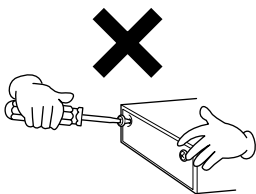
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-6)以外は使用しない。

(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



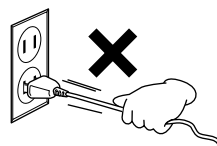
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



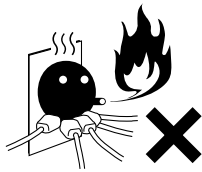
電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。





タコ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部
が異常発熱して発火したりする
ことがあります。



使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。



乾電池はすべて + / - の極性表示通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。



乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。



使い切りタイプの乾電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。



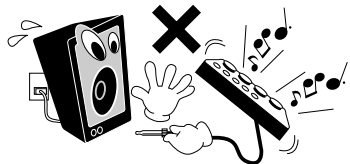
長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



乾電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



指定のスタンド/ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



作成したデータの保存について



作成したデータはこまめにフロッピーディスクに保存する。
作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。
また、使用済みの乾電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

はじめに

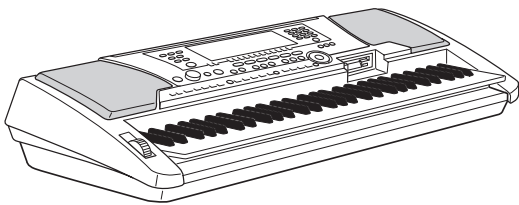
このたびはヤマハポータートーンPSR-540をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

PSR-540のいろいろな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

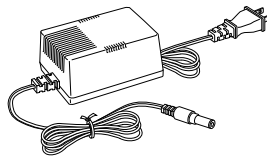
なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

同梱品(お確かめください)

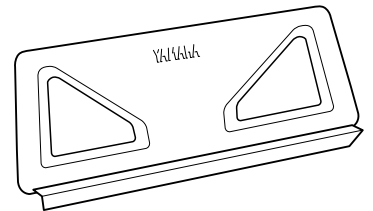
本体



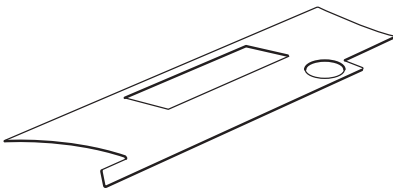
電源アダプターPA-6



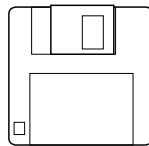
譜面立て(14ページ)



和文シート(14ページ)



サンプルディスク



取扱説明書
保証書

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おみやり)を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

取扱説明書の使いかた

ご使用前の準備

12ページ

電源の接続方法やフットスイッチ(ペダル)との接続方法について説明します。

特長

8ページ

PSR-540のさまざまな機能とそれが説明してあるページを並べています。使ってみたい機能をここで探してみましよう。

目次

6ページ

パネル各部の名称

10ページ

パネルのボタン一覧です。各ボタンについて説明してあるページも合わせて載せています。

ディスプレイの見かた

16ページ

ディスプレイに表示される内容について説明します。

基本操作

17ページ

さまざまな機能に共通した操作方法を説明します。

機能ツリー図

22ページ

PSR-540のさまざまな機能をツリー図としてまとめたものです。

リスト

123ページ

ボイス(音色)やスタイル、エフェクトなどのリストを掲載しています。

故障かな?と思ったら

134ページ

PSR-540がうまく機能しない場合にお読みください。ヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談になる前にお読みください。

索引

152ページ

五十音順、アルファベット順の2つあります。

この取扱説明書に掲載されている画面やイラストは、すべて操作説明のためのもので、実際の仕様と異なる場合があります。

目次

同梱品	4
-----	---

取扱説明書の使いかた	5
------------	---

PSR-540の特長	8
------------	---

パネルに印刷されているロゴについて	9
-------------------	---

パネル各部の名称	10
----------	----

フロントパネル	11
---------	----

リアパネル	11
-------	----

ご使用前の準備	12
---------	----

電源の準備	12
-------	----

フットスイッチの接続	13
------------	----

オーディオ機器との接続	13
-------------	----

MIDIケーブル/シリアルケーブルとの接続	14
-----------------------	----

譜面立て	14
------	----

和文シート	14
-------	----

デモソングを聴いてみましょう	15
----------------	----

ディスプレイの見かた	16
------------	----

基本操作を覚えましょう	17
-------------	----

画面の切り替え	17
---------	----

イーザーナビゲーターを使った画面の見かた	18
----------------------	----

メニューの選びかた	19
-----------	----

数値の入力方法	20
---------	----

データ/ファイルの名前のつけかた	21
------------------	----

ダイレクトアクセス	21
-----------	----

機能ツリー図	22
--------	----

ダイレクトアクセス一覧表	24
--------------	----

モードについて	25
---------	----

スタイルモード	25
---------	----

ソングモード	25
--------	----

録音モード(ソング/スタイル/マルチパッド)	25
------------------------	----

ディスクモード	25
---------	----

ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾いてみましょう	26
------------------------	----

音色を選んで鍵盤を弾く	26
-------------	----

2つのボイス(音色)を同時に鳴らす	27
-------------------	----

右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす	28
----------------------	----

鍵盤の持つ機能	29
---------	----

鍵盤の音程を移調する	30
------------	----

鍵盤のピッチを変化させる	30
--------------	----

鍵盤の音に余韻をつける	30
-------------	----

鍵盤で打楽器を鳴らす(キーボードパーカッション)	31
--------------------------	----

自動伴奏を使ってみましょう	32
---------------	----

リズムだけを再生する	32
------------	----

左手でコードを押さえて全トラックを再生する	33
-----------------------	----

自動伴奏のパターンに変化をつける(セクション)	34
-------------------------	----

自動伴奏のテンポ設定	36
------------	----

特定のトラックを消音(オフ)して再生する	37
----------------------	----

自動伴奏だけの音量を変更する	37
----------------	----

コードの押さえ方	38
----------	----

コードを押さえる鍵域と右手鍵域(R1,R2)の境界点	40
----------------------------	----

シンクロストップ	41
----------	----

ワンタッチセッティング	42
-------------	----

マルチパッドを鳴らしてみましょう	43
------------------	----

マルチパッドを鳴らす	43
------------	----

コードに合わせて鳴らす	43
-------------	----

バンクを選ぶ	44
--------	----

コードマッチを設定する	44
-------------	----

マルチパッドバンクリスト	45
--------------	----

エフェクトを使ってみましょう	46
----------------	----

リバーブ	46
------	----

コーラス	48
------	----

DSP	49
-----	----

システムエフェクトとインサクションエフェクト	50
------------------------	----

ハーモニー/エコー	50
-----------	----

パネルの設定を記憶させましょう	54
-----------------	----

パネル設定を記憶させる	55
-------------	----

パネル設定を呼び出す	55
------------	----

バンクを選ぶ	56
--------	----

バンクに名前をつける	56
------------	----

ディスクを活用しましょう 57

- フロッピーディスクの取り扱いについて 58
- 付属のディスクを活用してみましょう 59
- フォーマット(フロッピーディスクの初期化) 60
- セーブ(ディスクにデータを保存する) 60
- ロード(ユーザーデータを読み出す) 62
- ディスクのソングをコピーする 64
- ディスクのファイルを削除(デリート)する 67

ディスクソングを聴いてみましょう 68

- ディスクソングを再生する 68
- ソングの特定のトラックを
消音(オフ)して再生する 70
- ソングだけの音量を変える 70
- ソングの途中から再生する 71
- ソングの一部を繰り返し再生する(リピート再生) 72
- ソングだけの音程を変える 73

各パートの設定をしましょう 74

- 各パートのボイスを変更する 75
- 各パートの音量を変更してバランスをとる 76
- 各パートのパラメーターを変更する 77

演奏を録音しましょう(ソング録音) 78

- クイック録音 80
- マルチトラック録音 82
- 部分的に録音をやり直す 84
- 録音データのタイミングのばらつきを整える 86
- 録音したソングのボイスデータを書き替える 88
- 録音したソングに名前をつける 90
- 録音したソングをトラック別に消去する 91

マルチパッドに録音しましょう 92

- ユーザーパッドに録音する 92
- 録音したパッドのコードマッチを設定する 94
- 録音したパッドのバンクに名前をつける 94
- 録音したパッドをクリア(消去)する 95

自動伴奏スタイルを自分で作ってみましょう 96

- リズムトラックに録音する 98
- ベース/フレーズ/パッド/コードトラックに録音する 100
- 録音データのタイミングのばらつきを整える 102
- 録音したスタイルに名前をつける 104
- 録音したスタイルを消去する 104

MIDI機器を接続して演奏しましょう 106

- MIDIって何? 106
- MIDIでできること 108
- MIDIデータの互換性について 109
- パーソナルコンピューターと接続する 110
- 代表的なMIDI設定をワンタッチで設定する 112
- MIDI送信設定 114
- MIDI受信設定 115
- ローカルコントロール 116
- クロック 116
- イニシャルセンド 117

その他の便利な機能 118

- メトロノームを鳴らす 118
- R1, R2, L のオクターブを調整する 119
- 楽器全体のピッチを調整する 119
- 鍵盤ごとのピッチを調整する 119
- スプリットポイントを設定する 119
- 鍵盤を弾いたときの感度を設定する 120
- ボイスセットを活用する 120
- フットスイッチの機能を設定する 121
- ピッチバンドの変化幅を変更する 122

資料 123

- ボイスリスト 123
 - パネルボイスリスト 123
 - XGボイスリスト 125
- ドラムキットリスト 128
- スタイルリスト 130
- デジタルエフェクト
 - (リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ 131
 - リバーブタイプリスト 132
 - コーラスタイプリスト 132
 - DSPタイプリスト 132
- ハーモニー/エコータイプリスト 133
- 故障かな?と思ったら 134
- 初期化(イニシャライズ)の方法 135
- オプション商品のご紹介 135
- エラーメッセージリスト 136
- MIDIデータフォーマット 138
- MIDIインプリメンテーションチャート 150
- 索引 152
- コンピューターを使って、
PSR-540をもっと楽しんでいただくために .. 157
- 仕様一覧 158
- 保証とアフターサービス 159

エフェクト機能を活用しましょう

PSR-540の音に、コンサートホールやライブハウスで弾いているような残響効果(リバーブ)をかけることができます。 46ページ

PSR-540の音に、複数のパートが同時に演奏しているような効果(コーラス)をかけることができます。 48ページ

リバーブやコーラスに加え、ディストーションやトレモロのように特定の楽器(パート)に効果をかけるDSPエフェクトもあります。 49ページ

鍵盤を1つ押さえただけでハーモニー音が付いたり、エコーがかかるエフェクト(ハーモニー/エコー)もあります。

50ページ

ディスク(DISK)機能を活用しましょう

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入すれば、さまざまなデータを再生(演奏)させたり、保存(セーブ)/呼び出し(ロード)することができます。 57ページ

MIDI機能を活用しましょう

パーソナルコンピューターやMIDI対応機器とPSR-540を接続して、MIDIデータのやりとりをすることで、音楽の可能性を広げることができます。 106ページ

代表的なMIDI設定をワンタッチで呼び出せるMIDIテンプレート機能を使ってみましょう。 112ページ

他にも便利な機能がたくさんあります

メトロノーム、オクターブ、ピッチ、スプリットポイント、鍵盤の感度、フットスイッチ、ピッチベンドの変化幅などを設定することができます。

118ページ

パネルに印刷されているロゴについて



GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。

PSR-540はGMシステムレベル1に対応しています。



XG

「XG」は、音色配列に関する「GMシステムレベル1」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺環境にも対応させ、豊かな表現力とデータの継続性を可能としたヤマハの音源フォーマットです。「XG」では、音色の拡張方式やエディット方式、エフェクト構成やタイプなどを規定して、「GMシステムレベル1」を大幅に拡張しました。「XG」に対応した音源やソングデータには、このXGマークがついています。

PSR-540はXGに対応しています。



スタイルファイル

スタイルファイルフォーマットとは、ヤマハの自動伴奏(オートアカンパニメント)機能のノウハウを集大成した統一フォーマットです。スタイルファイルフォーマット対応のPSR-540では、スタイルファイルフォーマットで作成されたスタイルデータのディスクを本体にロードして再生させることができます。



DOC(ディスクオーケストラコレクション)

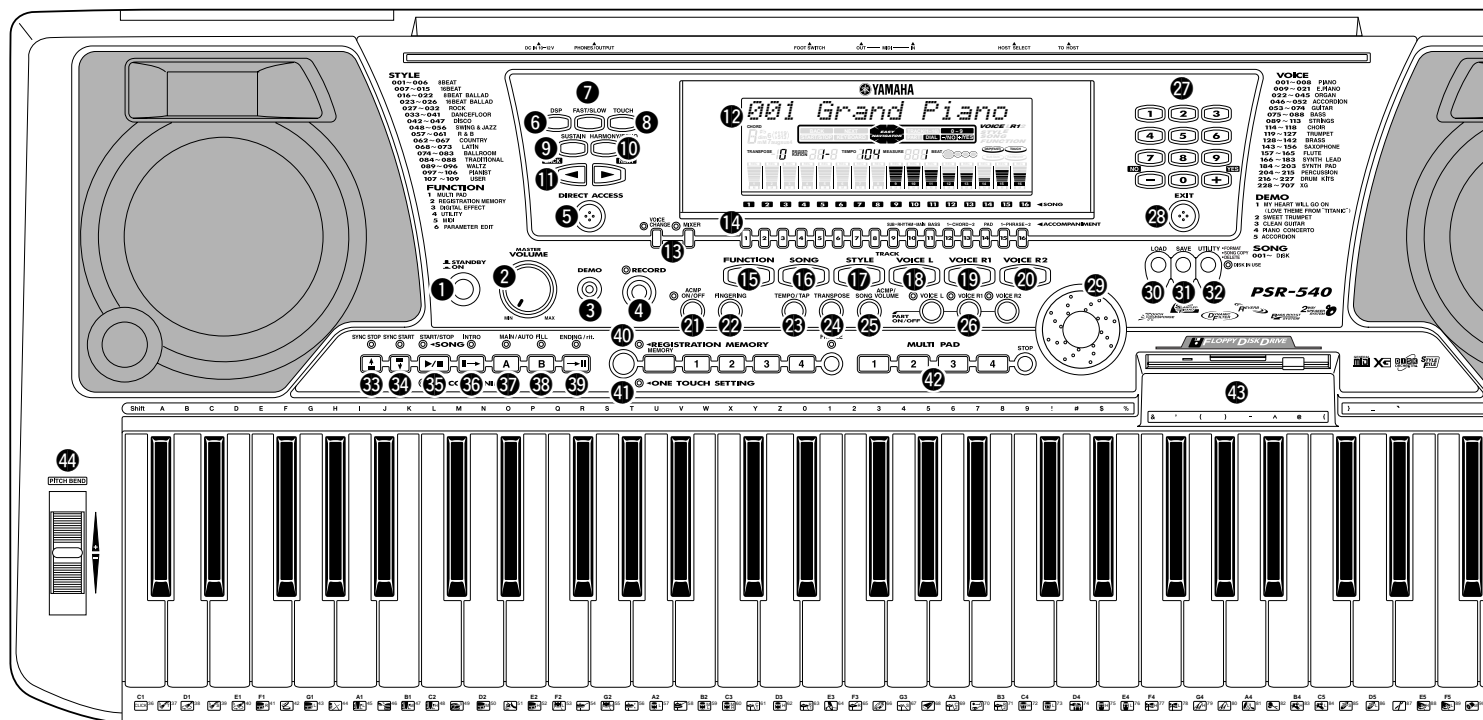
クラビノーバをはじめとするヤマハの多くのMIDI機器で対応している音色配列フォーマットです。

ディスクオーケストラコレクションに対応した市販ディスクにはDOCマークがついています。

PSR-540はDOCに対応しています。

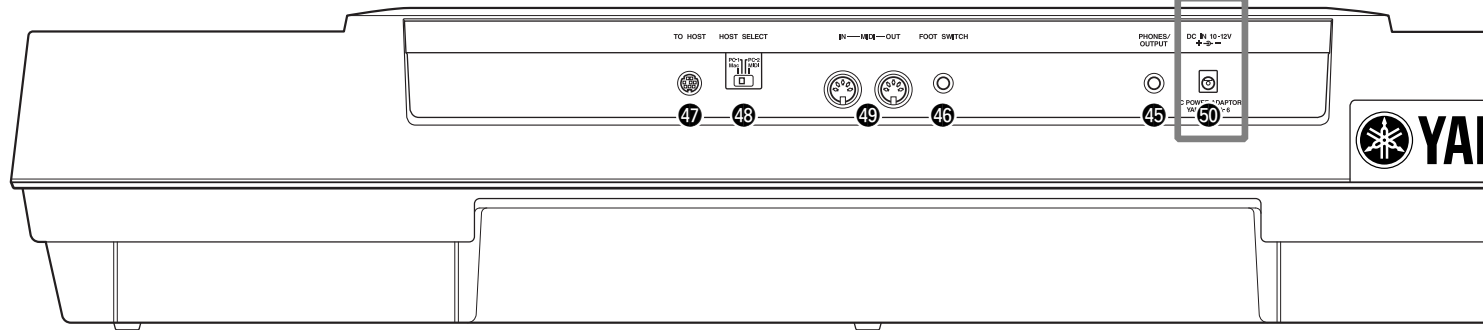
また上記のロゴ以外にも、PSR-540を使用する上で関連するフォーマットについて、109ページで説明します。

パネル各部の名称

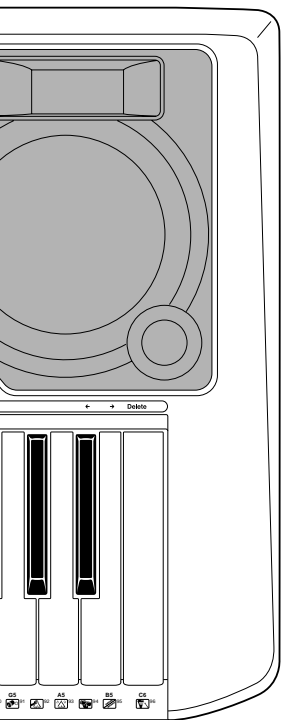


DC IN 10-12V
+ — —

AC POWER ADAPTOR
YAMAHA PA-6



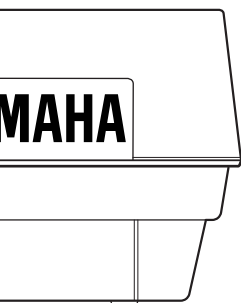
フロントパネル



- ① STANDBY/ON スタンバイ/オンスイッチ 15
- ② MASTER VOLUME マスターボリューム 15
- ③ DEMO デモボタン 15
- ④ RECORD 録音ボタン
..... 17, 25, 78, 92, 96
- ⑤ DIRECT ACCESS ダイレクトアクセスボタン
..... 21, 24
- ⑥ DSP DSPボタン 49
- ⑦ FAST/SLOW ファースト/スローボタン ... 49
- ⑧ TOUCH タッチボタン 120
- ⑨ SUSTAIN サステインボタン 30
- ⑩ HARMONY/ECHO ハーモニー/エコーボタン ... 50
- ⑪ BACK, NEXT バックボタン、ネクストボタン 17
- ⑫ LCD ディスプレイ 16
- ⑬ VOICE CHANGE ボイスチェンジボタン 75
MIXER ミキサーボタン 76
- ⑭ TRACK トラック1～16ボタン
..... 37, 70
- ⑮ FUNCTION ファンクション(機能)
ボタン 17, 77, 118
- ⑯ SONG ソングボタン .. 17, 25, 68
- ⑰ STYLE スタイルボタン .. 17, 25, 32
- ⑱ VOICE L ボイスL ボタン 28
- ⑲ VOICE R1 ボイスR1 ボタン 27
- ⑳ VOICE R2 ボイスR2 ボタン 27
- ㉑ ACMP ON/OFF 自動伴奏オン/オフボタン
..... 25, 33
- ⑳ FINGERING フィンガリングボタン 38
- ㉓ TEMPO/TAP テンポ/タップボタン 36
- ㉔ TRANSPOSE トランスポーズ(移調)
ボタン 30
- ㉕ ACMP/SONG VOLUME 自動伴奏/ソング音量ボタン
..... 37, 70

- ㉖ PART ON/OFF パートオン/オフ
VOICE L ボイスL ボタン 28
VOICE R1 ボイスR1 ボタン 27
VOICE R2 ボイスR2 ボタン 27
- ㉗ ナンバーボタン [1][0][- /NO][+ /YES]
..... 20
- ㉘ EXIT エグジットボタン 17
- ㉙ ダイアル 20
- ㉚ LOAD ロードボタン 17, 62
- ㉛ SAVE セーブボタン 17, 60
- ㉜ UTILITY ユーティリティボタン
..... 17, 64, 67
- ㉝ SYNC STOP シンクロストップボタン . 41
- ㉞ SYNC START シンクロスタートボタン 33
- ㉟ START/STOP スタート/ストップボタン
..... 32, 69
- ㊱ INTRO イントロ 34
- ㊲ MAIN/AUTO FILL A メイン/オートフィルAボタン
..... 34
- ㊳ MAIN/AUTO FILL B メイン/オートフィルBボタン
..... 34
- ㊴ ENDING/rit. エンディング/リタルダンド
ボタン 34
- ㊵ REGISTRATION MEMORY レジストレーションメモリー
..... 54
- ㊶ ONE TOUCH SETTING ワンタッチセッティング . 42
- ㊷ MULTI PAD マルチパッド 43
- ㊸ ディスクドライブ 58
- ㊹ PITCH BEND ピッチベンドホイール 30

リアパネル



- ㊿ PHONES/OUTPUT ヘッドフォン/出力端子 .. 13
- ④⑥ FOOT SWITCH フットスイッチ端子 13
- ④⑦ TO HOST トゥーホスト端子 107
- ④⑧ HOST SELECT ホストセレクトスイッチ . 110
- ④⑨ MIDI IN/OUT MIDI IN/OUT端子 107
- ⑤⑩ DC IN 10-12V 電源アダプター端子 12

ご使用前の準備

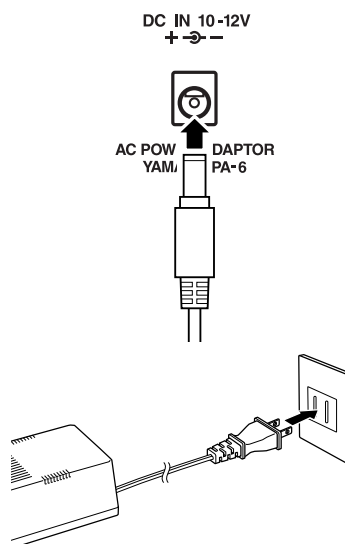
電源を入れる前に必要な準備について説明します。

電源の準備

PSR-540は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

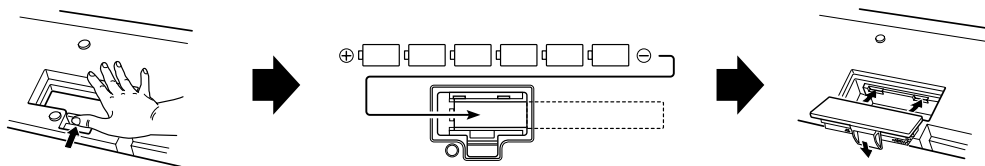
- 1 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイ)になっていることを確認してください。
- 2 アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 10-12V (電源アダプター接続)端子にさし込みます。
- 3 アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



アダプターを抜くときは、必ず逆の手順にしてください。

乾電池を使うときは

- 1 PSR-540を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。
- 2 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合せて、向きを間違えないように入れてください。
- 3 電池ブタを閉めます。



メモ

乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。乾電池が入っている状態で、電源アダプターをさし込んだり抜いたりすると、PSR-540は電源を入れ直した状態になります。



電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-6をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。



使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、ディスプレイに「Battery Low」と数秒ごとに表示が出たり、音量が小さくなったり、音質が劣化したりディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。



乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。



乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。



長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

乾電池についてのご注意

- ・PSR-540は電力消費が大きいため、乾電池よりも電源アダプターをご使用になることをおすすめします。乾電池はデータのバックアップなど補助的なものとしてご使用ください。
- ・フロッピーディスクドライブは特に電力消費が大きいため、ソングの録音/再生やデータのセーブなどを行う場合は、必ず電源アダプターをご使用ください。電源アダプターを使用しない場合、乾電池が消耗すると、ディスクに録音/セーブしようとしたデータだけでなく、内蔵メモリーに録音されていたユーザースタイル、ユーザーパッド、レジストレーションメモリーなどのデータも失われますので、ご注意ください。
- ・上記の点をご考慮いただき、データを作成したり演奏会などで演奏したりするような重要な機会には、必ず電源アダプターをご使用ください。

フットスイッチの接続

フットスイッチ端子(FOOT SWITCH端子)

リアパネルのFOOT SWITCH端子にフットスイッチ(FC4またはFC5:別売)を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行えます。サステインとは、ピアノのペダルのように押鍵した音に余韻を付け加える機能です。

また、この端子に接続したフットスイッチ(ペダル)に、自動伴奏のスタート/ストップなど、パネルのボタン機能を持たせることもできます。(121ページ)



メモ

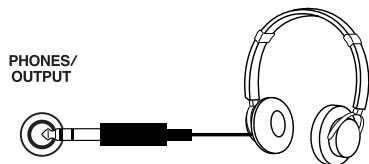
フットスイッチの抜き差しは電源を切った状態で行いましょう。

フットスイッチにサステイン、またはソステヌート機能を持たせている場合(121ページ)、フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

オーディオ機器との接続

ヘッドフォン端子(PHONES/OUTPUT端子)

ヘッドフォンを使用する場合は、この端子に接続します。接続すると同時に、PSR-540のスピーカーからは音が出なくなります。

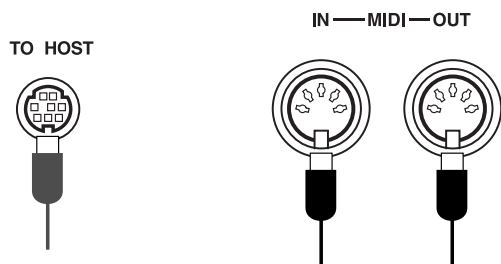


PSR-540を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

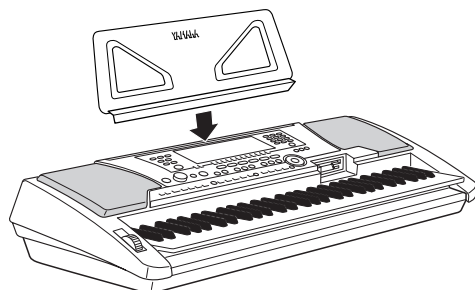
MIDIケーブル/シリアルケーブルとの接続



107ページを参照してください。

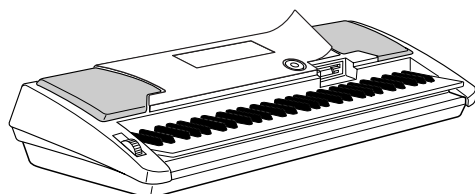
演奏に際して、付属の譜面立てや和文シートをご使用になると便利です。

譜面立て



楽譜を見ながら演奏する場合は、付属の譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-540のパネル上のスロットに差し込んでください。

和文シート



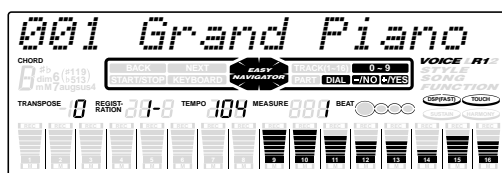
PSR-540のパネルは英語で表記されています。この取扱説明書の操作説明は英語表記を使用しますが、付属の和文シートをパネルにのせてご利用になることもできます。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。

デモソングを聴いてみましょう

デモ
DEMO

PSR-540本体には5曲のデモソングがあります。
電源の接続ができれば、最初にデモソングを鳴らしてみましょう。

- 1** スタンバイ/オン
[STANDBY/ON] スイッチを押して電源を入れます。
もう一度押すと電源が切れます。



! スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。PSR-540を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。

- 2** デモ
[DEMO] ボタンを押すとデモソングがスタートします。



1 MyHeart.GoOn

My Heart Will Go On (Love Theme From 'Titanic')
from the Paramount and Twentieth Century Fox Motion Picture TITANIC
Music by James Horner
Lyrics by Will Jennings
Copyright © 1997 by Famous Music Corporation, Ensign Music Corporation, TCF Music Publishing, Inc., Fox Film Music Corporation and Blue Sky Rider Songs
All Rights for Blue Sky Rider Songs Administered by Irving Music, Inc.
International Copyright Secured All Rights Reserved

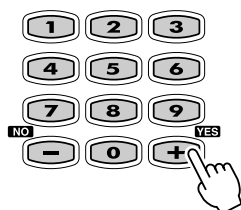
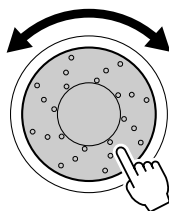
メモ
マルチパッドバンクの「14 WaterSE(ウォーターSE)」を選んで(45ページ)、マルチパッドを押すとデモソング1曲目の雰囲気マッチした効果を楽しめます。

- 3** マスターボリューム
MASTER VOLUMEで音量を調整します。



メモ
マスターボリューム「MAX」にすると、電池の消耗が早くなります。

- 4** デモソングを変更することもできます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使い5曲の中から選べます。

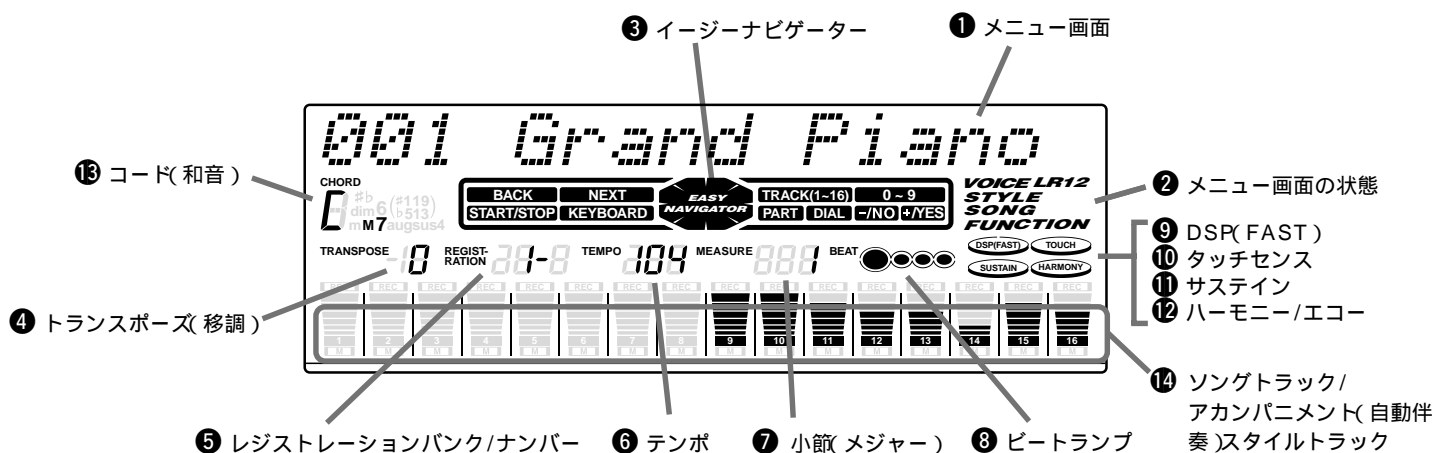


2 Sweet Trumpet

- 5** デモ
[DEMO] ボタンをもう1度押すと、デモソングの演奏はストップします。

ディスプレイの見かた

PSR-540は、各機能の設定状況をフロントパネル中央のディスプレイに表示します。



① メニュー画面

PSR-540の各機能のメニューを表示します。詳細は「基本操作を覚えましょう」(17ページ)をご参照ください。

② メニュー画面の状態

メニュー画面に表示されている項目を表示します。詳細は「基本操作を覚えましょう」(17ページ)をご参照ください。

③ イージーナビゲーター

次に押すべきボタンを表示します。詳細は「基本操作を覚えましょう」(18ページ)をご参照ください。

④ トランスポーズ(移調)

鍵盤演奏、自動伴奏(オートアカンパニメント)、ソングの音程を表示します。(30ページ)

⑤ レジストレーションバンク/ナンバー

現在選ばれているレジストレーションナンバー(1~4)またはワンタッチセッティングナンバーを表示します。(56ページ)

⑥ テンポ

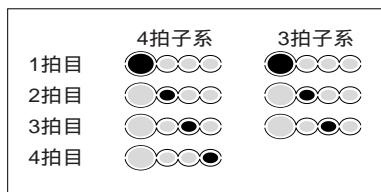
自動伴奏(オートアカンパニメント)またはソングの再生時の速さ(テンポ)を表示します。(36ページ)

⑦ 小節(メジャー)

再生中の曲(ソング)の小節ナンバーを表示します。

⑧ ビートランプ

自動伴奏(オートアカンパニメント)やソングがスタートすると、ディスプレイの4つのランプが、設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート(BEAT: 拍数)を表示します。



⑨ DSP(FAST)

「DSP」の点灯でDSPのオンを、「FAST」の点灯でファーストに設定されていることを示します。「DSP」が点灯し「FAST」が消灯している場合はDSPがスローで設定されていることを示します。(49ページ)

⑩ タッチセンス

「TOUCH」の点灯でタッチセンスがオンに設定されていることを示します。(120ページ)

⑪ サステイン

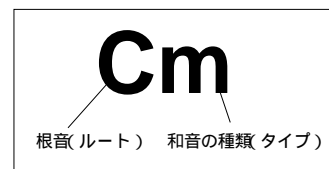
「SUSTAIN」の点灯でサステインがオンに設定されていることを示します。(30ページ)

⑫ ハーモニー/エコー

「HARMONY」の点灯でハーモニー/エコーが設定されていることを示します。(50ページ)

⑬ コード(和音)

PSR-540の自動伴奏(オートアカンパニメント)は、自動伴奏のコード鍵域で指定したコードにしたがって再生されます。ここではコード鍵域で指定したコードの根音(ルート)と種類(タイプ)が表示されます。(33ページ)



⑭ ソングトラック/アカンパニメント(自動伴奏)スタイルトラック

ソングモード(25ページ)、デモソングモード(15ページ)の場合

1~16すべてがソングトラックのボリューム表示になります。

スタイルモード(25ページ)

9~16が自動伴奏トラックのボリューム表示になります。

録音モード(25ページ)の場合

1~16すべてがソングトラックのボリューム表示になり、また録音されているトラックには「REC」のマークが点灯表示されます。

基本操作を覚えましょう

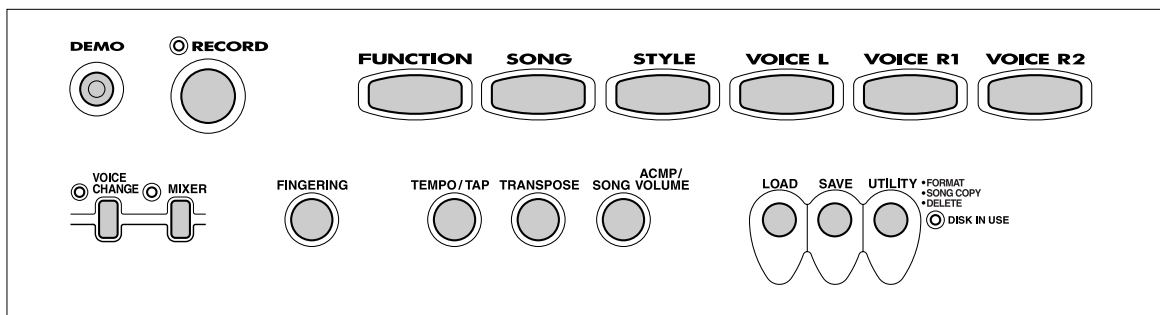
PSR-540 のさまざまな機能に共通する操作方法について説明します。
フロントパネル中央のディスプレイの中の「操作画面」の見かた/使いかたの説明が中心になります。

画面の切り替え	17ページ
ヘルプ/操作ガイドの見かた	18ページ
メニューの選びかた	19ページ
数値の入力方法	20ページ
データ/ファイルの名前のつけかた	21ページ
ダイレクトアクセス	21ページ

画面の切り替え

PSR-540 のさまざまな機能の画面に切り替えるには、以下のボタンを押します。

- | | |
|--|--|
| ・ DEMO(デモ)..... 15ページ | ・ ACMP/SONG VOLUME(自動伴奏/ソング 音量)..... 76ページ |
| ・ VOICE R1(ボイスR1)..... 25, 78, 92, 96ページ | ・ TRANSPOSE(トランスポーズ)..... 38ページ |
| ・ VOICE R2(ボイスR2)..... 77, 118ページ | ・ TEMPO/TAP(テンポ/タップ)..... 36ページ |
| ・ VOICE L(ボイスL)..... 25, 68ページ | ・ FINGERING(フィンガリング)..... 30ページ |
| ・ STYLE(スタイル)..... 25, 32ページ | ・ DISK LOAD(ディスク ロード)..... 37, 70ページ |
| ・ SONG(ソング)..... 28ページ | ・ DISK SAVE(ディスク セーブ)..... 62ページ |
| ・ MIXER(ミキサー)..... 27ページ | ・ DISK UTILITY(ディスク ユーティリティ)..... 60ページ |
| ・ VOICE CHANGE(ボイスチェンジ)..... 27ページ | ・ RECORD(録音)..... 64, 67ページ |
| ・ FUNCTION(ファンクション)..... 75ページ | |



これらのボタンを押すことで、各機能の画面になります。
詳細は機能ツリー図(22ページ)を参照してください。

各機能の画面に入ってから、ディスプレイ左の [BACK] [NEXT] ボタンを使って画面を切り替えます。次の画面に進む場合は [NEXT] ボタンを押し、1つ前の画面に戻る場合は [BACK] ボタンを押します。もちろん、上記のボタンを押して別の機能画面へ切り替えることも可能です。



各画面を抜ける方法

機能ツリー図(22ページ)で示したように、PSR-540 にはさまざまな機能があり、それぞれの画面があります。各機能の画面から抜けるためには、[EXIT] ボタンを押します。

また、さまざまな画面があるため、操作をしているうちにどこの画面を表示させているのか、わからなくなることもあるかもしれません。そんなときは [EXIT] ボタンを何回か押してください。電源を入れたときの画面に戻ることができます。

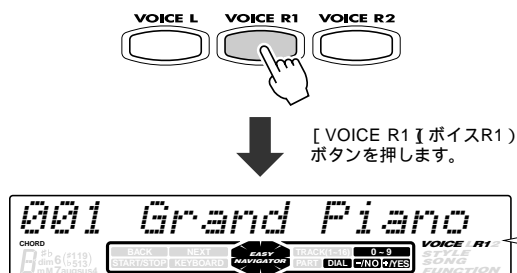


イーザーナビゲーターを使った画面の見かた

PSR-540 のメニュー画面では、機能別にさまざまな画面が表示されます。また「EASY NAVIGATOR (イーザーナビゲーター)」の左右にあるボタンのアイコン表示で、次に操作すべきボタンをガイドする機能があります。

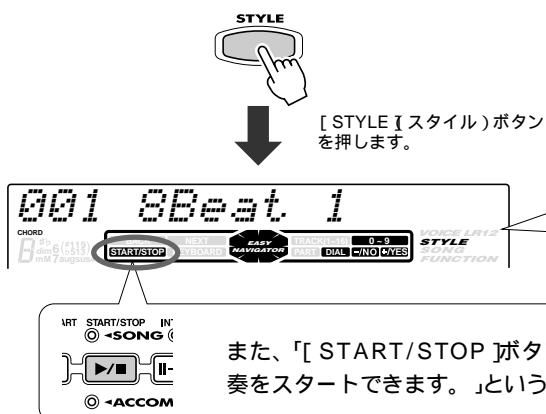
いくつか例をあげてみましょう。

ボイス(音色)



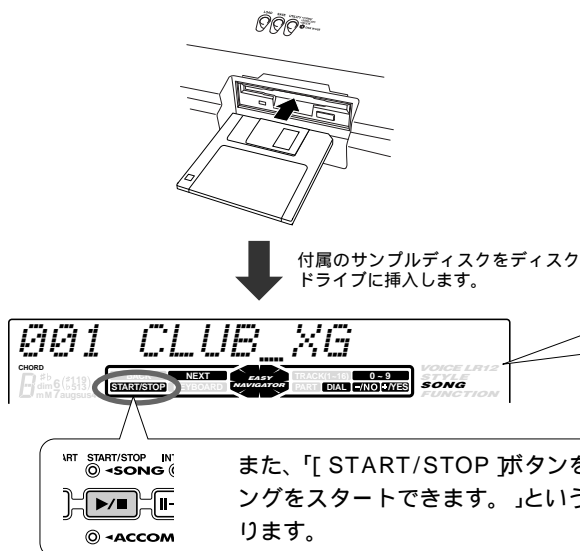
この画面の見かた
「現在、選ばれているVOICE R1(ボイスR1)の音色(Grand Piano)が最上段に表示されています。ダイヤル、[+ /YES ボタン、[- /NO ボタン、ナンバーボタン[0]~[9]を使ってVOICE R1のボイス(音色)を変更することができます。」という意味です。

スタイル(自動伴奏)



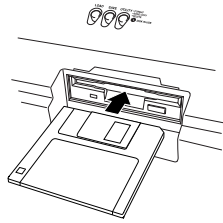
この画面の見かた
「現在、選ばれているスタイル(8Beat 1)が最上段に表示されています。ダイヤル、[+ /YES ボタン、[- /NO ボタン、ナンバーボタン[0]~[9]を使ってスタイルを変更することができます。」という意味です。

ソング



この画面の見かた
「現在、選ばれているソングが最上段に表示されています。ダイヤル、[+ /YES ボタン、[- /NO ボタン、ナンバーボタン[0]~[9]を使ってソングを変更することができます。」という意味です。

ディスク



未フォーマットディスクをディスクドライブに挿入すると、「Unformatted」と表示されます。その状態で「EXIT」ボタンを押します。



この画面の見かた
「[+ /YES]ボタンを押すと、ディスクのフォーマットを実行します。」という意味です。

メニューの選びかた

PSR-540では、音色(ボイス)やデモソング、スタイルなど、各機能の画面でメニューを選ぶ場合があります。

たとえば、以下の画面は「FUNCTION」ボタンを押したときに表示される画面で、ファンクション(機能)を選ぶ場合です。



この場合は、ダイヤルを回すか、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを押すことでファンクション(機能)を選ぶことができます。



[- /NO]ボタン ↑ ↓ [+ /YES]ボタン



[- /NO]ボタン ↑ ↓ [+ /YES]ボタン



[- /NO]ボタン ↑ ↓ [+ /YES]ボタン



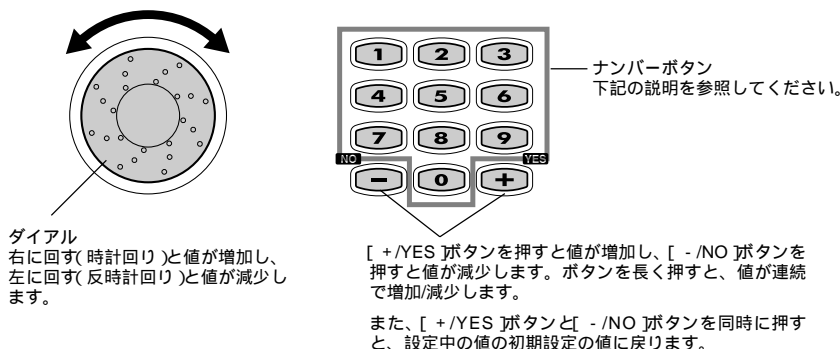
また、以下の画面は「VOICE R1」ボタンを押したときに表示される画面で、ボイス(音色)を選ぶ場合です。



この場合も上記のようにダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使えばボイス(音色)を選ぶことはできますが、さらにナンバーボタン[0]-[9]で数値入力する方法もあります。(次ページ)

数値の入力方法

ボイス(音色)ナンバーやソング/スタイルナンバーや、さまざまなパラメーターの数値を設定する方法を説明します。数値の入力には、ナンバーボタン[0]~[9]、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタン、ダイヤルを使います。

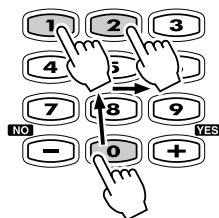


ナンバーボタン[0]~[9]で数値を入力する

ここでは、ボイスナンバーやスタイルナンバーなど入力できる数字の最大値が3桁の場合について説明します。

1桁、2桁の数値を設定する場合

たとえば「12」という数字を設定する場合、ナンバーボタン[0] [1] [2]の順番に続けて押します。



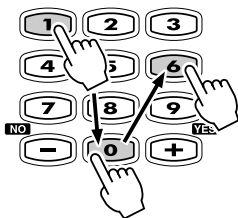
メモ

1桁、2桁のボイスナンバーを選ぶ場合、ナンバーの頭に「0」をつけずに入力することもできます。たとえば、ナンバー12を選ぶ場合は、ナンバーボタンを[1]、[2]の順番に続けて押し、しばらくしてから「012」という数値が認識されます。

すぐに、「012」という数値が認識されます。

3桁の数値を設定する場合

たとえば「106」という数字を設定する場合、ナンバーボタン[1] [0] [6]の順番に続けて押します。



すぐに、「106」という数値が認識されます。

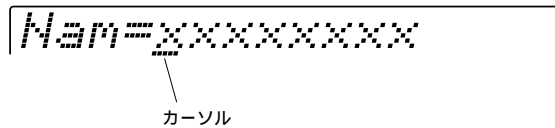
データ/ファイルの名前のつけかた

PSR-540ではソング、スタイル、レジストレーションメモリーなど、さまざまなデータを制作できます。それぞれのデータには自由に名前を付けることができます。

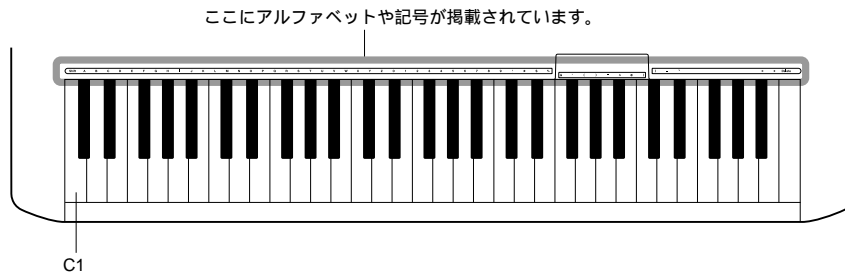
名前をつけることのできるデータは以下のとおりです。

ディスクのファイル(ユーザーソング他)	61, 65, 66, 90ページ
ユーザースタイル	104ページ
ユーザーパッドバンク	94ページ
レジストレーションメモリーバンク	56ページ

下記の画面は、ディスクのファイルに名前をつける画面です。(65ページ)



名前の入力には鍵盤を使います。



- 文字を入力 鍵盤を押すと、画面のカーソル位置の文字や数字が、その鍵盤の上にあるアルファベットに変わります。
- カーソル移動 ← →と印刷されている箇所の下に鍵盤を押すと、画面上のカーソルが左右に移動します。
- 小文字の入力 **Shift**と印刷されている箇所の下に鍵盤を押しながらアルファベットの鍵盤を押すと、カーソル位置に小文字が入力されます。
- 一文字削除 **Delete**と印刷されている箇所の下に鍵盤を押すと、カーソル位置の文字が削除されます。

メモ

ディスクのファイル名をつける場合、小文字は入力できません。




ダイレクトアクセス













[DIRECT ACCESS] ボタンを使うことにより、目的の画面へ速く切り替えることができます。たとえば、[DIRECT ACCESS] ボタンと[REGISTRARTION MEMORY] ボタンを同時に押すと、レジストレーションメモリーのバンクネーム入力画面に切り替わります。



ダイレクトアクセス機能で切り替えることのできる画面については、ダイレクトアクセス一覧表(24ページ)を参照してください。

機能ツリー図

ボタン	画面タイトル	機能	参照ページ
DEMO	MyHeartGoOn	デモソング選択	15
VOICE R1	001 Grand Piano	ボイスR1選択	26
VOICE R2	001 Grand Piano	ボイスR2選択	27
VOICE L	001 Grand Piano	ボイスL選択	28
STYLE	001 8Beat 1	スタイル選択	32
SONG	001 CLUB_XG	ソング選択	68
	S. Menu	ソングメニュー選択	69
	PlyMode	ソング再生方法の選択	69
	Measure	ソング再生開始小節の設定	71
	AbRepeat	ソングリピート再生の設定	72
S.Trans	ソングトランスポーズの設定	73	
VOICE CHANGE	T01 = 001 Grand Pno	ボイスR1/R2/Lおよびスタイル/ソングトラックのボイス選択	75
MIXER	Volume R1	ボイスR1/R2/Lの音量調整	 1, 2, 3 76
	Volume Ph1	スタイルの音量調整	76
	Volume T01	ソングの音量調整	76
ACMP/SONG VOLUME	Acmp Volume	自動伴奏の音量	37
	Song Volume	ソングの音量	70
TRANSPOSE	Transpose	トランスポーズ値の設定	30
TEMPO/TAP	Tempo	テンポ値の設定	36
FINGERING	FingerMode	フィンガリングの選択	38
LOAD	Ld	ディスクからのロード	62
SAVE	Sv	ディスクへのセーブ	60
UTILITY	Menu		
	Format	ディスクのフォーマット	60
	SongCopy	ディスクソングのコピー	64
	Delete	ディスクファイルのデリート	67

ボタン	画面タイトル	機能	参照ページ	
FUNCTION	F1 Multi Pad			
	Bank	マルチパッドバンクの選択	 4	44
	C.Match	マルチパッドコードマッチのオン/オフ設定	 5	43
	F2 Regist Memory			
	Bank	レジストレーションメモリーバンクの選択	 6	56
	R.Name	レジストレーションメモリーバンクの名前設定	 7	56
	F3 Digital Effect			
	Reverb			
	Type	リバーブタイプの選択		46
	Return Level	リバーブリターンレベルの設定		47
	Chorus			
	Type	コーラスタイプの選択		48
	Return Level	コーラスリターンレベルの設定		48
	DSP			
	Type	DSPタイプの選択	 8	49
	Return Level	DSPリターンレベルの設定		49
	Harmony			
	Type	ハーモニー/エコータイプの選択	 9	50
	Harmony Vol	ハーモニー/エコーボリューム		52
	H.Part	ハーモニーパートの設定		53
	F4 Utility			
	Metronom	メトロノームのオン/オフ設定	 10	118
	Octave	パートオクターブの設定	 11, 12, 13	119
	Tuning	マスターチューニングの設定		119
	SC.Tune	スケールチューニングの設定		119
	Split	スプリットポイントの設定	 14	119
	TouchSns	タッチセンスの設定	 15	120
	VoiceSet	ボイスセットオン/オフの設定		120
	Pedal	フットスイッチ機能の設定	 16	121
	PBRange	ピッチベンドレンジの設定	 17	122
	F5 Midi			
	Template	MIDIテンプレートの選択		112
	Load Ok?	MIDIテンプレートの設定		112
	Transmit Ch	MIDI送信チャンネルの設定		114
	Recive Ch	MIDI受信チャンネルの設定		115
	Local	ローカルコントロールのオン/オフ設定		116
	Clock	外部クロック/内部クロックの設定		116
	Init Send	パネル設定値のMIDI送信		117
	F6 Parameter Edit			
	Octave R1	ボイスR1/R2/Lのオクターブ設定		77
	Octave T01	ソングトラックのオクターブ設定		77
	Pan R1	ボイスR1/R2/Lのパン設定		77
	Pan RhM	スタイルトラックのパン設定		77
	Pan T01	ソングトラックのパン設定		77
	RevSend R1	ボイスR1/R2/Lのリバーブデプス設定		77
	RevSend RhM	スタイルトラックのリバーブデプス設定		77
	RevSend T01	ソングトラックのリバーブデプス設定		77
	ChoSend R1	ボイスR1/R2/Lのコーラスデプス設定		77
	ChoSend RhM	スタイルトラックのコーラスデプス設定		77
	ChoSend T01	ソングトラックのコーラスデプス設定		77
	DspSend R1	ボイスR1/R2/LのDSPデプス設定		77
	DspSend RhM	スタイルトラックのDSPデプス設定		77
	DspSend T01	ソングトラックのDSPデプス設定		77

ボタン	画面タイトル	機能	参照ページ
RECORD			
	Song		
	Quick Rec	ユーザーソングのクイック録音	80
	Multi Rec	ユーザーソングのマルチトラック録音	82
	Punch In/Out	ユーザーソングのパンチイン/アウト設定	84
	Rec Start	ユーザーソングの録音開始小節の設定	84
	Edit		
	Quantize	ユーザーソングデータのクオンタイズ	86
	Setup Dt	ユーザーソングのセットアップデータ編集	88
	Name	ユーザーソングの名前設定	90
	Clear	ユーザーソングのクリア	91
	Style		
	Record	ユーザースタイル録音	96
	Edit		
	Quantize	ユーザースタイルデータのクオンタイズ	102
	Name	ユーザースタイルの名前設定	104
	Clear	ユーザースタイルのクリア	104
	MultiPad		
	Record	ユーザーパッド録音	92
	Edit		
	ChdMatch	ユーザーパッドのコードマッチ設定	94
	Name	ユーザーパッドバンクの名前設定	94
	Clear	ユーザーパッドのクリア	95



ダイレクトアクセス一覧表

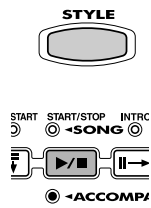
機能ツリー図番号/画面		[DIRECT ACCESS]ボタンと同時に押すボタン +
1	ボイスLの音量調整	PART ON/OFF[VOICE L]
2	ボイスR1の音量調整	PART ON/OFF[VOICE R1]
3	ボイスR2の音量調整	PART ON/OFF[VOICE R2]
4	マルチパッドバンクの選択	MULTI PAD[STOP]
5	マルチパッドコードマッチのオン/オフ設定	MULTI PAD[1]~[4]
6	レジストレーションメモリーバンクの選択	REGISTRATION MEMORY[1]~[4]
7	レジストレーションメモリーバンクの名前設定	REGISTRATION MEMORY[MEMORY]
8	DSPタイプの選択	[DSP]
9	ハーモニー/エコータイプの選択	[HARMONY/ECHO]
10	メトロノームのオン/オフ設定	[TEMPO/TAP]
11	パートオクターブLの設定	[VOICE L]
12	パートオクターブR1の設定	[VOICE R1]
13	パートオクターブR2の設定	[VOICE R2]
14	スプリットポイントの設定	[ACMP ON/OFF]
15	タッチセンスの設定	[TOUCH]
16	フットスイッチ機能の設定	フットスイッチ
17	ピッチベンドレンジの設定	ピッチベンド

モードについて

PSR-540は、パネル操作によってさまざまな状態になります。
それぞれの状態をモードと呼びます。ここではそれらモードについて、主なものについて説明します。

スタイルモード

32ページ



[STYLE]ボタンを押すと、このモードになります。(電源を入れたときのモードです。)
鍵盤をフルにを使って演奏したり、自動伴奏を使って演奏するためのモードです。
スタイルとは自動伴奏で鳴らすいろいろなリズムパターンのことです。
このモードでは [START/STOP] ボタンを押すと(ソングではなく)自動伴奏がスタートします。

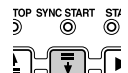
自動伴奏オン/オフ(ACMP オン/オフ) 33ページ

[ACMP ON/OFF] ボタンでオン/オフを切り替えます。

自動伴奏オンは、鍵盤を2つの範囲に分割し左側の鍵域はコード鍵域になります。

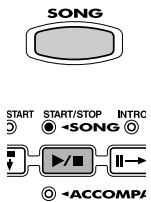


シンクロ待機状態オン/オフ (SYNC STARTオン/オフ).. 33ページ
[SYNC START] ボタンでオン/オフを切り替えます。
シンクロ待機状態オンは、鍵盤を押すと同時に自動伴奏がスタートする状態です。



ソングモード

68ページ



[SONG]ボタンを押すと、このモードになります。
また、ソングデータの入ったフロッピーディスクをディスクドライブに挿入すると自動的にこのモードになります。
鍵盤をフルにを使って演奏したり、ソングを再生するためのモードです。
このモードでは [START/STOP] ボタンを押すと(自動伴奏ではなく)ソングがスタートします。

録音モード(ソング/スタイル/マルチパッド)



[RECORD]ボタンを押すと、このモードになります。
演奏をソングに録音したり、オリジナルのスタイルやマルチパッドを制作するモードです。

ソング録音モード 78ページ
・リハーサルモード(シンクロ待機オフ)
・録音待機(シンクロ待機)状態
・録音中

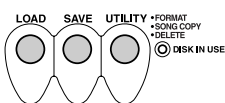
スタイル録音モード 96ページ
・リハーサルモード(シンクロ待機オフ)
・録音待機(シンクロ待機)状態
・録音中

パッド録音モード 92ページ
・リハーサルモード(シンクロ待機オフ)
・録音待機(シンクロ待機)状態
・録音中

録音待機(シンクロ待機)状態とは、鍵盤を押すと同時に録音が始まる状態です。

ディスクモード

57ページ



DISKの[LOAD] [SAVE] [UTILITY] ボタンを押すと、このモードになります。
ディスクからデータをロード(呼び出し)したり、ディスクにデータをセーブ(保存)したり、ディスクのデータを削除したりするモードです。
このモードでは、ディスクに関連する操作を除いてパネル操作ができなくなります。

ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾いてみましょう

ボイスR1/R2/L
VOICE R1/R2/L

PSR-540では、さまざまな楽器のボイス(音色)を選んで弾くことができます。
パネルに印刷されたボイスリストや、巻末のボイスリスト(123ページ)を参考にして、いろいろなボイス(音色)を試してみましょう。

さまざまな楽器のボイス(音色)を選んで弾くことができます。 ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾く。 鍵盤で打楽器を鳴らす。	26ページ 31ページ
鍵盤に3種類のボイス(音色)を割り当てて弾くことができます。 2つのボイス(音色)を同時に鳴らす。 右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす。 鍵盤が持つ機能	27ページ 28ページ 29ページ
さらに以下の機能も使ってみましょう。 鍵盤のピッチを変化させる。(ピッチベンド) 鍵盤の音程を移調する。(トランスポーズ) 鍵盤の音に余韻をつける。(サステイン) 鍵盤を弾いたときの強弱に対する感度を調整する。(タッチセンス)	30ページ 30ページ 30ページ 120ページ

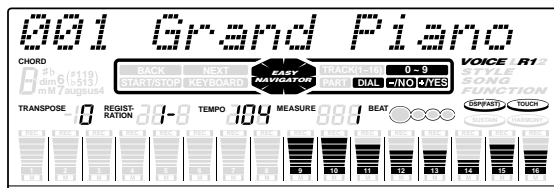
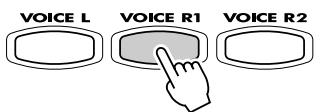
ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾く

ボイスR1
VOICE R1

1

ボイスR1

[VOICE R1] ボタンを押します。



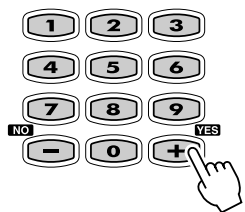
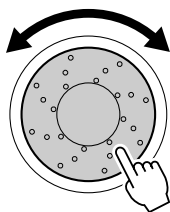
メモ

ここで選ぶボイスのことをPSR-540では「ボイスR1(RIGHT1)」と呼びます。「ボイスR1(RIGHT1)」については、29ページを参照してください。

2

ボイス(音色)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。パネル上のボイスリストや、巻末のボイスリスト(123ページ)を参考にしてください。



002 Bright Piano

3

弾いてみましょう。

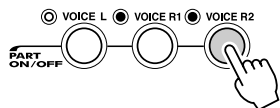


2つのボイス(音色)を同時に鳴らす

ボイスR1/R2
VOICE R1/R2

1

パートオン/オフ ボイスR2
[PART ON/OFF VOICE R2] ボタンを押します。



2

弾いてみましょう。

2つのボイス(音色)が同時に鳴ります。



26ページで鳴らしたボイスを右手で弾くボイスという意味でボイスR1(RIGHT 1) この手順で鳴らした2つめのボイスを右手で弾く2番めのボイスという意味でボイスR2(RIGHT 2) といいます。(29ページ)

ボイスR2を選ぶ

ボイスR2
VOICE R2

1

ボイスR2
[VOICE R2] ボタンを押します。



002 Bright Piano

2

ボイス(音色)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
パネル上のボイスリストや、巻末のボイスリスト(123ページ)を参考にしてください。

ここで選ぶ音色(VOICE R2)も、26ページで選んだ音色(VOICE R1)も選べる音色(ボイス)は同じです。

3

弾いてみましょう。



右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす

ボイスR1/L
VOICE R1/L

1

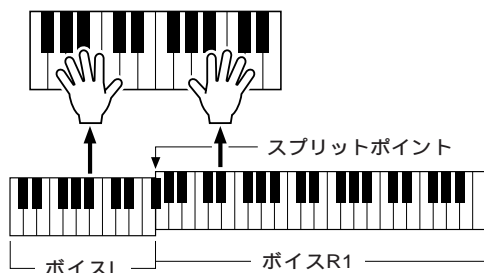
パートオン/オフ ボイスL
[PART ON/OFF VOICE L] ボタンを押します。



2

弾いてみましょう。

左手と右手とで別々のボイス(音色)が鳴ります。



26ページで鳴らしたボイスを右手で弾くボイスという意味でボイスR1(RIGHT 1) この手順で鳴らしたボイスを左手で弾くボイスという意味でボイスL(LEFT)といいます。(29ページ)

メモ

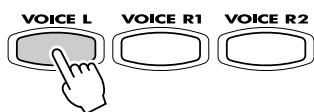
ボイスLとボイスR1の鳴る鍵盤の境界点をスプリットポイントといいます。(29ページ)

ボイスLを選ぶ

ボイスL
VOICE L

1

ボイスL
[VOICE L] ボタンを押します。



002 Bright Piano

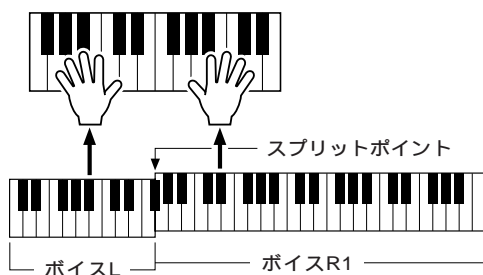
2

ボイス(音色)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
パネル上のボイスリストや、巻末のボイスリスト(123ページ)を参考にしてください。
ここで選ぶ音色(VOICE L)も、26ページで選んだ音色(VOICE R1)も選べる音色(ボイス)は同じです。

3

弾いてみましょう。

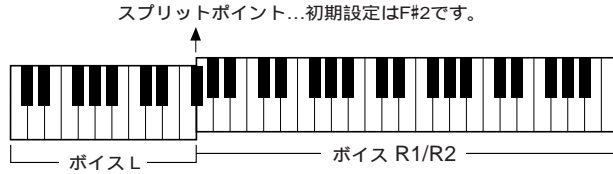


ボイスLとボイスR1/R2の境界点を決める

スプリットポイント
Split Point

ボイスLとボイスR1/R2の鳴る鍵盤の境界点をスプリットポイントといいます。

初期設定ではスプリットポイントはF#2ですが、自由に設定することもできます。設定方法については、119ページをご参照ください。



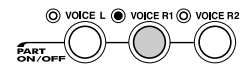
メモ

鍵盤には音名がついています。たとえば、一番左の最低音はC1で一番右の最高音はC6です。詳細は下記を参照してください。

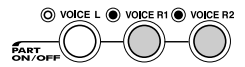
鍵盤の持つ機能

今まで説明してきたように、PSR-540の鍵盤では、3つのボイス(音色)を鳴らすことができます。そのしくみについてまとめると、以下のようになります。

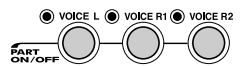
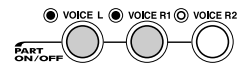
1つのボイス(音色)を鳴らす



2つのボイス(音色)を同時に鳴らす

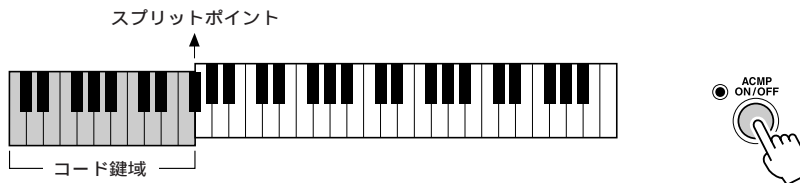


右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす。



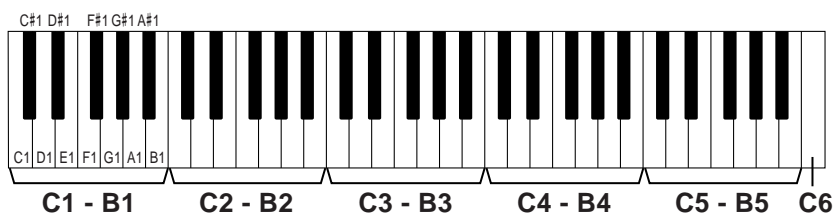
また、音を鳴らす以外にもPSR-540の鍵盤には以下のような機能があります。

自動伴奏をオン(33ページ)にすると、ボイスLの鍵盤がコードを指定するための鍵盤にもなります。



ディスクのソングファイルなどに名前を付ける機能もあります。(21ページ)

なお、鍵盤には音名がついています。たとえば、一番左の最低音はC1で一番右の最高音はC6です。



鍵盤の音程を移調する

トランスポーズ(移調)
TRANSPOSE

鍵盤の音程など、PSR-540で鳴るすべての音を半音単位で変更することができます。-12~+12(±1オクターブ)の範囲で変更できます。

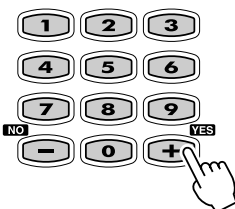
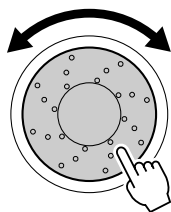
1 トランスポーズ [TRANSPOSE] ボタンを押します。



Transpose = 0

2 トランスポーズ値を変更します。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



Transpose = 4

メモ

ドラムキット(31ページ)を選んだとき、トランスポーズはかかりません。

[+/YES] ボタンと [-/NO] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 0に戻ります。

トランスポーズ変更後、次の押鍵から新しく設定したトランスポーズで発音します。

[-/NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定することができます。

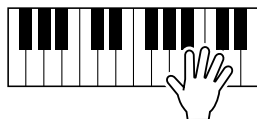
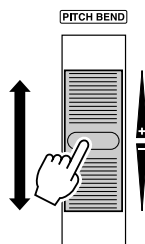
鍵盤のピッチを変化させる

ピッチバンド
PITCH BEND

ピッチバンドは、鍵盤演奏(ボイスR1、ボイスR2、ボイスL)のピッチを滑らかに変化(アップ、またはダウン)させる機能です。

押鍵中にPITCH BEND(ピッチバンド)ホイールを上下に動かすことで、音程を上げたり下げたりすることができます。

鍵盤を弾きながら、ピッチバンドを上下に動かしてみましょう。



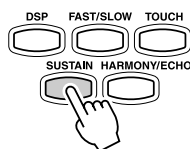
メモ

ピッチバンドの変化幅を自由に設定することができます。(122ページ)

鍵盤の音に余韻をつける

サステイン
SUSTAIN

[SUSTAIN] (サステイン) ボタンをオン(点灯)にすると、鍵盤演奏(ボイスR1、ボイスR2、ボイスL)に余韻をつけることができます。



鍵盤で打楽器を鳴らす(キーボードパーカッション)

1 ボイスR1
[VOICE R1] ボタンを押します。

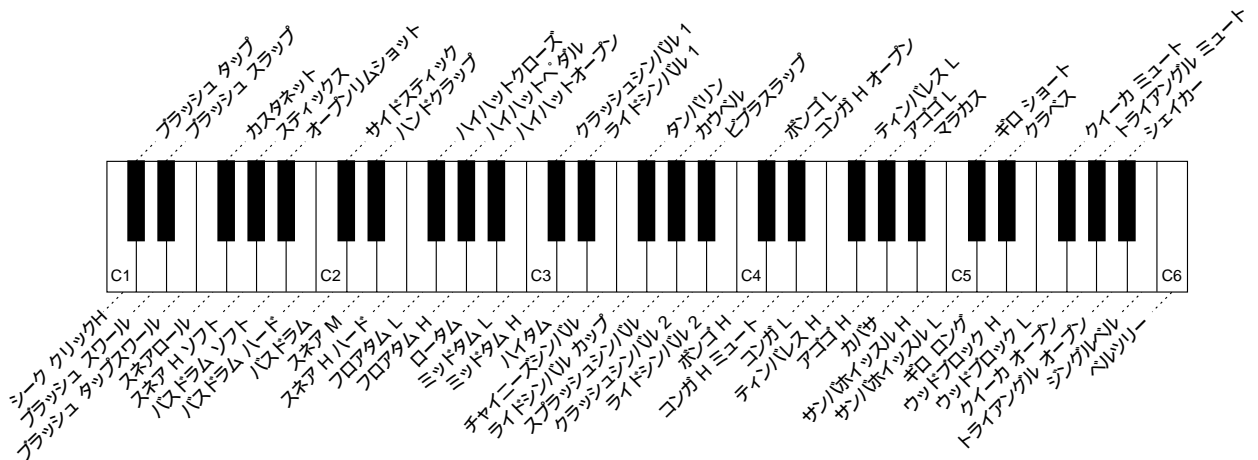
2 スタンダードキット1
「 Standard Kit1 」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

216 StandardKit1

3 弾いてみましょう。
鍵盤の下にスタンダードキット1を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器のイラストが印刷してあります。
また、以下のイラストやドラムキットリスト(128ページ)も参考にしてください。

メモ
ドラムキットを選んだボイスに、トランスポーズ(30ページ)はかかりません。
鍵盤には音名がついています。たとえば、一番左の最低音はC1で一番右の最高音はC6です。詳細は29ページを参照してください。

[スタンダードキット1の場合]



自動伴奏を使ってみましょう

オートアカンパニメント(自動伴奏) ACCOMPANIMENT

自動伴奏(オートアカンパニメント)とは、楽譜のコード進行にしたがって左手でコードだけ押さえれば、伴奏パターンが自動的に演奏される機能です。自動伴奏(オートアカンパニメント)を使えば、一人で演奏しても、バンドやオーケストラの伴奏付きの演奏を楽しむことができます。

PSR-540にはいろいろなジャンルの106スタイル(スタイルナンバー001~106)が伴奏パターンとして内蔵されています。いろいろなスタイル(130ページ)を選んで、自動伴奏を鳴らしてみましょう。

自動伴奏(オートアカンパニメント)を再生する方法として以下の2種類に分けられます。

- 自動伴奏のリズムだけを再生する。 32ページ
- 自動伴奏を左手でコードを押さえて全トラックを再生する。 33ページ

自動伴奏(オートアカンパニメント)を、より楽しく使うために以下の機能もあります。

- 自動伴奏のパターンに変化をつける。(セクション) 34ページ
- 自動伴奏のテンポを変更する。 36ページ
- 自動伴奏の特定のトラックを消音(オフ)して再生する。 37ページ
- 自動伴奏だけの音量を変更する。(アカンパニメントボリューム) 37ページ

左手でコードを押さえて再生する方法として、以下の機能があります。

- コードの押さえ方(フィンガリング) 38ページ
- コードを押さえる鍵域を変更する(スプリットポイント) 40ページ
- シンクロストップ 41ページ

自動伴奏(オートアカンパニメント)を使うためのパネル設定をワンタッチで簡単に呼び出すこともできます。

- ワンタッチセッティングで自動伴奏をスタートする。 42ページ

リズムだけを再生する

1

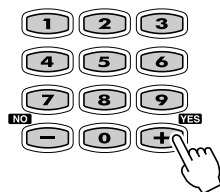
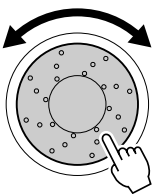
スタイル
[STYLE] ボタンを押します。



2

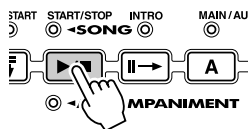
スタイルを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。また、パネル上のスタイルリストや巻末のスタイルリストも参考にしてください。(130ページ)



3

スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押すと、自動伴奏のリズムだけがスタートします。



4

スタート/ストップ
もう一度 [START/STOP] ボタンを押すと、再生がストップします。

左手でコードを押さえて全トラックを再生する

1

スタイル
[STYLE] ボタンを押します。

2

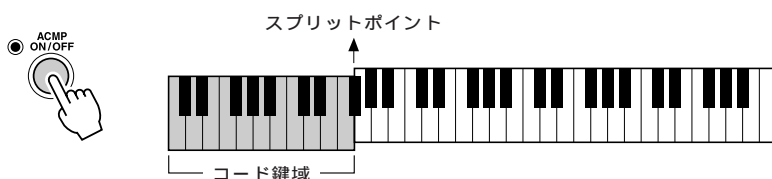
スタイルを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
また、パネル上のスタイルリストや巻末のスタイルリストも参考にしてください。(130ページ)

3

自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。

[ACMP ON/OFF] ボタンを押してください。[ACMP ON/OFF] ボタンのランプが点灯し、
鍵盤の左手側(低音鍵域)が自動伴奏用のコードを押さえるための鍵域になります。



メモ

ACMPIはACCOMPANIMENT
(アカンパニメント=自動伴奏)
の省略です。

4

シンクロスタートをオンにします。

[SYNC START] ボタンを押してください。[SYNC START] ボタンのランプが点灯し、
ビートランプがテンポに合わせて点滅します。この状態をシンクロ待機状態といいます。詳細
は、25ページをご参照ください。



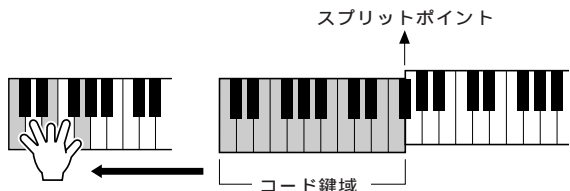
メモ

SYNC STARTはSYNCHRO
START(シンクロスタート)の省
略です。

5

左手でコードを押すと、自動伴奏がスタートします。

たとえばCMajor(Cメジャー)を押さえてみましょう。

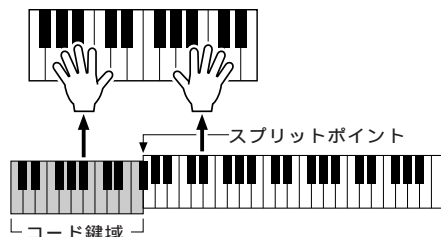


CHORD
#b (#119)
dim6 (b513)
mM7augsus4

6

左手でいろいろなコードを押してみましよう。

コードの押さえ方については38ページを参照してください。

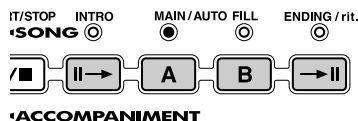


7

スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押すと、再生がストップします。

自動伴奏のパターンに変化をつける(セクション)

演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にもバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。



イントロ(INTRO)セクション

曲の始まりに適したセクションです。イントロの演奏が終了するとメインに移ります。イントロの小節数はスタイルによって違います。

メイン(MAIN)セクション

曲のメイン部分の演奏で使います。他のセクションボタンを押すまで、数小節(2 ~ 4 小節)の伴奏パターンを繰り返し演奏します。A、Bの2つのバリエーションがあり、左手で押さえたコードに基づいた自動伴奏(オートアカンパニメント)が演奏されます。

フィルイン(FILL IN)セクション

フィルインは、曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中に [MAIN/AUTO FILL (A, B)] ボタンを押すと、フィルインが自動的に演奏され(AUTO FILL : オートフィル)、自動伴奏にアクセントをつけることができます。フィルインの演奏が終了すると押したボタンのメイン(A, B)に移ります。

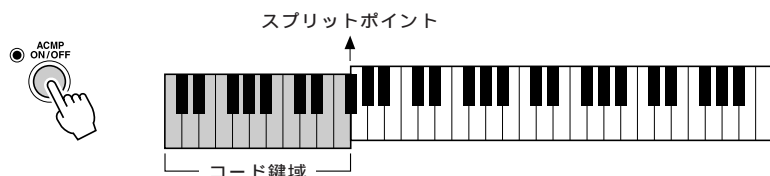
エンディング(ENDING)セクション

曲の終わりの部分に適したセクションです。エンディングセクションの演奏が終わると、自動伴奏はストップします。エンディングセクションの小節数はスタイルによって違います。

1 ^{スタイル} [STYLE] ボタンを押します。

2 スタイルを選びます。(32 ページ)
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

3 自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(33 ページ)



メモ

ACMP は ACCOMPANIMENT (アカンパニメント = 自動伴奏) の省略、SYNC START は SYNCHRO START (シンクロスタート) の省略です。

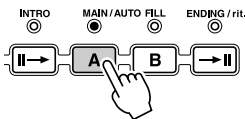
4 シンクロスタートをオンにします。(33 ページ)



5

メイン/オートフィルA

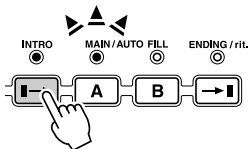
[MAIN/AUTO FILL A] ボタンを押します。



6

イントロ

[INTRO] ボタンを押します。

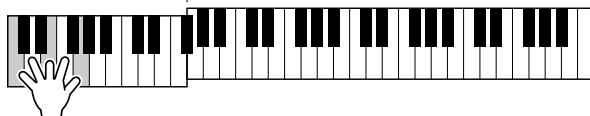


7

左手でコードを押すと、自動伴奏のイントロセクションがスタートします。

たとえばCmajを押さえてみましょう。
コードの押さえ方については38ページを参照してください。

スプリットポイント

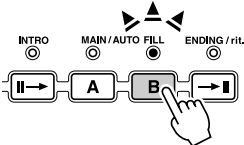


イントロの再生が終わると自動的にメインAセクションの演奏になります。

8

メイン/オートフィルB

[MAIN/AUTO FILL B] ボタンを押します。



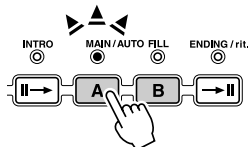
フィルインを再生してからメインBセクションの演奏になります。

9

メイン/オートフィルA

メイン/オートフィルB

[MAIN/AUTO FILL A] [MAIN/AUTO FILL B] ボタンを自由に押してみましよう。

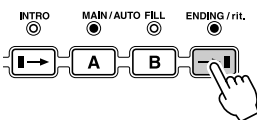


フィルインを演奏してから押したボタンのメインセクションの演奏になります。

10

エンディング/リタルダント

[ENDING/rit.] ボタンを押します。



エンディングセクションの演奏に切り替わります。エンディングセクションの演奏が終わると自動伴奏はストップします。

エンディングセクションの再生中にもう1度エンディングボタンを押すと、リタルダントして(だんだん遅くなって)自動伴奏は終了します。

メモ

フィルイン演奏中は、MAINのいずれかのランプが点滅してフィルイン後の行き先のセクションを知らせます。点滅中にMAIN/AUTO FILL(A, B)ボタンを押せば、行き先を変更することができます。

曲中でINTROボタンを押すと、イントロ演奏を曲中でも使うことができます。

小節内の最後の半拍(8分音符)以降にMAIN/AUTO FILLのいずれかのボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。

メモ

エンディングの演奏中に[INTRO]ボタンを押すと、エンディング終了後にイントロセクションの演奏が継続されます。

エンディングの演奏中にMAIN/AUTO FILLのいずれかのボタンを押すと、すぐにフィルインが演奏され、メインセクションの演奏が継続されます。

自動伴奏演奏中に[SYNC START]ボタンを押すと、自動伴奏をストップし、シンクロススタート待機状態になります。

エンディングセクションから自動伴奏演奏を開始することもできます。その場合、エンディングセクションの演奏が終わっても自動伴奏はストップしません。

自動伴奏のテンポ設定

テンポ/タップ
TEMPO/TAP

PSR-540のスタイルではあらかじめテンポが決まれているのですが、[TEMPO/TAP] ボタンで32 ~ 280の範囲で変更することもできます。

以下の手順は、これらが再生中であってもなくても同じです。

1 テンポ/タップ
[TEMPO/TAP] ボタンを押します。



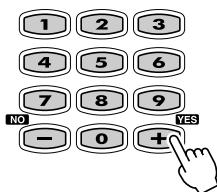
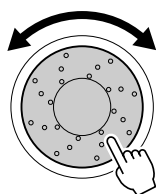
Tempo = 116

メモ

自動伴奏がストップしているときに自動伴奏スタイルを変更すると、自動的にそのスタイルの初期設定テンポがセットされますが、自動伴奏演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。

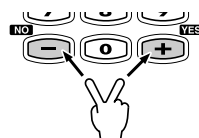
2 テンポを変更します。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



Tempo = 124

3 [+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを同時に押すと、あらかじめ決められたスタイルのテンポ値に戻ります。



Tempo = 116

タップ(TAP)機能を使う

[TEMPO/TAP] ボタンを続けて押すことによって、お好みのテンポで自動伴奏をスタートさせることもできます。

1 スタイル
[STYLE] ボタンを押します。

2 スタイルを選びます。

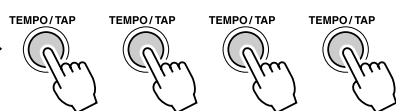
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

3 テンポ/タップ
[TEMPO/TAP] ボタンを4回続けて押します。

4拍子の曲の場合



4回たたく



3拍子のスタイルが選ばれている場合は、3回押してください。

メモ

自動伴奏再生中に[TEMPO/TAP] ボタンを2回続けて押すことで、テンポを変えることもできます。

ボタンを4回押した速さをテンポとして、自動伴奏がスタートします。

特定のトラックを消音(オフ)して再生する

トラック
TRACK

自動伴奏のスタイルは、それぞれ最大8つのトラック(RHYTHM SUB/MAIN, BASS, CHORD 1/2, PAD, PHRASE 1/2)で構成されています。スタイルを選んだときに、いずれかのセクションでそのトラックにデータがある場合は、それぞれのトラックのアイコンが点灯します。

演奏中にそれぞれの[TRACK]ボタン(9~16)を押して[M]アイコンを点灯させると、そのトラックはオフになりミュート(消音)されます。トラックのオン/オフを組み合わせれば、1つのスタイルをいくつかの伴奏アレンジとして楽しむことができます。

それぞれのトラックデータは以下のような特長を持っています。

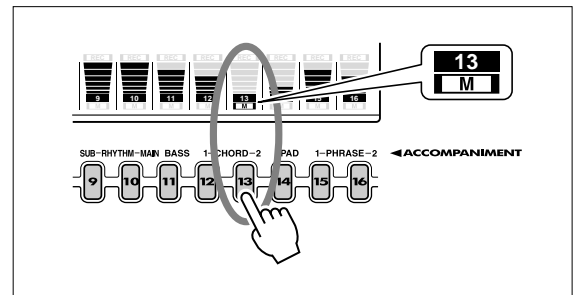
RHYTHM SUB, RHYTHM MAIN(リズム サブ/メイン)
リズムトラック。ドラム、パーカッションを演奏します。

BASS(ベース)
ベーストラック。ベースラインを演奏します。

CHORD 1, CHORD 2(コード1/2)
コードトラック。コード伴奏のさまざまなパターンを演奏します。

PAD(パッド)
パッドトラック。ストリングスやオルガンなどのパッド系のコードを演奏します。

PHRASE 1, PHRASE 2(フレーズ1/2)
フレーズコードトラック。パンチのきいたプラスフレーズやアルペジオコードなどのフレーズを演奏します。オートアカンパニメントの中でひととき華やかなパートです。



自動伴奏だけの音量を変更する

アカンパニメント(自動伴奏)ボリューム
ACMP VOLUME

自動伴奏だけのボリュームを変更して、右手での鍵盤演奏とバランスをとることができます。

1 自動伴奏をスタートさせます。(33ページ)

2 アカンパニメント/ソングボリューム
[ACMP/SONG VOLUME] ボタンを押します。



Acmp Volume = 100

メモ

ACMPはACCOMPANIMENT
(アカンパニメント=自動伴奏)
の省略です。

3 自動伴奏の音量を調整します。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
0~127の範囲で調整します。
また、右手で鍵盤を弾き、自動伴奏との音量バランスを聴いてみましょう。

4 自動伴奏をストップさせます。(33ページ)

コードの押さえ方

フィンガリング
FINGERING

自動伴奏のコード鍵域 (33ページ)で左手でコードを押さえる方法をフィンガリングといいます。フィンガリングには下記の5種類があります。

- | | |
|--------------------|-------|
| マルチフィンガー(Multi) | 40ページ |
| シングルフィンガー(Singl) | 38ページ |
| フィンガード1(F1) | 38ページ |
| フィンガード2(F2) | 40ページ |
| フルキーボード(Full) | 40ページ |

メモ

フィンガリングの初期設定は「Multi」(マルチフィンガー)です。

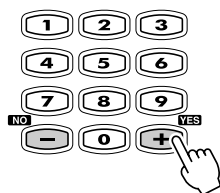
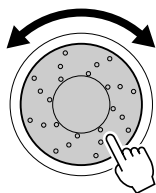
1 フィンガリング
[FINGERING] ボタンを押します。



FingerMode=Multi

2 コードを押さえる方法(フィンガリング)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



FingerMode=F1

シングルフィンガー(Single)

FingerMode=Singl

自動伴奏のコード鍵域で、1~3本の指で簡単にコードを作ることができる方法です。

シングルフィンガーモードで認識されるコードの押さえ方



メジャー(M)コード
ルートキーを押さえてください。



セブンス(7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



マイナー(m)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス(m7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

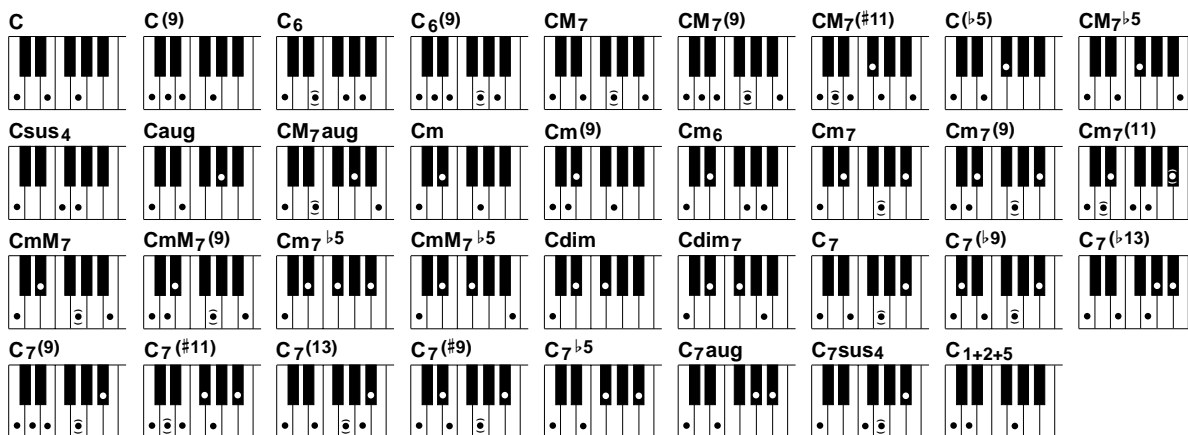
フィンガード1(Fingered 1)

FingerMode=F1

自動伴奏のコード鍵域で、押さえたコードに従って自動伴奏が再生されます。

フィンガード1モードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]



[フィンガード1モードで認識されるコード]

コード	押 鍵	コード(C)	ディスプレイ表示
メジャー[M]	1-3-5	C	C
アドナインズ[9]	1-2-3-5	C(9)	C(9)
シックス[6]	1-(3)-5-6	C6	C6
シックスナインズ[6(9)]	1-2-3-(5)-6	C6(9)	C6(9)
メジャーセブンス[M7]	1-3-(5)-7または 1-(3)-5-7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインズ[M7(9)]	1-2-3-(5)-7	CM7(9)	CM7(9)
メジャーセブンスアッドシャープイレブンス[M7(#11)]	1-(2)-3-#4-5-7または 1-2-3-#4-(5)-7	CM7(#11)	CM7(#11)
フラットファイブ[$\flat 5$]	1-3- $\flat 5$	C($\flat 5$)	C($\flat 5$)
メジャーセブンスフラットファイブ[M7 $\flat 5$]	1-3- $\flat 5$ -7	CM7 $\flat 5$	CM7 $\flat 5$
サスフォー[sus4]	1-4-5	Csus4	Csus4
オーギュメント[aug]	1-3-#5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント[M7aug]	1-(3)-#5-7	CM7aug	CM7aug
マイナー[m]	1- $\flat 3$ -5	Cm	Cm
マイナーアドナインズ[m(9)]	1-2- $\flat 3$ -5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス[m6]	1- $\flat 3$ -5-6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス[m7]	1- $\flat 3$ -(5)- $\flat 7$	Cm7	Cm7
マイナーセブンスナインズ[m7(9)]	1-2- $\flat 3$ -(5)- $\flat 7$	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスアッドイレブンス[m7(11)]	1-(2)- $\flat 3$ -4-5-($\flat 7$)	Cm7(11)	Cm7(11)
マイナーメジャーセブンス[mM7]	1- $\flat 3$ -(5)-7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインズ[mM7(9)]	1-2- $\flat 3$ -(5)-7	CmM7(9)	CmM7(9)
マイナーセブンスフラットファイブ[m7 $\flat 5$]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ - $\flat 7$	Cm7 $\flat 5$	Cm7 $\flat 5$
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ[mM7 $\flat 5$]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ -7	CmM7 $\flat 5$	CmM7 $\flat 5$
ディミニッシュ[dim]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス[dim7]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ -6	Cdim7	Cdim7
セブンス[7]	1-3-(5)- $\flat 7$ または 1-(3)-5- $\flat 7$	C7	C7
セブンスフラットナインズ[7($\flat 9$)]	1- $\flat 2$ -3-(5)- $\flat 7$	C7($\flat 9$)	C7($\flat 9$)
セブンスアッドフラットサーティーンズ[7($\flat 13$)]	1-3-5- $\flat 6$ - $\flat 7$	C7($\flat 13$)	C7($\flat 13$)
セブンスナインズ[7(9)]	1-2-3-(5)- $\flat 7$	C7(9)	C7(9)
セブンスアッドシャープイレブンス[7(#11)]	1-(2)-3-#4-5- $\flat 7$ または 1-2-3-#4-(5)- $\flat 7$	C7(#11)	C7(#11)
セブンスアッドサーティーンズ[7(13)]	1-3-(5)-6- $\flat 7$	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインズ[7(#9)]	1-#2-3-(5)- $\flat 7$	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ[7 $\flat 5$]	1-3- $\flat 5$ - $\flat 7$	C7 $\flat 5$	C7 $\flat 5$
セブンスオーギュメント[7aug]	1-3-#5- $\flat 7$	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー[7sus4]	1-4-(5)- $\flat 7$	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ[1+2+5]	1-2-5	C1+2+5	C

メモ

カッコ()内の音符は省略しても構いません。

パーフェクトフィフス(完全5度)の押鍵ではルート音と5度の音によるアカンパニメントが演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。

オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによるアカンパニメントが演奏されます。

黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏がキャンセルされ、リズム楽器のみの伴奏になります。(コードキャンセル)

コード押鍵は全て基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。

m7, m7 $\flat 5$, 6, m6, sus4, aug, dim7, 7 $\flat 5$, 6(9), m7(11), 1+2+5

7sus4は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。

同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、オートアカンパニメントの演奏が変化しないことがあります。

鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

フィンガード2(Fingered 2)

`FingerMode=F2`

このモードでは、フィンガード1で認識するコードに加え、オンベースコード(押さえたコード音の中で一番低い音がベース音になります)も認識しますので、より高度なコード進行を利用した演奏が可能になります。

オンベースコードを認識させるには、各コードの転回形を使用します。

たとえば、CのコードはD(C)E(G)で構成され、基本形ではD(C)を最低音として押鍵されます。このコードを転回させて押鍵することによりオンベースコードが認識されます。



E(G)Cの順に押鍵

G(C)Eの順に押鍵

フルキーボード(Full Key)

`FingerMode=Full`

このモードでは全鍵域でコードを検出し、自動伴奏を演奏します。また、同時に全鍵域で通常どおり鍵盤演奏も行えます。

メモ

フルキーボードでは、スプリットポイント(下記)の設定は無効になります。

マルチフィンガー(Multi)

`FingerMode=Multi`

このモードでは、自動伴奏のコード鍵域で「シングルフィンガー」の押鍵ルールでコードを押さえても、「フィンガード1」の押鍵ルールでコードを押さえても、自動的にコードを識別します。

メモ

シングルフィンガーの押鍵ルールでコードを押さえる場合、マイナー、セブンス、マイナーセブンスを鳴らしたい時は、コードのルート音にもっとも近い白鍵や黒鍵を押してください。

コードを押さえる鍵域と右手鍵域(R1,R2)の境界点

スプリットポイント
Split Point

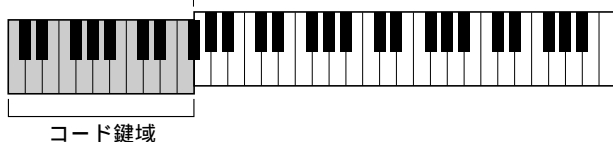
コードを押さえる鍵域を変更することができます。

自動伴奏オンのときの、コードを押さえる鍵域と右手鍵域の境界をスプリットポイントといいます。

初期設定ではスプリットポイントはF#2ですが、自由に設定することもできます。

設定方法については、118ページをご参照ください。

スプリットポイント...初期設定はF#2です。

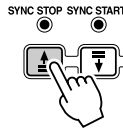


シンクロストップ

シンクロストップ
SYNC STOP

シンクロストップは、自動伴奏の演奏中にコード鍵域からすべての指を離すと、演奏を中断する機能です。演奏にブレイク(中断)を入れる場合に便利です。

- 1 ^{スタイル} [STYLE] ボタンを押します。
- 2 自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(33ページ)
[ACMP ON/OFF] ボタンを押してください。
- 3 シンクロスタートをオンにします。(33ページ)
[SYNC START] ボタンを押してください。
ビートランプがテンポに合わせて点滅します。
- 4 シンクロストップをオンにします。
[SYNC STOP] ボタンを押してください。

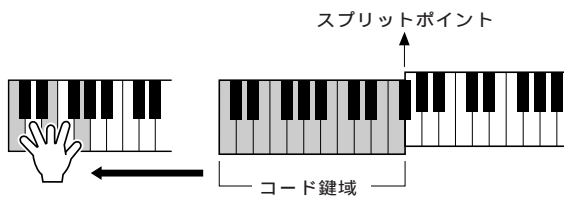


メモ

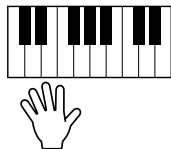
フィンガリングモードが「フルキーボード」の時、またはパネルの自動伴奏がオフの時は、シンクロストップをオンにできません。また、フィンガリングモードに「フルキーボード」を選ぶ、またはパネルの自動伴奏をオフにすると、シンクロストップは自動的にオフになります。

SYNC STOP は SYNCHRO STOP(シンクロストップ)の省略です。

- 5 左手でコードを押すと、自動伴奏がスタートします。
たとえばCmajを押さえてみましょう。

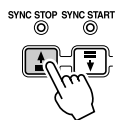


- 6 左手を鍵盤から離すと、自動伴奏はストップします。



- 7 左手でコードを押すと、自動伴奏が再スタートします。
手順5, 6をくり返すことで自動伴奏がスタート/ストップします。

- 8 シンクロストップをオフにします。
[SYNC STOP] ボタンを押してください。



左手を鍵盤から離しても自動伴奏はストップしません。

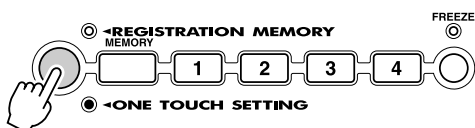
- 9 自動伴奏をストップします。(33ページ)

ワンタッチセッティング

ワンタッチセッティング
ONE TOUCH SETTING

自動伴奏に関するいろいろなパネル設定を、自動的にしてくれる機能です。

1 切り替えボタンを押します。

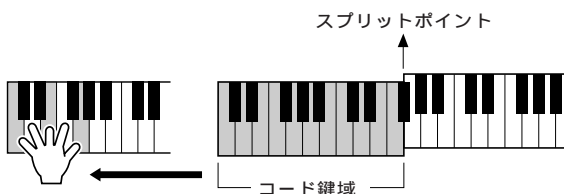


2 ワンタッチセッティングの[1]~[4] ボタンのいずれかを押します。

「左手でコードを押さえて全トラックを再生する(33ページ)中の手順3~4がワンタッチで設定されます。またその他にもスタイルに合ったさまざまなパネル設定(ボイス、デジタルエフェクト)がこのワンタッチで呼び出されます。(下記)

3 左手でコードを押すと、自動伴奏がスタートします。

たとえばCmajを押さえてみましょう。



4 自動伴奏をストップさせます。

メモ

ワンタッチセッティングで呼び出したパネルの設定を変更して、オリジナルのセッティングを作ってみましょう。オリジナルのセッティングは、レジストレーションメモリー(54ページ)に記憶すれば、いつでも呼び出すことができます。

ユーザースタイル(107~109ページ)を選んだ状態では、ワンタッチセッティングは機能しません。

ワンタッチセッティング設定内容

PSR-540には106種類の自動伴奏スタイルそれぞれに、最も適したパネル設定(ボイス、デジタルエフェクトなどの組み合わせ)が4種類ずつ内蔵されています。ワンタッチセッティングを活用すれば、その設定をワンタッチで呼び出すことができるため、ボイスやデジタルエフェクトなどをひとつひとつ設定しなくても、アカンパニメントにぴったりのサウンドですぐに演奏を始めることができ、たいへん便利です。

[ONE TOUCH SETTING]ボタンを押すと以下のパラメーターがパネルに設定されます。

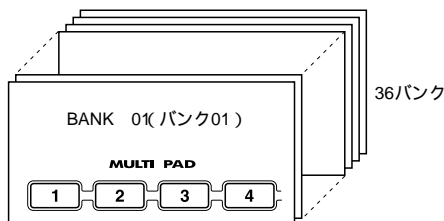
・パートオン/オフ(ボイスR1、R2)	29ページ
・ボイスチェンジ設定(ボイスR1、R2)	75ページ
・ミキサー設定(ボイスR1、R2)	76ページ
・パラメーターエディット設定(ボイスR1、R2)	77ページ
・自動伴奏 = オン	33ページ
・自動伴奏スタイル全トラック = オン	37ページ
・自動伴奏シンクロススタート = オン*	33ページ
・ハーモニー/エコーオン/オフ、タイプ、ボリューム、パート	50ページ
・DSPオン/オフ、タイプ、およびファースト/スロー、リターンレベル	49ページ
・マルチパッドバンクナンバー	44ページ
・パートオクターブ(ボイスR1、R2)	119ページ

*自動伴奏を再生させていない場合に設定されるパラメーターです。

マルチパッドを鳴らしてみましょ

マルチパッド
MULTI PAD

マルチパッドには演奏に効果的なファンファーレ、フレーズやリズムなどが入っています。
PSR-540には全部で144種類(4個×36バンク)のパッドデータが入っています。

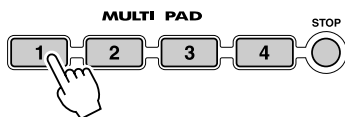


また、自動伴奏と同じようにコードに合わせて演奏内容の音程を変える(コードマッチ)機能もあります。

マルチパッドを鳴らす方法	43ページ
コードに合わせて鳴らす方法(コードマッチ)	43ページ
バンクを選ぶ方法	44ページ
コードマッチを設定する方法	44ページ

マルチパッドを鳴らす

マルチパッドを押します。



このイラストでは1番に入っているフレーズの演奏が始まります。
演奏の途中でストップする場合は「STOP」ボタンを押してください。

メモ

パッドは、そのとき設定されているテンポで演奏されます。

複数のパッドを同時に演奏することも可能です。

演奏中のパッドを押すと、演奏をストップして最初から再スタートします。

コードに合わせて鳴らす

コードマッチ
Chord Match

1

スタイル
[STYLE] ボタンを押します。

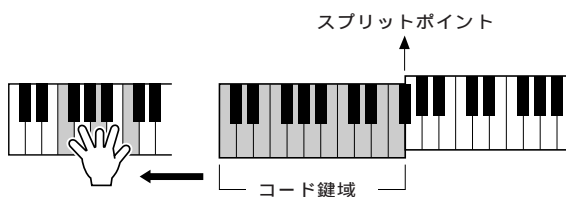
2

自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(33ページ)

3

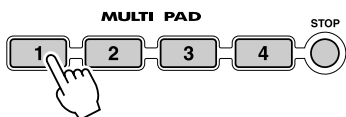
左手でコードを押します。

たとえばFMajor(Fメジャー)を押さえてみましょう。



4

マルチパッドを押します。



このイラストでは1番に入っているフレーズが、FMajor(Fメジャー)に変換されて演奏されます。いろいろなコードで試してみましょう。

メモ

マルチパッドの中にはコードに合わせて演奏されない(コードマッチ)しないものもあります。詳細はマルチパッドバンクリスト(45ページ)を参照してください。

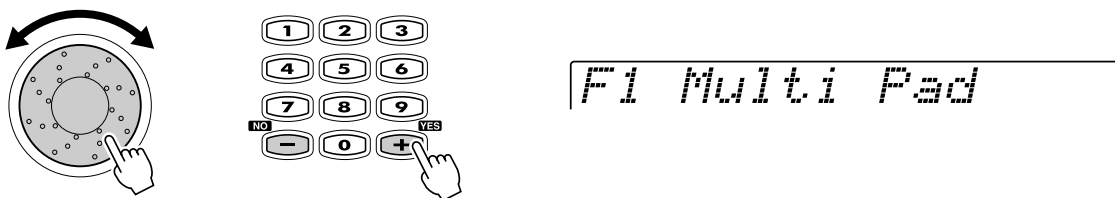
バンクを選ぶ

マルチパッドバンク
Multi Pad Bank

- 1** ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



- 2** マルチパッド
メニューの中から「Multi Pad」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



- 3** ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、マルチパッドバンク画面にします。



- 4** バンクを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

コードマッチを設定する

コードマッチ
Chord Match

- 1-3** 上記「バンクを選ぶ」と同じ操作です。

- 4** ネクスト
もう1度 NEXT ボタンを押します。



- 5** コードマッチ設定をしたいパッドを選びます。
[NEXT] [BACK] ボタンを使ってください。



- 6** オン/オフを設定します。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

メモ

他のマルチパッドバンクを選んだりすると、コードマッチの設定は失われます。レジストレーションメモリー(54ページ)に記憶しておきましょう。

ドラムやパーカッションのサウンドは、コードマッチを「オン」に設定しても移調されません。

ユーザーパッド(92ページ)のコードマッチを設定すると、その設定はユーザーパッドの録音データとして記録されます。

マルチパッドバンクリスト

バンク名	コードマッチ				リピート			
	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4
Fanfare(ファンファーレ)				-	-	-	-	-
Crysta(クリスタル)					-	-	-	-
Gothic_V(ゴシック)					-	-	-	-
TechSyn1(テクノシンセ1)								
TechSyn2(テクノシンセ2)								
TechSyn3(テクノシンセ3)			-	-				
TechSyn4(テクノシンセ4)			-	-				
PianoSeq(ピアノシーケンス)					-	-	-	-
OrcheHit(オーケストラヒット)					-	-	-	-
Traffic(トラフィック)	-	-	-	-	-	-	-	-
Chir(チャープ)	-	-	-	-	-	-	-	-
HorrorSE(ホラーSE)	-	-	-	-	-	-	-	-
Noise(ノイズ)	-	-	-	-	-	-	-	-
WaterSE(ウォーターSE)	-	-	-	-	-	-	-	-
AnalogKit(アナログキット)	-	-	-	-	-	-	-	-
TechKit(テクノキット)	-	-	-	-	-	-	-	-
RockKit(ロックキット)	-	-	-	-	-	-	-	-
TomFlam(タムフラム)	-	-	-	-	-	-	-	-
LatinPerc1(ラテンパーカッション1)	-	-	-	-	-	-	-	-
LatinPerc2(ラテンパーカッション2)	-	-	-	-	-	-	-	-
Brassy1(ブラッシー1)					-	-	-	-
Brassy2(ブラッシー2)					-	-	-	-
Swing(スインギー)								
SynBrass(シンセブラス)					-	-	-	-
GuitarPlay1(ギタープレイ1)								
GuitarPlay2(ギタープレイ2)								
GuitarPlay3(ギタープレイ3)								
GuitarPlay4(ギタープレイ4)								
PianoMar(ピアノマン)								-
SalsaPian(サルサピアノ)								
SambaShow(サンバショー)	-	-	-	-				
Accordion(アコーディオン)					-	-	-	-
Arpeggio(アルペジオ)					-	-	-	-
Classi(クラシック)					-	-	-	-
Twinkle(トウィンクル)					-	-	-	-
TimbalesRol(ティンパレスロール)	-	-	-	-	-	-	-	-

マルチパッドのデータには以下の2種類に分けられます。
 ・データの最後まで演奏したら自動的にストップするもの(リピートオフ)
 ・データを繰り返し演奏するもの(リピートオン)
 リピートオンのパッドの演奏は[STOP]ボタンを押すまで、繰り返し続きます。

エフェクトを使ってみましょう

デジタルエフェクト DIGITAL EFFECT

PSR-540には、鍵盤で弾いた音にコンサートホールで弾いているような残響効果をかけたり、ハーモニー音を付けるなど、さまざまな効果(エフェクト)をかけることができます。

リバーブ(REVERB) 46ページ

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響(リバーブ)効果のことで、PSR-540では常にオン(ON)の状態です。24種類のリバーブタイプがあり、自由に選ぶことができます。

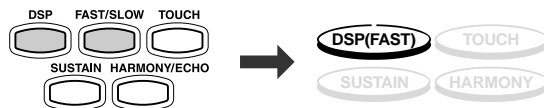
コーラス(CHORUS) 48ページ

鍵盤で弾いた音に、複数のパートが同時に演奏しているような効果のことで、PSR-540では常にオン(ON)の状態です。16種類のコーラスタイプがあり、自由に選ぶことができます。

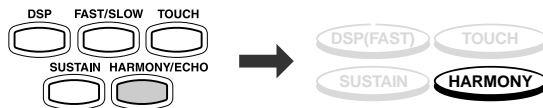
DSP 49ページ

リバーブやコーラスに加え、ディストーションやトレモロのように、特定の楽器(パート)に効果をかけたりできるエフェクトです。74種類のDSPタイプを自由に選べます。オン/オフをパネルのボタンで操作します。

[FAST/SLOW]ボタンはDSPの各タイプのバリエーションになります。ロータリースピーカーのエフェクトなどで回転のスピードに変化(速い/遅い)をつけることができます。



ハーモニー/エコー(HARMONY/ECHO) 50ページ



右手鍵域の演奏(ボイスR1/R2)に対してさまざまなハーモニー音を付加したり、エコーをかけたりします。

メモ

デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみについては131ページを参照してください。

リバーブ

リバーブ
Reverb

リバーブの種類(タイプ)を選ぶ

リバーブタイプ
Reverb Type

1

ファンクション

[FUNCTION]ボタンを押します。

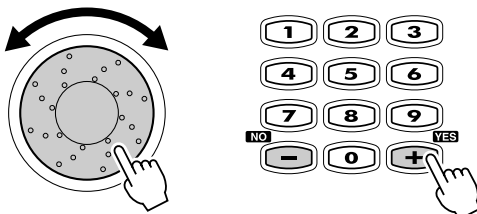


2

デジタルエフェクト

「Digital Effect」を選びます。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

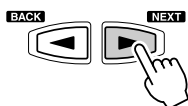


3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、デジタルエフェクト画面にします。

4 リバーブ
「Reverb」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Effect = Reverb

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



Type = Hall 13

6 リバーブタイプを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
巻末のリバーブタイプリストを参照してください。(132ページ)

7 弾いてみましょう。
いろいろなタイプをためしてみましょ。



メモ

自動伴奏のスタイルを変更すると、そのスタイルに合ったリバーブタイプが自動的に選ばれます。

リバーブのかかり具合を調整する

リバーブリターンレベル
Reverb Return Level

リバーブのかかり具合を調整するのに2つのパラメーターがあります。

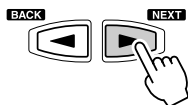
リバーブデプス(深さ) 74ページ

リバーブ効果の深さ(かかり具合) をパートごとに調整するものです。

リバーブリターンレベル 下記

パートごとのリバーブデプスのバランスを保ったまま、PSR-540全体のリバーブ効果の深さ(かかり具合) を調整するものです。

8 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



Return Level = 64

9 リバーブリターンレベルを調整します。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

Return Level = 81

コーラス

コーラス
Chorus

コーラスの種類(タイプ)を選ぶ

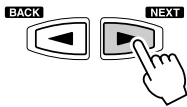
コーラスタイプ
Chorus Type

1-3 「リバーブ」と同じ操作です。(46ページ)

4 ^{コーラス} 「Chorus」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

Effect =Chorus

5 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押します。



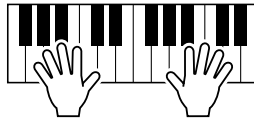
Type=Chorus2

6 コーラスタイプを選びます。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
巻末のコーラスタイプリストを参照してください。(132ページ)

メモ

自動伴奏のスタイルを変更すると、そのスタイルに合ったコーラスタイプが自動的に選ばれます。

7 弾いてみましょう。
いろいろなタイプをためてみましょう。



コーラスのかかり具合を調整する

コーラスリターンレベル
Chorus Return Level

コーラスのかかり具合を調整するのに2つのパラメーターがあります。

コーラスデプス(深さ) 74ページ

コーラス効果の深さ(かかり具合)をパートごとに調整するものです。

コーラスリターンレベル 下記

パートごとのコーラスデプスのバランスを保ったまま、PSR-540全体のコーラス効果の深さ(かかり具合)を調整するものです。

8 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押します。



Return Level = 64

9 コーラスリターンレベルを調整します。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

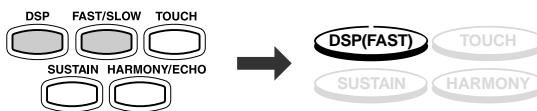
DSP

DSP効果をかける

[DSP] ボタンを押します。

DSPアイコンが点灯し、DSPタイプの設定にしたがって鍵盤演奏 (R1、R2、L) にDSP効果がかかります。

さらに、[FAST/SLOW] ボタンを押すと (FAST) アイコンが点灯しDSPタイプの効果のパリエーションになります。DSPタイプにロータリースピーカーやトレモロを選んでいると、そのスピードが速く (FAST) になります。



メモ

ボイスセット(120ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイスを変更すると、DSPおよびFAST/SLOWのオン/オフ、DSPタイプ/リターンレベルが各ボイスの最適な状態に自動的に変更されます。

DSPの種類(タイプ)を選ぶ

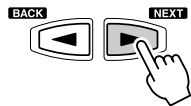
DSPタイプ
DSP Type

1-3 「リバーブ」と同じ操作です。(46ページ)

4 「DSP」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

5 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



Type=Stage2

6 DSPタイプを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。巻末のDSPタイプリストを参照してください。(132ページ)

7 弾いてみましょう。

いろいろなタイプをためてみましょう。

メモ

選択したDSPタイプがインサクション(50、131ページ)の場合、エフェクトの効果はボイスR1にだけかかります。

DSPのかかり具合を調整する

DSPリターンレベル
DSP Return Level

DSPのかかり具合を調整するのに2つのパラメーターがあります。

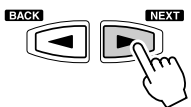
DSPデプス(深さ) 74ページ

DSP効果の深さ(かかり具合)をパートごとに調整するものです。

DSPリターンレベル 下記

パートごとのDSPデプスのバランスを保ったまま、PSR-540全体のDSP効果の深さ(かかり具合)を調整するものです。

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



Return Level= 64

9 DSPリターンレベルを調整します。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

メモ

DSPタイプにインサクションエフェクト(50ページ)が選ばれていると、DSPリターンレベルを設定できません。

システムエフェクトとインサージョンエフェクト

リバーブ、コーラス、DSP のエフェクトには2つのタイプに分けられます。

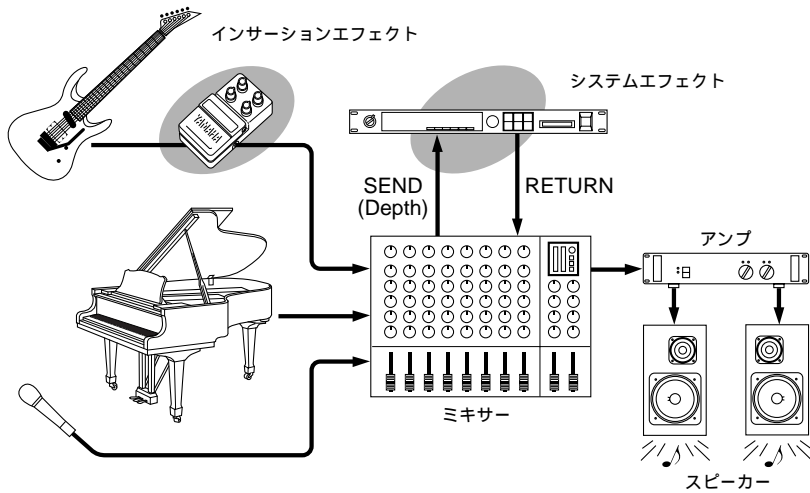
システムエフェクト

ミキサーに入力されたすべてのパートに対して効果かけるエフェクトです。デプス(エフェクトへの送り量)とリターンレベル(エフェクトからの戻り量)を設定します。リバーブやコーラスが代表的なタイプです。

インサージョンエフェクト

ミキサーに入力される前に、単独パートに対して効果かけるエフェクトです。エフェクトを積極的に使った音作り/曲作りが可能です。デプスだけを設定します。ディストーションやトレモロが代表的なタイプです。

ミキサーを中心にとらえた下のイラストを参考に、イメージをつかみましょう。



- リバーブ 全タイプ、システムエフェクトとして機能します。
- コーラス 全タイプ、システムエフェクトとして機能します。
- DSP タイプによりシステムエフェクト、インサージョンエフェクトとして機能します。

詳細は、「デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ」を参照してください。(131ページ)

ハーモニー/エコー ハーモニー/エコー HARMONY/ECHO

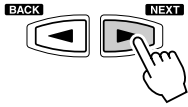
ハーモニー/エコーの種類(タイプ)を選ぶ ハーモニー/エコータイプ Harmony/Echo Type

- 1** ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。
- 2** デジタルエフェクト
「Digital Effect」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
- 3** ネクスト
[NEXT] ボタンを押してデジタルエフェクト画面にします。

- 4** ^{ハーモニー} 「Harmony」を選びます。
 ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

Effect = Harmony

- 5** ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押します。



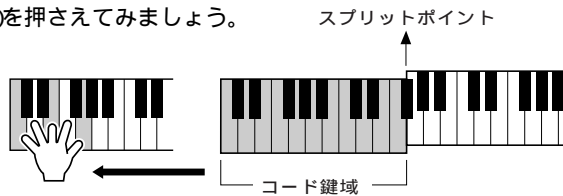
Type = Duet

- 6** ハーモニー/エコータイプを選びます。
 ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
 巻末のハーモニー/エコータイプリスト(133ページ)を参照してください。

メモ
 ボイスセット(120ページ)が
 オンの場合、ボイスR1のパネル
 ボイスを変更すると、ハーモニー
 タイプの設定も各ボイスに最適
 なタイプに自動的に変更されま
 す。

ハーモニー/エコーをかける

- 1** ^{スタイル} [STYLE]ボタンを押します。
- 2** 自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(33ページ)
- 3** 左手でコードを押します。
 たとえばCMajor(メジャー)を押さえてみましょう。



CHORD
 #b dim6 (#119)
 b513
 mM 7 augsus4

- 4** ^{ハーモニー/エコー} [HARMONY/ECHO]ボタンを押します。



- 5** 右手で鍵盤を押します。
-

ハーモニータイプの場合(Duet ~ Strum)
 ひとつの鍵盤を押しただけで、別の音が同時に鳴りハーモニーとなります。

エコータイプの場合
 ひとつの鍵盤を押しただけで、設定されたテンポでエコー(こだま 効果)がかかります。
 エコータイプを選んだ場合は手順 **1** ~ **3** の操作は不要です。

トレモロタイプの場合
 ひとつの鍵盤を押しただけで、設定されたテンポでトレモロ効果がかかります。
 トレモロタイプを選んだ場合は手順 **1** ~ **3** の操作は不要です。

トリルタイプの場合
 2つの鍵盤を押さえると、それぞれの音が交互に、設定されたテンポで繰り返し発音します。
 トリルタイプを選んだ場合は手順 **1** ~ **3** の操作は不要です。

メモ
 フィンガリングモード(38ページ)が「フルキーボード」の時は、ハーモニーをオンにできません。また、フィンガリングモードに「フルキーボード」を選ぶと、ハーモニーは自動的にオフになります。

ハーモニー/エコーのボリュームを調整する

ハーモニー/エコーボリューム
Harmony/Echo Volume

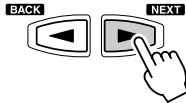
押鍵音にかかるハーモニーやエコーの音量を調整することができます。

1~4 「ハーモニー/エコーの種類(タイプ)を選ぶ」と同じ操作です。
(50ページ)

Effect =Harmony

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してタイプ選択画面にします。

6 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してボリューム調整画面にします。



Harmony Vol=120

7 ハーモニー/エコーボリュームを調整します。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
ボリュームは0~127の範囲で調整できます。

Harmony Vol=113

メモ

ボイスセット(120ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイスを変更すると、ハーモニー/エコーボリュームの設定も各ボイスに最適なタイプに自動的に変更されます。

ハーモニータイプがDuet ~ Strumの場合、ボイスR1によってはハーモニーボリュームを変更しても音量があまり変わらないものもあります。(例:オルガン系のボイス)

ハーモニー/エコーをかけるパートを変える

ハーモニー/エコーパート
Harmony/Echo Part

押鍵音(ボイスR1/R2)にかかるハーモニー/エコーのパートを変えることができます。

1~4 「ハーモニー/エコーの種類(タイプ)を選ぶ」と同じ操作です。
(50ページ)

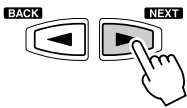


Effect =Harmony

5 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してタイプ選択画面にします。

6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してボリューム調整画面にします。

7 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してパート設定画面にします。




H. Part =Auto

8 パートを設定します。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

- Auto..... ボイスR1がオンの場合は、ボイスR1の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
ボイスR1がオフでボイスR2がオンの場合だけ、ボイスR2の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
- R1 ボイスR1の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
ボイスR1がオフの場合は、ハーモニー/エコーの効果を聴くことはできません。
- R2 ボイスR2の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
ボイスR2がオフの場合は、ハーモニー/エコーの効果を聴くことはできません。

メモ

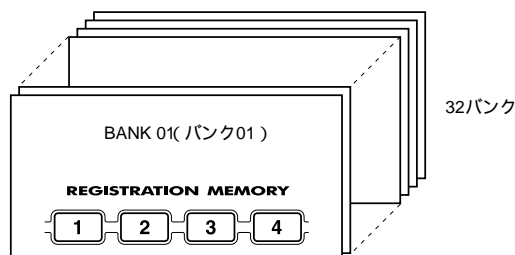
ボイスセット(120ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイスを変更すると、ハーモニー/エコーのパート設定も各ボイスに最適なタイプに自動的に変更されます。

パネルの設定を記憶させましょう

レジストレーションメモリー REGISTRATION MEMORY

ボイス(音色)やスタイル、自動伴奏、エフェクトなどPSR-540のパネルでは、さまざまな設定ができます。たとえば、スタイルナンバー12番、ボイスナンバー(R1)1番、自動伴奏はオン、スプリットポイントはG#3で演奏したい場合、これらの設定をひとつひとつ操作しなくてもワンタッチで呼び出せれば、たいへん便利です。

レジストレーションメモリー(REGISTRATION MEMORY)は、ボイスや自動伴奏などに関するパネル設定を128種類(32バンク×4)まで記憶(メモリー)させ、演奏中でもワンタッチで呼び出すことができる機能です。



メモ

初期設定(工場出荷時)のレジストレーションメモリーには、電源を入れた時のパネル設定と同じデータが記録されています。

パネル設定を記憶させる方法	55ページ
パネル設定を呼び出す方法	55ページ
バンクを選ぶ方法	56ページ
バンクに名前をつける方法	56ページ

レジストレーションメモリーに記憶させることのできるパネル設定は以下のとおりです。

ボイスに関する設定

・パートオン/オフ(ボイスL、R1、R2)	29ページ
・ボイスチェンジ設定(ボイスL、R1、R2)	75ページ
・ミキサー設定(ボイスL、R1、R2)	76ページ
・パラメーターエディット設定(ボイスL、R1、R2)	77ページ
・タッチセンサ	120ページ
・DSPオン/オフ、FAST/SLOW、およびDSPタイプ、リターンレベル	49ページ
・HARMONY/ECHO オン/オフ、タイプ、ボリューム、パート	50ページ
・TOUCH オン/オフ	120ページ
・SUSTAIN オン/オフ	30ページ
・ピッチベンドレンジ	122ページ
・スケールチューニング	119ページ
・フットスイッチの設定(極性を除く)	121ページ
・トランスポーズ	30ページ
・パートオクターブ設定	119ページ

自動伴奏(アカンパニメント)に関する設定

・自動伴奏オン/オフ	33ページ
・スタイルナンバー	32ページ
・メインA/Bセクション	34ページ
・テンポ	36ページ
・フィンガリングモード	38ページ
・スプリットポイント	119ページ
・自動伴奏ボリューム(アカンパニメントボリューム)	37ページ
・トラックオン/オフ設定	37ページ
・ボイスチェンジ設定	75ページ
・ミキサー設定	75ページ
・パラメーターエディット設定	77ページ
・マルチパッドバンクナンバー、コードマッチオン/オフ	43ページ
・リバーブ設定	46ページ
・コーラス設定	48ページ

レジストレーションメモリーのデータはフロッピーディスクにセーブ/ロードして管理できます。(57ページ)

メモ

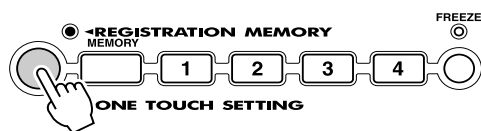
[STANDBY/ON]スイッチで電源を切っても、アダプターが接続されているか電池がセットされていれば、レジストレーションメモリーの内容は保持されます。(135ページ)しかし、レジストレーションメモリーの内容をライブラリーとして保存するためにも、フロッピーディスクに保存することをおすすめします。(60ページ)

メモリー (記憶)
MEMORY

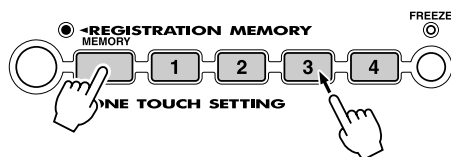
パネル設定を記憶させる

1 パネルを記憶させたい状態に設定します。

2 切り替えボタンを押して、REGISTRATION MEMORY ランプを点灯させます。



3 [MEMORY] ボタンを押しながら、REGISTRATION MEMORY の [1] ~ [4] ボタンのいずれかを押しします。



このイラストでは3番に記憶されます。

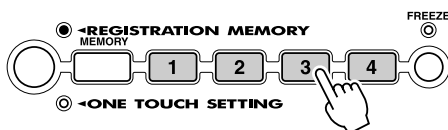
メモ

レジストレーションを記憶すると、そのREGISTRATION MEMORYナンバーに記憶されていたデータは消去され、新しいデータに書き換えられます。

電源を切っても、レジストレーションメモリーの内容をバックアップ(保持)することができます。詳しくは135ページをご参照ください。

パネル設定を呼び出す

REGISTRATION MEMORYの [1] ~ [4] ボタンのいずれかを押しします。



このイラストでは3番に記憶されたパネル設定が呼び出されます。

メモ

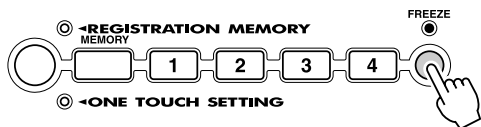
ワンタッチセッティングがオンになっている場合はレジストレーションメモリーは呼び出せません。

PSR-540のモードによっては呼び出されないパラメーターがあります。たとえばスタイル録音モードやパッド録音モードではR1ボイスだけで演奏することになりますので、レジストレーションメモリーボタンを押しても、ボイスR2/Lのパラメーターは呼び出されません。

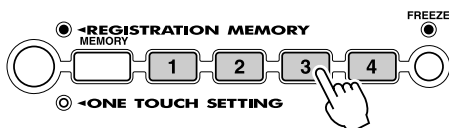
ボイスに関する設定だけを呼び出す方法(フリーズ機能)

フリーズ機能は、パネル上の自動伴奏およびボイスLに関する設定を固定(フリーズ)して、ボイスに関する設定だけを呼び出す機能です。自動伴奏を使った演奏中にスタイルナンバーを変更せずにレジストレーションメモリーを切り替えたい場合に便利です。

1 [FREEZE] ボタンを押して、ランプを点灯させます。



2 REGISTRATION MEMORYの [1] ~ [4] ボタンのいずれかを押しします。



このイラストでは1番に記憶されたパネル設定のうち、ボイスに関する設定(ただしボイスLを除く)だけがパネルに呼び出されます。

メモ

自動伴奏に関する設定に関しては54ページを参照してください。

ソングモード、スタイル録音モード、パッド録音モードでは、フリーズは自動的にオンになります。

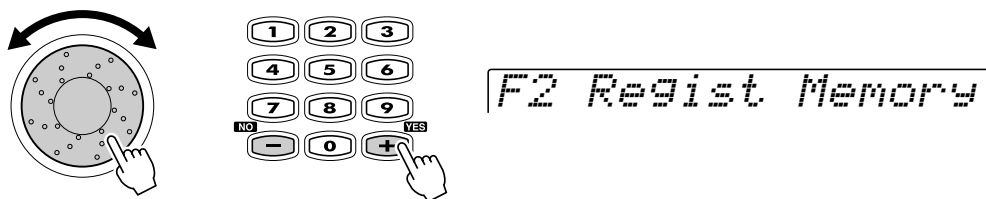
バンクを選ぶ

レジストレーションバンク
Registration Bank

- 1** ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



- 2** レジストレーションメモリー
メニューの中から「Regist Memory」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



- 3** ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、レジストレーションメモリーバンク画面にします。



- 4** バンクを選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

バンクに名前をつける

レジストレーションネーム
Registration Name

- 1-3** 「バンクを選ぶ」と同じ操作です。



- 4** ネクスト
もう1度 [NEXT] ボタンを押して、ネーム画面にします。



- 5** 名前をつけます。
鍵盤を使ってください。(21ページ)
名前は8文字以内です。

ディスクを活用しましょう

フロッピーディスク FLOPPY DISK

PSR-540は、本体にディスクドライブを装備しています。ディスクドライブにフロッピーディスクを挿入すれば、さまざまなデータを再生(演奏)させたり、保存(セーブ)/呼び出し(ロード)することができます。

付属のサンプルディスクのソング、また以下のロゴマークの付いた市販のディスクソングを再生できます。 9ページ



GMロゴマークの付いた市販のディスクソフト



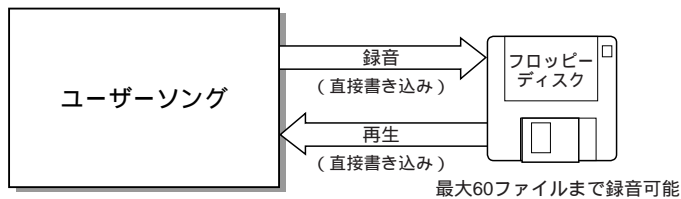
XGロゴマークの付いた市販のディスクソフト



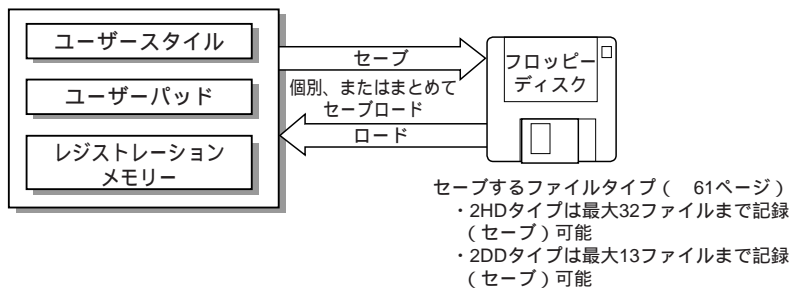
DOCロゴマークの付いた市販のディスクソフト

付属のサンプルディスクのスタイルデータをロードし、本体で再生できます。

あなたの演奏をユーザーソングとして録音/再生できます。 78ページ



本体に録音したユーザースタイル(96ページ)、ユーザーパッド(92ページ)や、レジストレーションメモリー(54ページ)をセーブ/ロードできます。 60, 62ページ



PSR-540で扱えるユーザーデータをまとめると以下のとおりです。

データの種類	拡張子	セーブ	ロード
ユーザーソング (スタンダードMIDIフォーマット0)	.MID		
ユーザースタイル (スタイルファイルフォーマット)	.USR		
ユーザーパッド	.USR		
レジストレーションメモリー	.USR		

他にも以下のような機能があります。

フォーマット(ディスクの初期化)	60ページ
ソングコピー(ディスクソングのバックアップ)	64ページ
デリート(ディスク内のファイルの削除)	67ページ

メモ

ロゴについての説明は9ページを参照してください。

メモ

録音する曲の長さによっては60ファイルまで録音できない場合もあります。

メモ

セーブするデータの容量や種類(61ページ)によっては最大ファイル数は違ってきます。

メモ

データの保存には、PSR-540でフォーマットしたフロッピーディスクをお使いください。

ファイルネームの後(ピリオドの次)に付ける3文字を拡張子と呼びます。拡張子はファイルの種類を表しています。

ユーザーソングは録音時に直接ディスクに書き込み、再生時には直接読み出すため、セーブ/ロードの操作は行えません。コピー/デリートの操作はできません。

■ フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスク(ドライブ)をご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

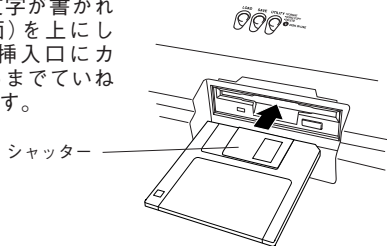
■ フロッピーディスクの種類

3.5インチの2DD、または、2HDフロッピーディスクがご使用になれます。

■ フロッピーディスクの挿入/取り出し

● フロッピーディスクの入れかた

- ・フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまで丁寧に差し込みます。

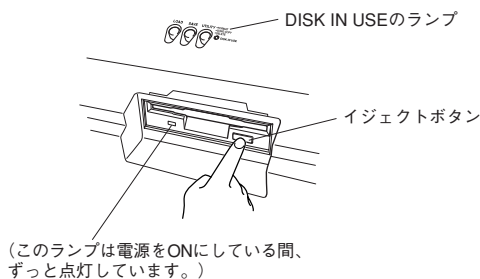


メモ

電源を入れると、ディスク挿入口左下のユーズランプは常に点灯して、フロッピーディスクドライブが使用可能であることを示します。

● フロッピーディスクをディスク挿入口から取り出すときのご注意

- ・フロッピーディスクを取り出すときは、あらかじめ、DISK IN USEランプが消えたことを確認した上で(ディスクドライブが実行中でないことを確認した上で)、ディスク挿入口の右下にあるイジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出了たことを確認してから、ディスクを取り出してください。



- ・イジェクトボタンを中途半端に押ししたり、あわてて押すと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合があります。この場合、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたり、ディスクドライブユニットが故障したりする原因になります。このような場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、もう一度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。

- 録音中や再生中などは絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。
- 電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

■ 磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。
- ディスクドライブユニットを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1ヵ月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。
- ディスクドライブにフロッピーディスク以外の物を入れないようご注意ください。ディスクドライブおよび、フロッピーディスク破損の原因になります。

メモ

- 磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

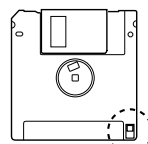
■ フロッピーディスクについてのご注意

● フロッピーディスクの取り扱いと保管

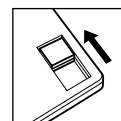
- ・(持ち運ぶ場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ・直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ・ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ・磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ・シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ・フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

● 誤消去防止

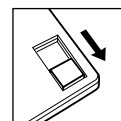
- ・フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。逆に、録音する場合は、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



フロッピーディスクの裏面



録音可
(演奏を録音
できます。)



録音不可
(演奏を録音で
きません。)

● データのバックアップ

- ・フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをおすすめします。

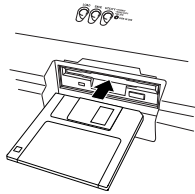
メモ

- 市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

付属のディスクを活用してみましょう

ソングを聴いてみましょう

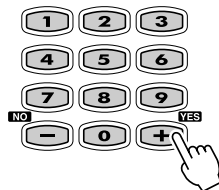
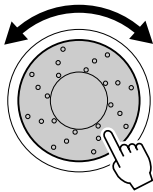
1 付属のサンプルディスクをディスク挿入口に入れます。



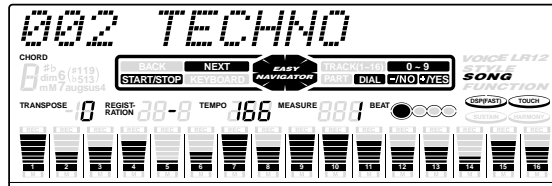
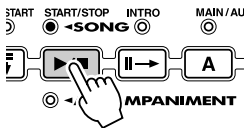
メモ
すでにディスクが挿入されている場合は[SONG]ボタンを押してください。

2 再生させたい曲(ソング)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



3 スタート/ストップ
[START/STOP]ボタンを押すと、再生がスタートします。



4 スタート/ストップ
もう1度、[START/STOP]ボタンを押すと、再生がストップします。

ディスクソングの再生方法の詳細については「ディスクソングを聴いてみましょう」(68ページ)を参照してください。

フォーマット(フロッピーディスクの初期化)

フォーマット
FORMAT

市販のフロッピーディスクをPSR-540で使用できる状態にすることをフォーマットと呼びます。すでにフォーマットされているディスクで、すべてのファイルをまとめて消去したい場合にも便利な機能です。

メモ

フォーマット実行直後、2HDタイプは1Mbyte、2DDタイプは720Kbyteのディスク容量があります。

メモ

ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスク(58ページ)を挿入した場合、またファイルにプロテクトのかかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(136ページ)が表示されフォーマットはできません。

!

すでにデータが記録されているフロッピーディスクをフォーマットしないように注意してください。フォーマットを実行するとフロッピーディスクの内容はすべて消えてしまいます。

⊘

フォーマットの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

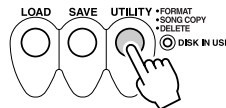
!

PSR-540で読み込めないフォーマットのディスクを挿入すると、未フォーマットディスクが挿入された時と同じ動作をします。大切なデータをフォーマットで消さないように注意してください。

1 ディスクをディスク挿入口に入れます。

未フォーマットディスク、およびPSR-540では読み込めないフォーマットのディスクを挿入すると、「Unformatted」と表示されます。この場合は EXIT ボタンを押すと「Format OK?」と表示されますので手順5に進んでください。

2 ユーティリティ [UTILITY] ボタンを押します。

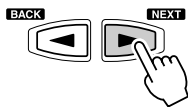


3 フォーマット 「Format」を選びます。

ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Menu=Format

4 ネクスト [NEXT] ボタンを押し、フォーマット画面に移ります。



Format OK?

5 フォーマットを実行します。

[+ / YES] ボタンを押してください。
フォーマットを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



Executing 49%

フォーマットが完了すると...

Completed

セーブ(ディスクにデータを保存する)

セーブ
SAVE

ここでは、本体に録音したユーザースタイル(96ページ)、ユーザーパッド(92ページ)、レジストレーションメモリー(54ページ)をディスクにセーブ(保存)する手順を説明します。

メモ

ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスク(58ページ)を挿入した場合、またファイルにプロテクトのかかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(136ページ)が表示されセーブはできません。

1 ディスクをディスク挿入口に入れます。

2 セーブ [SAVE] ボタンを押します。



Sv Type=All

3 ディスクにセーブするデータの種類を選びます。

ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
データの種類のについては以下を参照してください。

All	ユーザースタイル(107~109)、ユーザーパッド(バンク37~40)、レジストレーションメモリ(バンク01~32)のデータおよびパネル上のほとんどすべての設定状態を1ファイルとしてセーブします。
Sty + Reg	ユーザースタイル(107~109)とレジストレーションメモリ(バンク01~32)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。
Style	ユーザースタイル(107~109)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。
Multi Pad	ユーザーパッド(バンク37~40)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。
Regist	レジストレーションメモリ(バンク01~32)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。

メモ

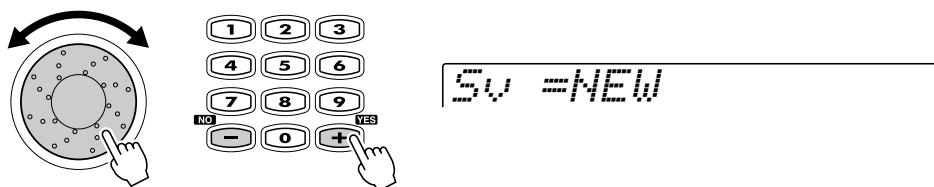
ユーザースタイル、ユーザーパッド、レジストレーションメモリのデータは、まとめて1ファイルとしてセーブされますが、ロードする際は個別に呼び出すことができます。

4 [NEXT] ボタンを押して、ファイル選択画面にします。

ネクスト

5 セーブするファイルを選びます。

ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
新規にファイルを作る場合はNEWを選びます。



6 [NEXT] ボタンを押して、ネーム画面に進みます。

ネクスト

7 鍵盤を使ってファイル名をつけます。(21ページ)

Sv Name=UF_00002

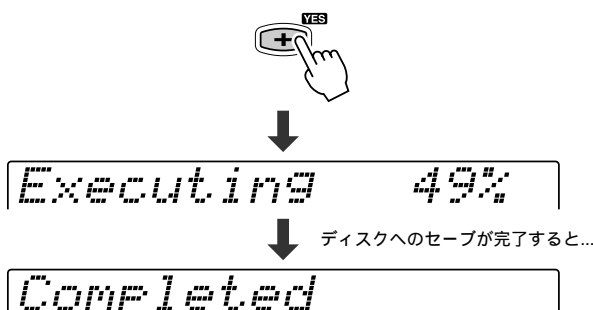
8 [NEXT] ボタンを押して、セーブ実行画面に進みます。

ネクスト

Save OK?

9 セーブを実行します。

[+ /YES]ボタンを押してください。セーブを取り止める場合は[- /NO]ボタンを押してください。



メモ

すでに存在するファイルを選んだ場合でも、ここでファイル名を変更すれば、別のファイルとしてセーブされることになります。



セーブの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

メモ

フロッピーディスクの空き容量が足りないと、エラーメッセージ(136ページ)が表示され、セーブできません。そのフロッピーディスクにセーブされている不要なファイルをデリートする(67ページ参照)か、新しいフロッピーディスクと交換して、もう一度セーブしてください。

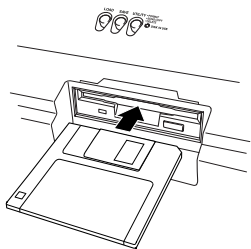
セーブ中に書き込みエラーが起こった場合、エラーメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直しても、繰り返しエラーが起こった場合は、フロッピーディスクに問題がある可能性があります。フロッピーディスクを交換してもう一度操作をやり直してください。

ロード(ユーザーデータを呼び出す)

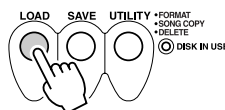
ロード
LOAD

ここでは、本体からディスクにセーブしたデータを、再び本体へロードする場合を説明します。

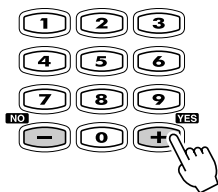
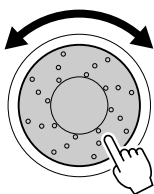
1 フロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。



2 ^{ロード} [LOAD] ボタンを押します。



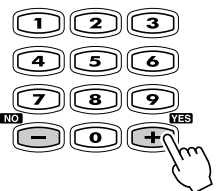
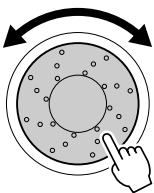
3 ディスクからロードするファイルを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



Ld =ABCD .USR

4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してデータタイプ選択画面にします。

5 ディスクからロードするデータのタイプを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



Ld Type=All

ロードできる ファイルタイプ	
All	➡ 手順10へ進んでください。
Sty+Reg	
Style	➡ 手順6へ進んでください。
Multi Pad	
Regist	

ここで選んだファイルタイプによって、次の操作が違ってきます。表のとおりに従ってください。

6

ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。

`Src=User@BeatPop`

7

ディスクからロードするデータを選びます。

ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

「All」を選んだ場合は、手順10へ進んでください。
「All」以外を選んだ場合は、手順8へ進んでください。

8

ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、ロード先選択画面に移ります。

9

データのロード先を選びます。

ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

`Dst=UserStyle1`

10

ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、ロード実行画面に移ります。

`Load OK?`

11

ロードを実行します。

[+ / YES] ボタンを押してください。
ロードを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



`Executing 45%`

↓ ディスクからのロードが完了すると...

`Completed`



フロッピーディスクのデータを PSR-540 本体にロードすることによって、本体に記録されていたデータはフロッピーディスクのデータに書き替えられます。大切なデータはロードする前にフロッピーディスクにセーブしておきましょう。



ロードの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。



ロード時に PSR-540 本体 (RAM) の容量を越えた場合や、フロッピーディスクに問題がある場合、また、データが壊れていてロードできない場合などはエラーメッセージ (136 ページ) が表示されます。

ディスクのソングをコピーする

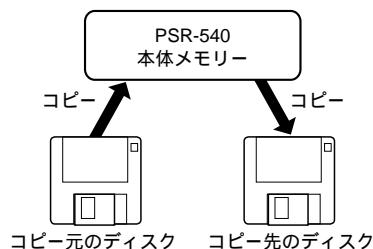
ソングコピー
SONG COPY

フロッピーディスクのソングファイルを、コピーすることにより、バックアップ(控え)をとります。ソングデータの編集(84ページ~91ページ)をする前にバックアップをとるとよいでしょう。コピーは一度に1ファイルだけできます。

別のディスクにコピーする

バックアップ用にもう1枚ディスクを準備してください。

下図のように、コピー元のディスクのファイル内容を本体内部メモリにいったんコピーした後に、コピー先のディスクにコピーします。



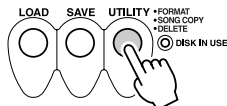
メモ

ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスク(58ページ)をコピー先のディスクとして挿入した場合、またファイルにプロテクトがかかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(136ページ)が表示されコピーはできません。

コピー元のディスクで選んだファイルのデータ量が、本体メモリ容量よりも大きい場合、何回かに分けてコピーすることになります。(手順11を参照)

1 コピー元のディスクをディスク挿入口に入れます。

2 ユーティリティ
[UTILITY] ボタンを押します。



3 ソングコピー
「SongCopy」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Menu=SongCopy

4 ネクスト
[NEXT] ボタンを押し、コピー画面に移ります。

5 アナザー
「Another (=別のディスク)」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

CopyType=Another

6 ネクスト
[NEXT] ボタンを押し、ソング選択画面に移ります。

7 コピー元のファイルを選びます。
 ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

Src=Song_01

8 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押し、ネーム画面に移ります。

Nam=Song_01
 └─ カースル

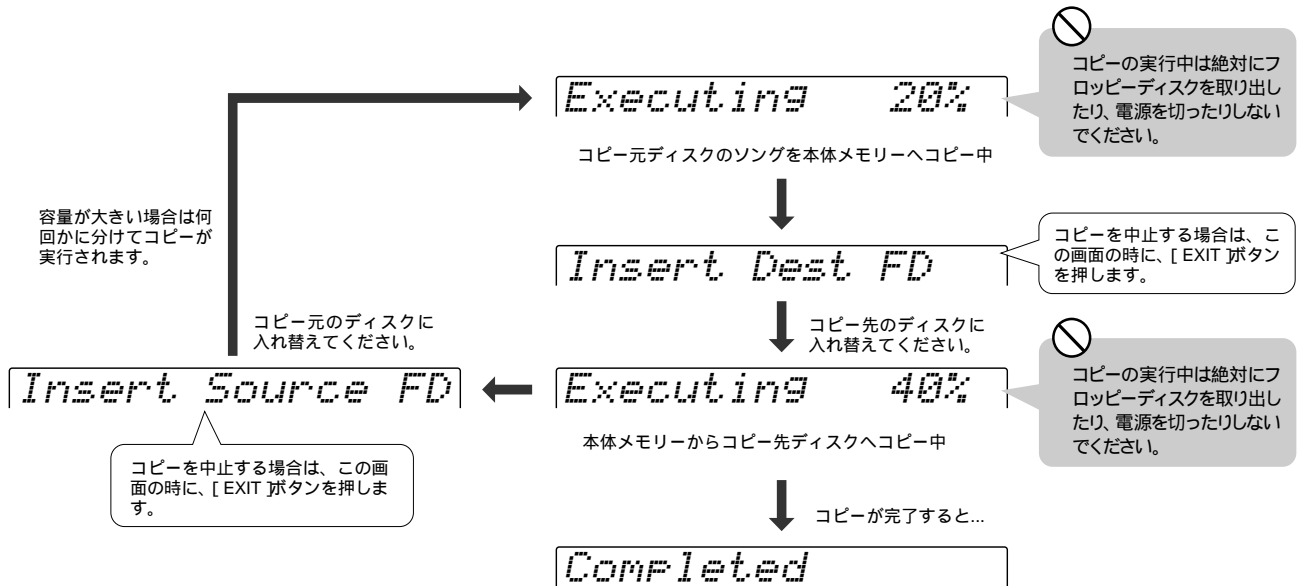
9 鍵盤を使ってコピー先のソング名をつけます。(21ページ)

10 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押し、コピー実行画面に移ります。

Copy OK?

11 コピーを実行します。
 [+ /YES]ボタンを押してください。
 コピーを取り止める場合は [- /NO]ボタンを押してください。

メモ
 コピーの手順の中で、関係のないディスクを挿入するとエラーメッセージ(136ページ)が表示されます。



同一ディスク内にコピーする

1~4 「別のディスクにコピーする」と同じ操作です。(64ページ)

5 ^{セーム} 「Same (= 同じディスク) を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

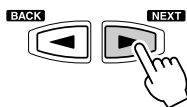
CopyType=Same

6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、ソング選択画面に移ります。

7 コピー元のソングを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Src=Song_01

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、ネーム画面に移ります。



Nam=Song_01

カーソル

9 鍵盤を使ってコピー先のソング名をつけます。(21ページ)

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、コピー実行画面に移ります。

Copy OK?

11 コピーを実行します。
[+ / YES] ボタンを押してください。
コピーを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



Executing 49%

↓ コピーが完了すると...

Completed



コピーの実行中は絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

ディスクのファイルを削除(デリート)する

デリート
DELETE

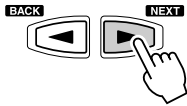
1 フロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。

2 ^{ユーティリティ} [UTILITY] ボタンを押します。

3 ^{デリート} 「Delete (= 削除) を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Menu=Delete

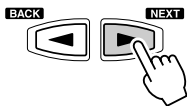
4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、ファイル選択画面に移ります。



5 削除(デリート)したいファイルを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

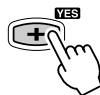
Del=ABCD .USR

6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、デリート実行画面に移ります。



Delete OK?

7 デリートを実行します。
[+ / YES] ボタンを押してください。
デリートを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



Executing 49%

↓ デリートが完了すると...

Completed

メモ

ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスクを挿入した場合、またファイルにプロテクトがかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(136ページ)が表示されデリートはできません。



デリートの実行中は絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

ディスクソングを聴いてみましょう

PSR-540では、ディスクドライブにフロッピーディスクを入れることにより、さまざまな曲(ソング)を再生させることができます。

付属のサンプルディスクをはじめ、PSR-540で再生させることのできるディスクは以下のとおりです。各ロゴについての詳細な説明は9ページをご参照ください。



GMロゴマークの付いた市販のディスクソフト



XGロゴマークの付いた市販のディスクソフト



DOCロゴマークの付いた市販のディスクソフト



フロッピーディスクおよびディスクドライブの扱い方について、必ず58ページをお読みください。

ディスクソングを再生する方法(ソングプレイモード)として以下のようなものがあります。 69ページ

- 1曲だけを再生する。
- 1曲だけを繰り返し(リピート)再生する。
- ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて再生する。
- ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて繰り返し(リピート)再生する。
- ディスクに入っている曲(ソング)をランダムな順番で続けて再生する。

また他にも以下のような機能があります。

- ソングの特定のトラックを消音(オフ)して再生する。 70ページ
- ソングのテンポを変更する。 36ページ
- ソングだけの音量を変更する。(ソングボリューム) 70ページ
- ソングだけの音程を変える。(ソングトランスポーズ) 73ページ
- ソングの途中から再生をスタートさせる。(ソングスタートメジャー) 71ページ
- ソングの一部を繰り返し再生する。(リピート再生) 72ページ

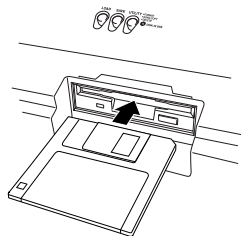
ディスクソングを再生する

ソング
SONG

1

ソングデータの入っているディスクをディスクドライブに挿入します。

自動的にソングモードになります。



メモ

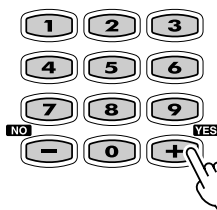
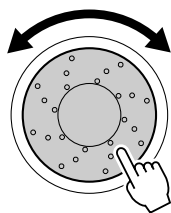
すでにディスクが挿入されている場合でソングモードでない場合は、[SONG]ボタンを押してください。

ソングデータの入っていないディスクをディスクドライブに入れた場合、自動的にソングモードにはなりません。

2

再生させたい曲(ソング)を選びます。

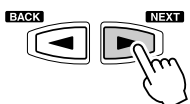
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



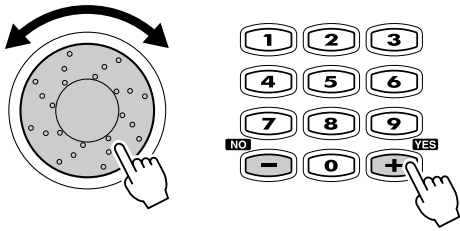
002 TECHNO

3

ネクスト [NEXT] ボタンを押して、ソングメニュー画面にします。

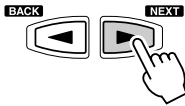


4 プレイモード
メニュー「PlyMode」を選びます。



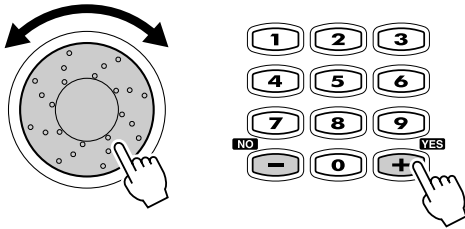
S.Menu =PlyMode

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してソングプレイモード画面にします。



PlyMode=Single

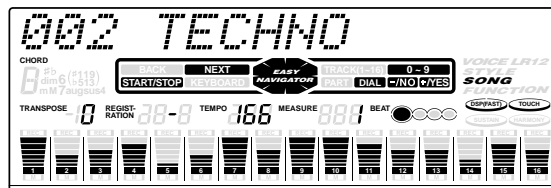
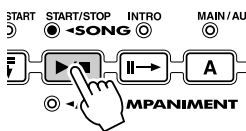
6 再生方法 (プレイモード) を選びます。



PlyMode=Single

- Single(シングル) 1曲だけを再生する。
- S.Repeat(シングルリピート) 1曲だけを繰り返し(リピート)再生する。
- AI(オール) ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて再生する。
- A.Repeat(オールリピート) ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて繰り返し(リピート)再生する。
- Random(ランダム) ディスクに入っている曲(ソング)をランダムな順番で続けて再生します。

7 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押すと、再生がスタートします。



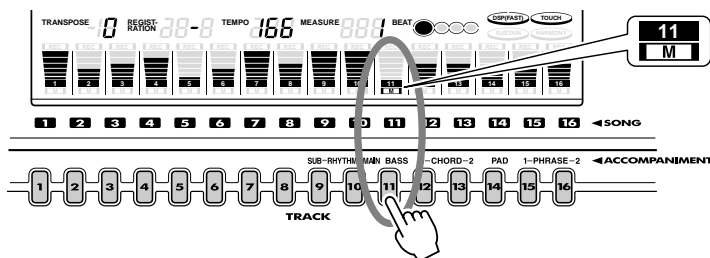
8 スタート/ストップ
もう1度、[START/STOP] ボタンを押すと、再生がストップします。

ソングの特定のトラックを消音(オフ)して再生する

トラック
TRACK

1 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、ソング再生をスタートさせます。

2 音を消したいトラックのボタンを押します。
[M] アイコンが表示され、そのトラックの再生音が消えます。



もう一度同じトラックボタンを押すと、再生音が鳴ります。

3 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

ソングだけの音量を変える

ソングボリューム
SONG VOLUME

1 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、ソング再生をスタートさせます。

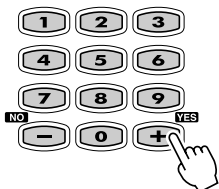
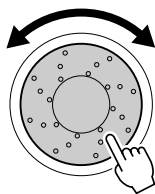
2 アコンパニメント/ソングボリューム
[ACMP/SONG VOLUME] ボタンを押します。



メモ

この操作で、鍵盤演奏の音量が変わることはありません。

3 ソングボリュームを0～127の範囲で変更します。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



4 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

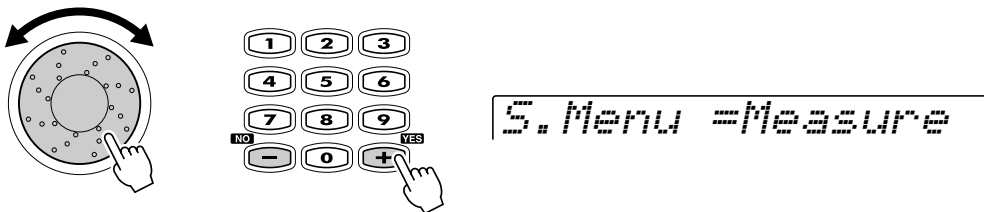
ソングの途中から再生する

スタートメジャー
Start Measure

1 ^{ソング}
[SONG] ボタンを押します。

2 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押してソングメニュー画面に移ります。

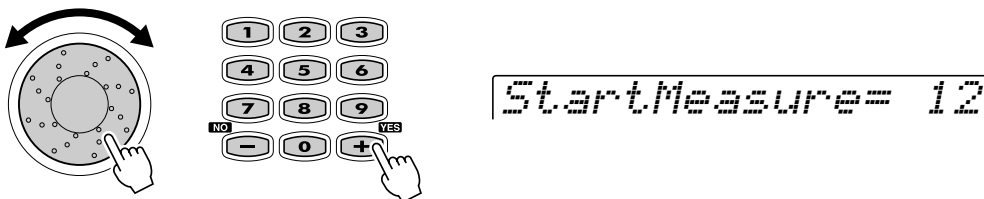
3 ^{メジャー}
「Measure (= 小節)」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



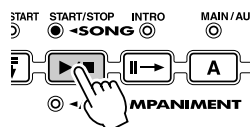
4 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押してソングスタートメジャー画面に移ります。



5 再生をスタートさせたい小節ナンバーを設定します。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



6 ^{スタート/ストップ}
[START/STOP] ボタンを押して、指定した小節から再生をスタートさせます。

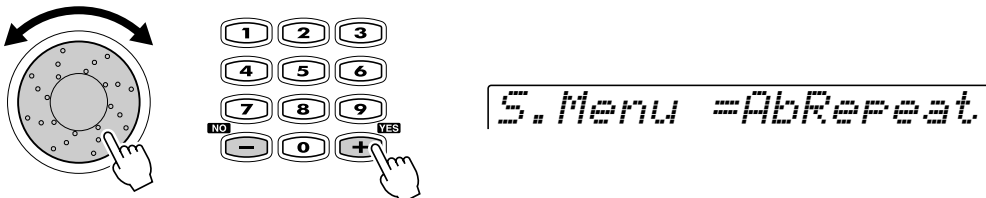


7 ^{スタート/ストップ}
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

ソングの一部を繰り返し再生する(リピート再生)

リピート
Repeat

- 1 ^{ソング} [SONG] ボタンを押します。
- 2 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してソングメニュー画面に移ります。
- 3 ^{ABリピート} 「 AbRepeat 」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



- 4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してリピート画面に移ります。



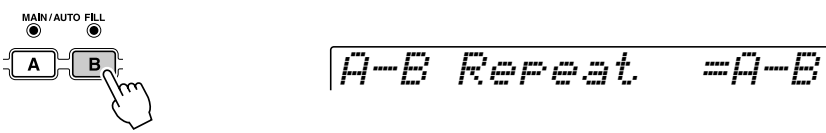
- 5 ^{スタート/ストップ} [START/STOP] ボタンを押して、再生をスタートさせます。

- 6 ^{メインA} リピートの開始位置(A点)にしたいタイミングにきたら [MAIN A] ボタンを押します。



メモ
Aだけをマークした場合は、ソング終了位置で自動的にBがマークされ、Aからソングの最後までを繰り返し演奏します。

- 7 ^{メインB} リピートの終了位置(B点)にしたいタイミングにきたら [MAIN B] ボタンを押します。



メモ
別のソングを選択すると、リピート再生の設定は自動的にキャンセルされます。

これで繰り返し(リピート)再生が設定されました。
これ以降は、繰り返し(リピート)再生を続けます。

- 8 ^{メインA} もう1度 [MAIN A] ボタンを押すと、リピート設定が解除されます。

- 9 ^{スタート/ストップ} [START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

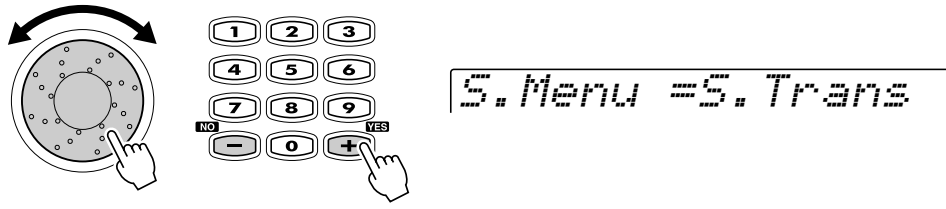
ソングだけの音程を変える

ソングトランスポーズ
Song Transpose

1 ^{ソング} [SONG] ボタンを押します。

2 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してソングメニュー画面に移ります。

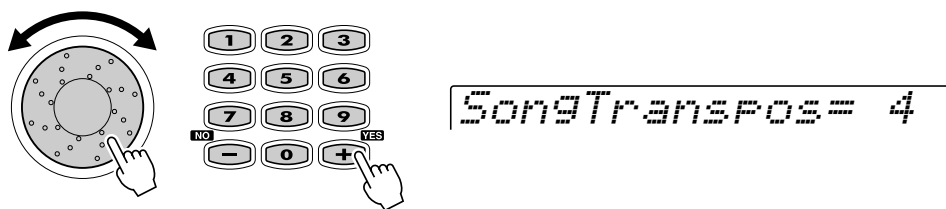
3 ^{ソングトランスポーズ} メニュー「S.Trans」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してソングトランスポーズ画面に移ります。



5 音程を - 12 ~ + 12 の範囲で変更します。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



6 ^{スタート/ストップ} [START/STOP] ボタンを押して、再生をスタートさせます。

7 ^{スタート/ストップ} [START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

メモ
この操作で、鍵盤演奏の音程が変わることはありません。
トランスポーズ(30ページ)の設定はPSR-540全体にかかるため、その設定値を変更すると、ソングトランスポーズの設定値も同じ変化量だけ同時に変更されます。
ユーザーソングの録音モードに入ると、ソングトランスポーズの設定値は自動的に「0」になり、変更できなくなります。

メモ
[- / NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定することができます。

メモ
再生させながら、手順 1 ~ 5 の操作をすることも可能です。

各パートの設定をしましょう

ボイスチェンジ ミキサー パラメーターエディット
VOICE CHANGE / MIXER / PARAMETER EDIT

PSR-540では、手弾きの鍵盤演奏の他にも自動伴奏やソングなど多くのパートが演奏をします。

スタイルモードの場合

	パート名	
鍵盤演奏	ボイスR1	VOICE R1
	ボイスR2	VOICE R2
	ボイスL	VOICE L
自動伴奏	リズム サブ	RHYTHM SUB
	リズム メイン	RHYTHM MAIN
	ベース	BASS
	コード1	CHORD1
	コード2	CHORD2
	パッド	PAD
	フレーズ1	PHRASE1
	フレーズ2	PHRASE2

ソングモードの場合

	パート名	
鍵盤演奏	ボイスR1	VOICE R1
	ボイスR2	VOICE R2
	ボイスL	VOICE L
ソング	トラック1	TRACK1
	トラック2	TRACK2
	トラック3	TRACK3
	トラック4	TRACK4
	.	.
	.	.
	トラック15	TRACK15
	トラック16	TRACK16

これらの各パートについて、

- ボイスチェンジ機能で各パートのボイス(音色)を変更できます。 75ページ
- ミキサー機能で各パートのボリュームを変更し、パート間のバランス調整ができます。 76ページ
- それ以外にも、以下のようなパラメーター設定ができます。(パラメーターエディット) 77ページ
 - ・オクターブ
 - ・パン(ステレオでの音の定位)
 - ・リバーブデプス(リバーブ効果の深さ)
 - ・コーラスデプス(コーラス効果の深さ)
 - ・DSPデプス(DSP効果の深さ)

各パートで設定できるパラメーターをまとめると以下ようになります。

パラメーター一覧

パラメーター	ボイス R1, R2, L	伴奏 スタイル	ソング	設定値の範囲	設定する 機能名
ボイスナンバー				ボイスリスト参照(123ページ)	ボイスチェンジ
ボリューム				0~127	ミキサー
オクターブ				-2~2	パラメーターエディット
パン				-64~63	パラメーターエディット
リバーブデプス(深さ)				0~127	パラメーターエディット
コーラスデプス(深さ)				0~127	パラメーターエディット
DSPデプス(深さ)				0~127	パラメーターエディット

メモ

鍵盤演奏(ボイスR1, R2, L)

DSPタイプにインサージョンエフェクト(50ページ)が選ばれている場合、DSP効果はボイスR1にだけかかりますので、ボイスR2/LのDSPデプスは変更できません。またインサージョンエフェクトタイプの中にはボイスR1でもデプスを変更できない場合があります。

電源を切ったり、パート設定の終了後にボイスR1で別のパネルボイスを選んだり、レジストレーションメモリーを呼び出したりすると、鍵盤演奏のパートの設定は失われます。パート設定を保存しておきたい場合レジストレーションメモリー(54ページ)に記憶しておきましょう。

ソング

パート設定したいソングは各画面に入る前に選んでください。

電源を切ったり、パート設定の終了後に別のソングを選んだりスタイルモードに移ると、ソングのパート設定は失われます。ディスクソングのデータを書きかえたい場合は、録音モードに入ってエディットしてください。(78ページ)

自動伴奏スタイル

RHYTHM MAIN(リズムメイン)トラックではドラムキット(31ページ)以外のボイスは選べません。

RHYTHM SUB(リズムサブ)トラックではすべてのボイスを選べますが、自動伴奏演奏時にコード変換されません。

パート設定したいスタイルは各画面に入る前に選んでください。

自動伴奏を演奏しながらパート設定することもできます。

スタイルのパート設定は、すべてのセクションに共通になります。

電源を切ったり、パート設定の終了後に別のスタイルを選んだり、レジストレーションメモリーを呼び出したりすると、スタイルのパート設定は失われます。パートの設定を保存しておきたい場合はレジストレーションメモリー(54ページ)に記憶しておきましょう。また、設定した内容をユーザースタイルのデータとして保存(録音)しておくこともできます。(96ページ)

各パートのボイスを変更する

ボイスチェンジ
VOICE CHANGE

鍵盤演奏で使うボイス(R1, R2, L)だけでなく、自動伴奏やソングの各トラックのボイスを変更することができます。

1

ボイスチェンジ

[VOICE CHANGE] ボタンを押してランプを点灯させます。



2

ボイス変更したいパートを選びます。

以下のとおり、ボタンを押して選んでください。

鍵盤演奏 PART ON/OFF [VOICE R1] [VOICE R2] [VOICE L ボタン

自動伴奏トラック [TRACK9] ~ [TRACK16] ボタン(スタイルモードの場合)

ソングトラック [TRACK1] ~ [TRACK16] ボタン(ソングモードの場合)

3

ボイスを変更します。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

パネル上のボイスリストや、巻末のボイスリスト(123ページ)を参考にしてください。

Rhythm=216 StrndKit1

4

必要に応じて2~3の操作をくり返します。

5

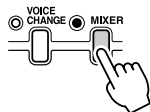
エグジット

[EXIT] ボタンを押して、ボイスチェンジ画面を抜けます。

各パートの音量を変更してバランスをとる

1

ミキサー
[MIXER] ボタンを押して、ランプを点灯させます。



2

ボリューム調整したいパートを選びます。

以下のとおり、ボタンを押して選んでください。

鍵盤演奏 PART ON/OFF [VOICE R1][VOICE R2][VOICE L ボタン

自動伴奏スタイル [TRACK9]~[TRACK16 ボタン(スタイルモード)

ソング [TRACK1]~[TRACK16 ボタン(ソングモード)

Volume Ph1 =120

3

各画面でボリュームを調整します。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

Volume Ph1 =110

4

必要に応じて2~3の操作をくり返します。

5

エグジット
[EXIT] ボタンを押して、ミキサー画面を抜けます。

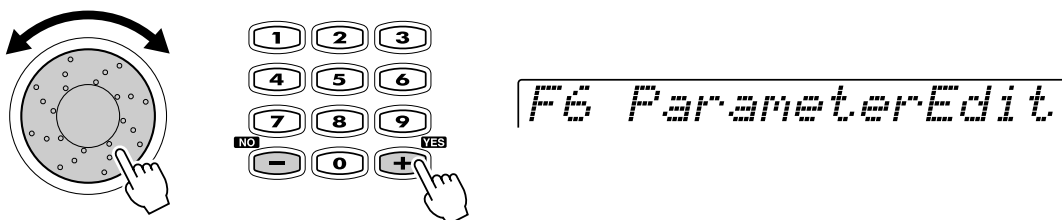
各パートのパラメーターを変更する

パラメーターエディット
Parameter Edit

- 1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



- 2 パラメーターエディット
「Parameter Edit」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



- 3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、パラメーターエディット画面にします。

- 4 各画面でパラメーター値を調整をします。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
パートの切り替えはミキサーの場合と同じです。
パラメーター画面は下記の図のように [NEXT] ボタン、[BACK] ボタンで切り替えてください。

Octave R2 = 2

[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン

Par R2 = 40

[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン

RevDepth R2 = 120

[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン

ChoDepth R2 = 108

[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン

DefDepth R2 = 112

メモ

自動伴奏トラックのオクターブ設定は変更できません。

メモ

オクターブとパンを設定する場合、[- / NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定できます。

演奏を録音しましょう(ソング録音)

レコード
RECORD

ユーザーソング(User Song)として、フロッピーディスクに自分の演奏を録音することができます。

ユーザーソングは16トラックに、鍵盤演奏(R1, R2, L)だけでなく、自動伴奏の演奏の設定も録音できます。

メモ

ユーザーソングは、フロッピーディスクに録音します。フロッピーディスクが挿入されていない場合は録音できません。

PSR-540の録音方法には、「クイック録音」と「マルチトラック録音」の2種類があります。また、録音したソングのデータを後から編集する機能もあります。

クイック録音(Quick) 80ページ

細かい設定をすることなく、簡単に録音する方法です。

マルチトラック録音(Multi) 82ページ

トラックごとに録音パートを設定してから録音する方法です。

また、一度録音したソングを部分的に録音し直す方法もあります。

- パンチイン/アウト パンチインに指定した小節 ~ パンチアウトに指定した小節までの録音をやりなおします。 84ページ
- スタートメジャー 録音をスタートする小節(メジャー)を設定します。 84ページ

編集(エディット) Edit) 86ページ

録音したソングのデータを後から編集する機能です。以下の4つの機能があります。

- クオンタイズ 録音したノートデータ(音符)のタイミングを揃えます。 86ページ
- セットアップデータ ノートデータ(音符)以外のデータを編集します。 88ページ
- ネーム 録音したソングに名前(12文字以内)をつけます。 90ページ
- クリア ソングの一部または全部をクリア(消去)します。 91ページ

録音したユーザーソングは内蔵のデモソングやディスクソングと同じように鳴らすことができます。

ユーザーソングに録音できる演奏データ

- テンポ 36ページ
- 拍子 16ページ
- 自動伴奏スタイルナンバー 32ページ
- 自動伴奏セクションの変更、およびそのタイミング 34ページ
- 自動伴奏コードの変更、およびそのタイミング 33ページ
- 自動伴奏ボリューム 37ページ

- ノートオン/オフ(押鍵/離鍵) 107ページ
- ベロシティ(押鍵の強弱) 107ページ
- ピッチベンド操作、およびピッチベンドレンジ 30, 122ページ
- フットスイッチ操作(サステイン、ソステヌート、ソフト) 13ページ
- ボイスチェンジの設定 75ページ
- ミキサーの設定 76ページ
- パラメーターエディットの設定 76ページ
- リバーブタイプ、および設定 46ページ
- コーラスタイプ、および設定 48ページ
- DSP(FAST/SLOW含む)オン/オフ、およびタイプ 49ページ
- ハーモニー/エコーのオン/オフ、およびタイプ 50ページ

- スケールチューニング 119ページ
- サステインオン/オフ 30ページ

メモ

PSR-540で録音したソングは、SMF(スタンダードMIDIファイルフォーマット0)になります。SMFについては109ページをご参照ください。

メモ

ノートオン/オフや、ベロシティを録音できるということは、鍵盤演奏はもちろん、フォルテやピアノ、クレッシェンドやデクレッシェンドなど細やかな演奏表現を、そのまま録音できるということです。

ノートオンは「鍵盤を押す」、ノートオフは「鍵盤を離す」、ベロシティは「鍵盤を押す強弱」というMIDIデータ(演奏情報)です。(107ページ)

ソングメモリーの合計の容量は、2DDディスク = 約65,000音、2HDディスク = 約130,000音です。

ユーザーソングのトラック構成

ユーザーソングに録音できるトラックは以下のような構成になっています。

トラック	設定できるパート/トラック	初期設定パート
1	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE R1
2	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE R2
3	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE L
4	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE R1
5	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE R1
6	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE R1
7	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE R1
8	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	VOICE R1
9	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) RHYTHM SUB
10	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) RHYTHM MAIN
11	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) BASS
12	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) CHORD1
13	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) CHORD2
14	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) PAD
15	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) PHRASE1
16	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏トラック	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) PHRASE2

マルチトラック録音は、上記のトラック構成を設定してから録音する方式です。

同時に複数トラックの録音が可能です。

また、一度録音したデータで録音し直したり、録音していないトラックに追加録音することができます。

クイック録音は、上記のトラック構成を気にすることなく簡単に録音する方式です。以下のルールで録音されます。

- ・ 録音方法が「Melody(メロディ)」の場合
トラック1～3に、鍵盤演奏(VOICE R1, R2, L)が録音されます。
- ・ 録音方法が「Acmp(自動伴奏)」の場合
トラック9～16に、自動伴奏の演奏が録音されます。
- ・ 録音方法が「Mel + Acmp(メロディ+自動伴奏)」の場合
トラック1～2に鍵盤演奏(VOICE R1, R2)が、トラック9～16に自動伴奏の演奏が録音されます。

クイック録音、マルチトラック録音は録音方法は違いますが、録音されるデータフォーマットは同じです。したがって、クイック録音で録音したユーザーソングを後で録音し直したい場合にマルチトラック録音を使うこともできます。

メモ

録音のときに知っておくと便利なポイントや注意点を説明します。

メトロノームの設定(118ページ)をオンしておけば、録音待機状態や録音中にメトロノーム音が鳴ります。自動伴奏を使わない録音をする場合は便利です。

録音中にレジストレーションメモリー(54ページ)を使えば、ボイスなどいろいろな設定をワンタッチで呼び出せるので、便利です。なお、録音モードに入るとレジストレーションメモリーのフリーズ設定が自動的にオンになります。(オフにできません。)

録音モードに入るとシンクロスストップ(41ページ)は自動的にオフになり、使えません。

すでに録音済みのトラックを録音する場合、録音をスタートすると、そのトラックに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。

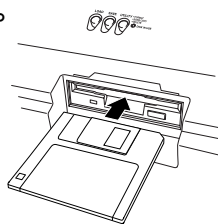
別売のディスクソフトでライトプロテクトのかかっていないソングファイルを選んで、録音(エディット)することもできます。ソングファイルがPSR-540ユーザーソング用フォーマットと違う場合、ソングファイルを選んだ時に、データ変換をするかどうかの確認メッセージが操作画面に表示されます。この時[+/YES]ボタンを押すと、選ばれたソングファイルをPSR-540ユーザーソング用のフォーマットに変換する作業が始まります。データ変換終了後、録音待機状態になり、録音できるようになります。

録音途中にディスク容量がいっぱいになると、録音は自動的にストップします。

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、ソングデータが失われますのでご注意ください。

クイック録音

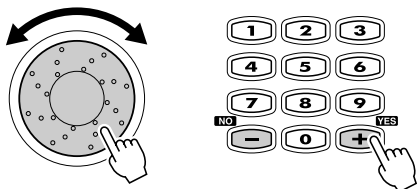
1 空のフロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。



2 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。

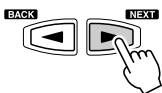


3 ^{ソング} 「Song」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



RecMenu=Song

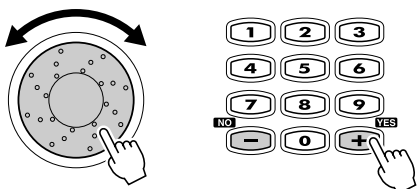
4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



001 New Song

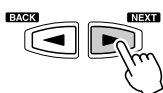
5 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

6 ^{クイック録音} 「Quick Rec」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



RecMode=QuickRec

7 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



Rec Tr =Melody

8 演奏方法を選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

- Melody 自動伴奏を使わずに、メロディ演奏(ボイスR1/R2/L)を録音します。
- Acmp 自動伴奏だけを録音します。この方法を選ぶと自動的に自動伴奏オンになります。
- Melody + Acmp 自動伴奏を使ったメロディ演奏(ボイスR1/R2)を録音します。この方法を選ぶと自動的に自動伴奏オンになります。

9

ネクスト

[NEXT] ボタンを押し、録音待機画面に移ります。

ビートランプが設定中のテンポで点滅し、録音待機状態(シンクロ待機状態)になります。



10

演奏しましょう。(= 録音スタート)

手順5で「Melody」、または「Mel + Acmp」を選んだ場合
鍵盤を弾くと、録音が始まります。

手順5で「Acmp」を選んだ場合
スプリットポイントより左側の自動伴奏コード鍵域でコードを押すと、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

[START/STOP] ボタンで録音をスタートすることもできます。

Song Recording

メモ

録音が始まると、自動伴奏のオン/オフの切り替えはできません。

11

録音をストップします。

手順5で「Melody」を選んだ場合
[START/STOP] ボタンを押してください。

手順5で「Acmp」、または「Mel + Acmp」を選んだ場合
[START/STOP] ボタンを押してください。

また、エンディングを再生して自動伴奏を終了させると録音もストップします。

Su? SONG_001.MID

12

演奏をディスクにセーブ(保存)するかどうかを選びます。

録音しなおしたい場合

[- / NO] ボタンを押してください。トラック選択画面に戻りますので、手順8から、やりなおしてください。

ディスクにセーブ(保存)したい場合

[+ / YES] ボタンを押してください。



Executing 72%

セーブが完了すると...

Completed



データのセーブ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

13

録音モードを抜けます。

[RECORD] ボタンを押してください。



マルチトラック録音

マルチトラック
Multi Track

1~3 「クイック録音」と同じ手順です。(80ページ)

4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、ソング選択画面にします。

001 New Song

5 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、録音方法選択画面にします。

6 ^{マルチトラック録音} 「MultiRec」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

RecMode=MultiRec

7 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを3回押し、パート設定画面にします。

RecPart T01 =R1

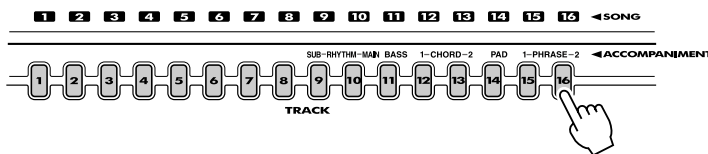
メモ

Punch In/Out (パンチイン/アウト)、およびスタートメジャーについては84ページを参照してください。

8 各トラックに録音設定をします。

1) トラックを選びます。

[TRACK1] ~ [TRACK16] のいずれかのボタンを押してください。



メモ

トラックの構成については、79ページを参照してください。

自動伴奏を録音したい場合は [ACMP] ボタンをオンにしてください。

複数のトラックに同じパートを設定できません。

2) そのトラックに割り当てるパートを設定します。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン

3) そのトラックに録音する場合は「Rec」に設定します。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



1) ~ 3) の操作をくり返して各トラックに必要な設定をしてください。

9

ネクスト

[NEXT] ボタンを押し、リハーサル画面に移ります。

この画面のときに、ボイスやスタイルなどの設定ができます。
設定終了後に [EXIT] ボタンを押すと、この画面に戻ります。



10

ネクスト

[NEXT] ボタンを押し、録音待機画面に移ります。

ビートランプが設定中のテンポで点滅し、録音待機状態(シンクロ待機状態)になります。



11

演奏しましょう。(= 録音スタート)

手順7~9で自動伴奏トラックを録音に設定しなかった場合、鍵盤を弾くと録音がスタートします。

手順7~9で自動伴奏トラックも録音に設定した場合は、スプリットポイントより左側の自動伴奏コード鍵域でコードを押すと、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

[START/STOP] ボタンで録音をスタートすることもできます。

メモ

録音がスタートすると、自動伴奏のオン/オフの切り替えはできません。

12

録音をストップします。

手順7~9で自動伴奏トラックを録音に設定しなかった場合は、[START/STOP] ボタンを押してください。

手順7~9で自動伴奏トラックも録音に設定した場合は、[START/STOP] ボタン、または [ENDING] ボタンを押してください。



13

演奏をディスクにセーブ(保存)します。

録音しなおしたい場合は、[- / NO] ボタンを押してください。パート設定画面に戻りますので、手順8から、やりなおしてください。

ディスクにセーブ(保存)したい場合は、[+ / YES] ボタンを押してください。



データのセーブ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。




セーブが完了すると...



14

レコード

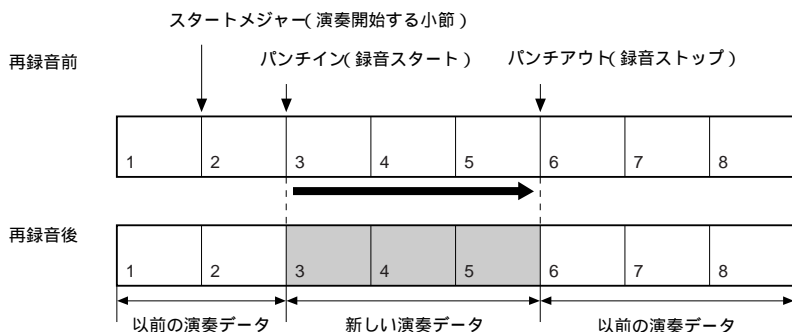
[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。


部分的に録音をやり直す

パンチインアウト 録音スタート小節
Punch In/Out / Rec Start

一度録音した曲(ソング)を部分的に録音し直す方法を説明します。

たとえば、8小節のソングの中で3小節~5小節の間を録音し直したい場合は以下ようになります。



- 1 フロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。
- 2 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。

- 3 ^{ソング} 「Song」を選びます。
 ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

RecMenu=Song
- 4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、ソング選択画面にします。
- 5 録音をやりなおしたいソングを選びます。
 ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

002 UserSong1
- 6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、録音方法選択画面にします。
- 7 ^{マルチトラック録音} 「MultiRec」を選びます。
 ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

RecMode=MultiRec

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、パンチイン/アウト設定画面に移ります。

9 ^{オン} 「On」を選びます。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

Punch In/Out=On

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、パンチインの小節を設定する画面にします。

11 パンチインの小節を設定します。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

Punch In = 3

12 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、パンチアウトの小節を設定する画面にします。

13 パンチアウトの小節を設定します。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

Punch Out = 5

メモ

パンチアウトの小節ナンバーは、パンチインの小節ナンバーより小さく設定できません。

14 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、スタートメジャー設定画面にします。

15 スタートメジャー(演奏をスタートする小節)を設定します。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

Rec Start = 2

メモ

自動伴奏トラックはパンチイン/アウト録音ができません。

録音中、[TRACK] ボタンを押して、他の録音済みのトラックの再生をオン/オフすることができます。

16 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、パート設定画面に移ります。

17 「マルチトラック録音(82ページ)の手順7以降の操作をしてください。

録音データのタイミングのばらつきを整える

たとえば、以下のような4拍子のフレーズを録音したとします。



演奏しているときは、正確に弾いているつもりでも、タイミングが微妙に遅れたり早かったりする場合もあります。クオンタイズはそういった微妙な「ずれ」を補正してデータを書き直す機能です。

1~4 「部分的に録音をやり直す」(84ページ)と同じです。

5 クオンタイズをかけたいソングを選びます。
ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

002 UserSong1

6 ネクスト [NEXT]ボタンを押して、録音方法選択画面にします。

7 エディット 「Edit (= 編集)」を選びます。

RecMode=Edit

8 ネクスト [NEXT]ボタンを押して、エディットメニュー画面にします。

9 クオンタイズ 「Quantize」を選びます。
ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

Ed Menu=Quantize

10 ネクスト [NEXT]ボタンを押して、トラック選択画面にします。

11 クオンタイズをかけたいトラックを選びます。
ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

Q. Track = 5

12

ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。

Q. Size = 1/4

13

クオンタイズのサイズ(分解能)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
クオンタイズサイズはそのトラックで使用されている最小の音符に合わせて設定してください。たとえば、4分音符と8分音符が録音されているデータは、クオンタイズサイズ「1/8」でクオンタイズしてください。これを「1/4」でクオンタイズすると8分音符は、4分音符上に移動してしまいます。

クオンタイズサイズ一覧

サイズ	音 符
1/4	4分音符
1/6	3連4分音符
1/8	8分音符
1/12	3連8分音符
1/16	16分音符
1/24	3連16分音符
1/32	32分音符

クオンタイズする前の音符の状態



クオンタイズ値「8」でクオンタイズした後の音符の状態



14

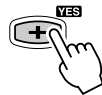
ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、クオンタイズ実行画面に移ります。

Quantize OK?

15

[+ / YES] ボタンを押してクオンタイズを実行します。

クオンタイズを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



Executing 84%



クオンタイズが完了すると...

Completed



クオンタイズ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

16

レコード
[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音したソングのボイスデータを書き替える

セットアップデータ
Setup Data

録音したソングデータの各トラックでのボイスデータ(セットアップデータ)を変更することができます。変更できるパラメーターは以下のとおりです。

- ボイス 各トラックのボイス(音色)を変更します。
- ボリューム 各トラックのボリューム(音量)を変更し、トラック間のバランスを調整します。
- オクターブ 各トラックのノートデータのオクターブを変更します。
- パン 各トラックのパン(音の定位)を変更します。
- リバーブデプス リバーブ効果の深さ(デプス)を変更します。
- コーラスデプス コーラス効果の深さ(デプス)を変更します。
- DSPデプス DSP効果の深さ(デプス)を変更します。

メモ

セットアップデータの設定は、1トラックにつき1パラメーターだけ記録できます。(曲途中のデータは失われます。)

1-4 「部分的に録音をやり直す」(84ページ)と同じです。

5 セットアップデータを変更したいソングを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

002 UserSong1

6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、モード選択画面に移ります。

7 ^{エディット} 「Edit (= 編集)」を選びます。

RecMode=Edit

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

9 ^{セットアップデータ} 「Setup Dt」を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

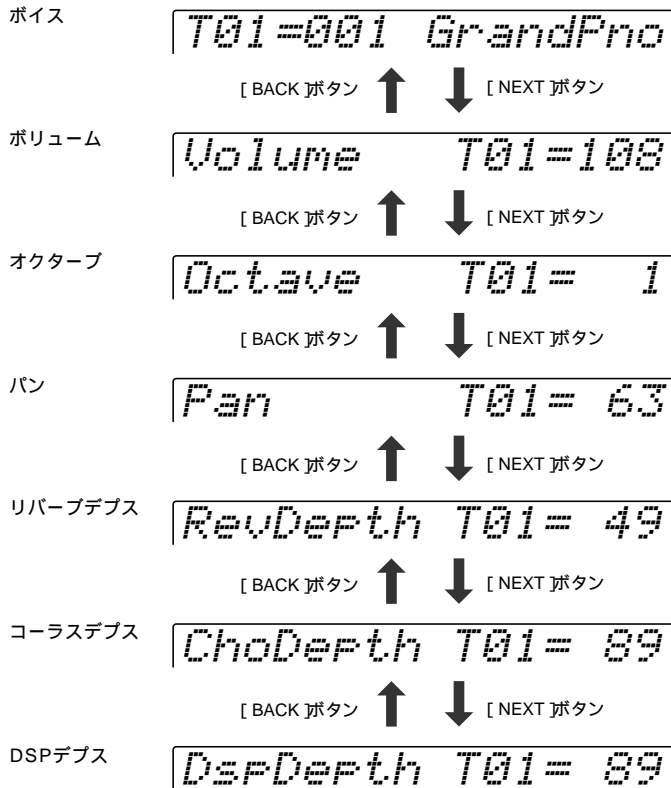
Ed Menu=Setup Dt

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、セットアップ画面にします。

11

セットアップデータを編集します。

画面どうしの切り替えには、[NEXT]ボタン、[BACK]ボタンを押してください。また、各画面での設定では、ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。



メモ

オクターブとパンを設定する場合、[- / NO]ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定できます。

12

ネクスト

[NEXT]ボタンを押して、データ保存画面に移ります。

Setup OK?

13

変更した設定をディスクにセーブ(保存)します。

編集しなおしたい場合は、[- / NO]ボタンを押してください。

ディスクにセーブ(保存)したい場合は、[+ / YES]ボタンを押してください。



Executing 84%

↓ セーブが完了すると...

Completed



データのセーブ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

14

レコード

[RECORD]ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音したソングに名前をつける

1~4 「部分的に録音をやり直す」(84ページ)と同じです。

5 名前を変更したいソングを選びます。
ダイアル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。

002 UserSong1

6 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押して録音モード選択画面にします。

7 ^{エディット} 「Edit (= 編集)」を選びます。
ダイアル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。

RecMode=Edit.

8 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押して、エディットメニュー画面にします。

9 ^{ネーム} 「Name (= 名前)」を選びます。
ダイアル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。

Ed Menu=Name

10 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押してネーム画面にします。

Nam=UserSong1

カーソル

11 名前をつけます。
鍵盤を使ってください。(21ページ)
名前は12文字以内です。

12 ^{レコード} [RECORD]ボタンを押して、録音モードを抜けます。

録音したソングをトラック別に消去する

クリア
Clear

1~4 「部分的に録音をやり直す」(84ページ)と同じです。

5 トラックを消去(クリア)したいソングを選びます。
ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。

6 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押し、モード選択画面にします。

7 ^{エディット} 「Edit (= 編集)を選びます。
ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。

8 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押して、ソングエディット画面にします。

9 ^{クリア} 「Clear (= 消去)を選びます。
ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。

Ed Menu=Clear

10 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押します。

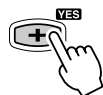
Clear Track=13

11 クリアするトラックを選びます。
ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタンを使ってください。
「ALL (オール)を選ぶとソング全体をクリアすることになります。

12 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押します。

Clear OK?

13 [+ / YES]ボタンを押してクリアを実行します。
クリアを取り止める場合は [- / NO]ボタンを押してください。



Executing 84%

↓ クリアが完了すると...

Completed



クリアの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

14 ^{レコード} [RECORD]ボタンを押して、録音モードを抜けます。

マルチパッドに録音しましょう

ユーザーパッド (User Pad) として、マルチパッドバンクナンバー 37 ~ 40 に 4 個ずつ、合計 16 個のオリジナルパッドを作ることができます。

作った (録音した) マルチパッドは内蔵のマルチパッドと同じよう鳴らすことができます。

ユーザーパッドはフロッピーディスクにセーブ/ロードして管理できます。

ユーザーパッドは、1トラックに鍵盤演奏 (R1) を録音し、コードマッチ (43 ページ) をデータとして録音できます。

ユーザーパッドに録音する	92 ページ
録音したパッドのコードマッチを設定する	94 ページ
録音したパッドのバンクに名前をつける	94 ページ
録音したパッドをクリア (消去) する	95 ページ

ユーザーパッドに録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ (押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ (押鍵の強弱)
- ・ ピッチベンド操作、およびピッチベンドレンジ
- ・ フットスイッチ操作 (サステイン、ソステヌート、ソフト)
- ・ サステインボタンオン/オフ
- ・ ボイスチェンジの設定
- ・ ミキサーの設定
- ・ パラメーターエディットの設定

ユーザーパッドのメモリー容量は、全体で約 2000 音です。

メモ

ユーザーパッドは、ボイス R1 の鍵盤演奏で録音します。ボイス R2、ボイス L や自動伴奏は使えません。

メモ

[STANDBY/ON] スイッチで電源を切っても、アダプターが接続されているか電池がセットされているかは、ユーザーパッドの録音内容は保持されます。(135 ページ) しかし、ユーザーパッドデータをライブラリーとして保存するために、フロッピーディスクに保存することをおすすめします。(60 ページ)

ユーザーパッドに録音する

ユーザーパッド
User Pad

1

レコード

[RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。



メモ

録音のときに知っておくと便利なポイントや注意点を説明します。

メトロノームの設定 (118 ページ) をオンにしておけば、録音待機状態や録音中にメトロノーム音が鳴り、便利です。

録音中にレジストレーションメモリー (54 ページ) を使えば、ボイスなどいろいろな設定をワンタッチで呼び出せるので、便利です。なお、録音モードに入るとレジストレーションメモリーのフリーズ設定が自動的にオンになります。(オフにできません。)

すでに録音済みのパッドを録音する場合、録音をスタートすると、そのパッドに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。

録音途中に PSR-540 のメモリー容量がいっぱいになると、録音は自動的にストップします。

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、マルチパッドデータが失われますのでご注意ください。

2

マルチパッド

「MultiPad」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Rec Menu = MultiPad

3

ネクスト

[NEXT] ボタンを押して、パッドバンク選択画面にします。

Bank = User Pad 1

4

録音するユーザーパッドのバンクを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

5 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、録音モード選択画面にします。

6 ^{レコード} 「Record (= 録音) を選びます。

RecMode=Record

7 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、録音するパッドを選択する画面にします。

8 録音するパッドナンバーを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Rec Pad=Pad1

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、リハーサル画面に移ります。

この画面のときに、ボイスやスタイルなどの設定ができます。
設定終了後に [EXIT] ボタンを押すと、この画面に戻ります。

Rehearsal

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、録音待機画面に移ります。
ビートランプが設定中のテンポで点滅し、録音待機状態(シンクロ待機状態)になります。



11 演奏しましょう。(= 録音スタート)

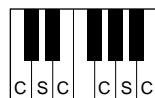
鍵盤を弾くと録音が始まります。

[START/STOP] ボタンで録音をスタートすることもできます。

M. Pad Recording

録音したパッドデータをコードマッチオンの状態で再生させたい場合は、下記イラストのスケールノート(C, S)を使って録音してください。

[使用できる鍵盤...C, D, E, G, A, B]



C = コードノート
C, S = スケールノート

コードマッチをオンに設定した場合、マルチパッドデータはここで録音したデータを元(ソース)として、左手鍵域でのコード押鍵に従って音程変換された音が鳴ります。音程変換の基本となるコードをソースコードといい、マルチパッドの録音ではソースコードが「CM7」になっています。

12 録音をストップします。

[START/STOP] ボタンを押してください。

13 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音したパッドのコードマッチを設定する

コードマッチ
Chord Match

1~5 「ユーザーパッドに録音する」と同じ操作です。

6 ^{エディット}
「EDIT (= 編集) を選びます。

`RecMode=Edit`

7 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押して、エディットメニュー選択画面にします。

`Ed Menu=ChdMatch`

8 ^{コードマッチ}
「ChdMatch」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

9 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押してコードマッチ設定画面にします。

10 オン/オフを設定します。
オン/オフの設定はダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
設定するパッドの切り替えは [NEXT] ボタンを押してください。

`ChMatch Pad1=Off`

[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン

`ChMatch Pad2=Off`

[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン

11 ^{レコード}
[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音したパッドのバンクに名前をつける

名前
Name

1~7 「録音したパッドのコードマッチを設定する」と同じ操作です。

8 ^{ネーム}
「Name (= 名前) を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

`Ed Menu=Name`

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、ネーム画面にします。

10 名前をつけます。
鍵盤を使ってください。(21ページ)
名前は8文字以内です。

`P. Name=UserPad2`

11 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音したパッドをクリア(消去)する

クリア
Clear

1~7 「録音したパッドのコードマッチを設定する」と同じ操作です。

8 ^{クリア} 「Clear (= 消去) を選びます。
ダイアル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

`Ed Menu=Clear`

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

`Clr Pad=Pad1`

10 クリアしたいパッドを選びます。
ダイアル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
「ALL PADS」を選ぶと、4個のパッドデータがすべて消去されます。

11 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

`Clear OK?`

12 クリアを実行します。
[+ /YES] ボタンを押してください。
クリアを取り止める場合は [- /NO] ボタンを押してください。



↓ クリアが完了すると...

`Completed`

13 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

自動伴奏スタイルを自分で作ってみましょう

レコード
RECORD

ユーザースタイル(User Style)として、3個のオリジナルスタイルを作ることができます。
作った(録音した)スタイルは内蔵のスタイルと同じよう鳴らすことができます。
ユーザースタイルはフロッピーディスクにセーブ/ロードして管理できます。(57ページ)

ユーザースタイルは内蔵のスタイルデータを基に作ります。内蔵のスタイルの中から自分の作りたいスタイルにもっとも近いイメージのスタイルを選び、各セクションの1トラックずつに伴奏パターンを録音し、スタイルを作りあげます。基本的な録音方法は以下の2つに分けられます。

- リズムトラックに録音する。 98ページ
- リズムトラック以外のトラックに録音する。 100ページ

録音したトラックのデータを後から編集することができます。

- クオンタイズ ... 録音したノートデータ(音符)のタイミングを揃えます。 102ページ
- ネーム 録音したスタイルに名前(12文字以内)をつけます。 104ページ
- クリア 録音したスタイルの一部または全部をクリア(消去)します。 104ページ

ユーザースタイルのトラック構成

ユーザースタイルに録音できるトラックは以下のような構成になっています。
各セクションの1トラックずつに伴奏パターンを録音し、スタイルを作りあげます。

セクション	トラック			
INTRO (イントロ)	RHYTHM SUB(リズムサブ)	CHORD1(コード1)	PHRASE1(フレーズ1)	BASS(ベース)
	RHYTHM MAIN(リズムメイン)	CHORD2(コード2)	PHRASE2(フレーズ2)	PAD(パッド)
MAIN A (メインA)	RHYTHM SUB(リズムサブ)	CHORD1(コード1)	PHRASE1(フレーズ1)	BASS(ベース)
	RHYTHM MAIN(リズムメイン)	CHORD2(コード2)	PHRASE2(フレーズ2)	PAD(パッド)
MAIN B (メインB)	RHYTHM SUB(リズムサブ)	CHORD1(コード1)	PHRASE1(フレーズ1)	BASS(ベース)
	RHYTHM MAIN(リズムメイン)	CHORD2(コード2)	PHRASE2(フレーズ2)	PAD(パッド)
FILL IN A (フィルインA)	RHYTHM SUB(リズムサブ)	CHORD1(コード1)	PHRASE1(フレーズ1)	BASS(ベース)
	RHYTHM MAIN(リズムメイン)	CHORD2(コード2)	PHRASE2(フレーズ2)	PAD(パッド)
FILL IN B (フィルインB)	RHYTHM SUB(リズムサブ)	CHORD1(コード1)	PHRASE1(フレーズ1)	BASS(ベース)
	RHYTHM MAIN(リズムメイン)	CHORD2(コード2)	PHRASE2(フレーズ2)	PAD(パッド)
ENDING (エンディング)	RHYTHM SUB(リズムサブ)	CHORD1(コード1)	PHRASE1(フレーズ1)	BASS(ベース)
	RHYTHM MAIN(リズムメイン)	CHORD2(コード2)	PHRASE2(フレーズ2)	PAD(パッド)

PSR-540では48トラック(6セクション×8トラック)を1トラックずつ録音することになります。

ユーザースタイルに録音できるデータ

- ・ノートオン/オフ(押鍵/離鍵) 107ページ
- ・ベロシティ(押鍵の強弱) 107ページ
- ・ピッチベンド、ピッチベンドレンジ 30, 122ページ
- ・ボイスナンバー(ドラムキットナンバー) 26ページ
- ・ミキサー設定* 76ページ
- ・パラメーターエディットの設定* 77ページ
- ・テンポ 36ページ
- ・リバーブタイプおよび設定 46ページ
- ・コーラストイプおよび設定 48ページ

ユーザースタイルのメモリー容量は、1セクションにつき約1950音、1スタイル全体で約7150音です。

*は、各セクションの各トラックに1つだけ録音できるものです。

メモ

[STANDBY/ON]スイッチで電源を切っても、アダプターが接続されているか電池がセットされていれば、ユーザースタイルの録音内容は保持されます。(135ページ)しかし、ユーザースタイルデータをライブラリーとして保存するためにも、フロッピーディスクに保存することをおすすめします。(60ページ)

メモ

ユーザースタイルは、ボイスR1の鍵盤演奏で録音します。ボイスR2、ボイスLや自動伴奏は使えません。

ユーザースタイルの録音上のポイント

ユーザーソングは、PSR-540の演奏をそのままMIDIデータとして録音するものですが、ユーザースタイルは録音方法がソングとは違います。以下にその違いをまとめます。

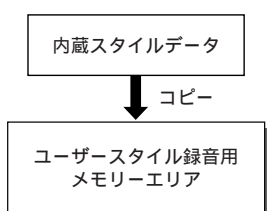
ループ方式の録音であること

自動伴奏は数小節の伴奏パターンの演奏をくり返す(ループ)ものですが、録音も同じようにループ方式になります。たとえば2小節のメインセクションの録音をスタートさせると、2小節の録音が何回もくり返されます。一度録音したデータはその次の「ループ」からは演奏されますので、耳で録音データの確認ができます。

オーバーダブ方式の録音であること

オーバーダブとは、一度録音したトラックに、元のデータを消さずに重ねて録音する方法のことです。スタイル録音では、クリア(104ページ)やドラムキャンセル(99ページ)の機能を使わない限り、一度録音したデータが消えることはありません。たとえば2小節のメインセクションの録音をスタートさせると、2小節の録音が何回もくり返されます。一度録音したデータはその次の「ループ」からは演奏されます。その録音データを耳で確認しながら、さらに重ねて新しいノートデータを録音していく方式です。

内蔵のスタイルデータを基にして作る方式であること



左図のように、内蔵スタイルの中から作りたいスタイルのイメージに最も近いものを選ぶと、録音用のメモリーエリアへ内蔵スタイルデータがコピーされます。このメモリーエリアにコピーされたスタイルに対して、データを追加したり不要なデータを削除したりして、録音作業をすることになります。

リズムトラック以外のトラックは、まずクリアしてから録音します。

メモ

録音のときに知っておくと便利なポイントや注意点を説明します。

新規にユーザースタイルを録音する場合は、録音スタートする前に、ユーザースタイル3個のうち1個は空(クリアした状態)にしておいてください。3個とも録音されている場合、録音をスタートできません。

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、録音中のスタイルデータが失われますのでご注意ください。

録音中にレジストレーションメモリー(54ページ)を使えば、ボイスなどいろいろな設定をワンタッチで呼び出せるので、便利です。なお、録音モードに入るとレジストレーションメモリーのフリーズ設定が自動的にオンになります。(オフにはできません。)

メトロノームの設定(118ページ)をオンにしておけば、録音待機状態や録音中にメトロノーム音が鳴り、便利です。

録音したトラックのボイスデータだけを変更したい場合は、録音待機中に、ミキサー(76ページ)、パラメーターエディット(77ページ)を使って設定してください。

録音途中でPSR-540のメモリー容量がいっぱいになると、録音は自動的にストップします。

録音は小節単位で行われます。各セクションの小節数は変更できませんので、あらかじめ録音したい小節数のセクションを持った自動伴奏スタイルを選択してください。

作りたいスタイルのイメージに近いものが、内蔵スタイルにない場合は、拍子や小節数が作りたいスタイルと同じ内蔵スタイルを選び、全トラックデータを消去(クリア)してから、録音するとよいでしょう。

リズムトラックに録音する

ここでは、内蔵のスタイルのリズムトラック(打楽器)の演奏データを修正することで、オリジナルのリズムパターンを作成することを説明します。

- 1** ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。



- 2** ^{スタイル} 「Style」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

`RecMenu=Style`

- 3** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

`001 8Beat 1`

- 4** 基本とするスタイルを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

- 5** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、RecMode(録音モード)選択画面にします。

- 6** ^{レコード} 「Record (=録音)」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

`RecMode=Record`

- 7** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、セクション選択画面にします。

- 8** 録音したいセクションを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

`Section=Main A`

- 9** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、トラック選択画面にします。

メモ

複数のセクションを同時に録音することはできません。

10

録音したいリズムトラックを選びます。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使って、「RHYTHM MAIN」か「RHYTHM SUB」を選んでください。

Rec Track =Rhm

メモ

複数のトラックを同時に録音することはできません。

11

ネクスト

[NEXT]ボタンを押して録音待機画面にします。

12

ドラムキットを選びます。

[VOICE R1]ボタンを押して選んでください。(26ページ)
元の画面に戻る際は[EXIT]ボタンを押してください。(17ページ)

13

録音をスタートします。

以下の2とおり方法があります。

[START/STOP]ボタンを押すと、手順4で選んだスタイル、手順8で選んだセクション、手順10で選んだリズムトラックの再生がスタートします。

[SYNC START]ボタンを押し、シンクロ待機状態(25ページ)にしてから、鍵盤を押すと、同様に再生がスタートします。

メモ

リズムトラックの録音は、鍵盤下部のイラストを参考にして録音してください。(31ページ)

Style Recording

リズムパターンが何度もくりかえし再生されますので、それを聞きながら鍵盤を押すことで重ねて録音します。鍵盤に割り当てられた打楽器については、鍵盤の下に印刷されたイラストを参照してください。また、以下の方法で不要な打楽器音を消すこともできます。(ドラムキャンセル)

1) [NEXT]ボタンを押します。

Drum Cancel

2) 消去したい打楽器が割り当てられた鍵盤を押します。これにより、その打楽器のノートオン/オフデータが消去されます。

3) [BACK]ボタンを押して、元の画面に戻ります。

14

スタート/ストップ

[START/STOP]ボタンを押して録音をストップします。

15

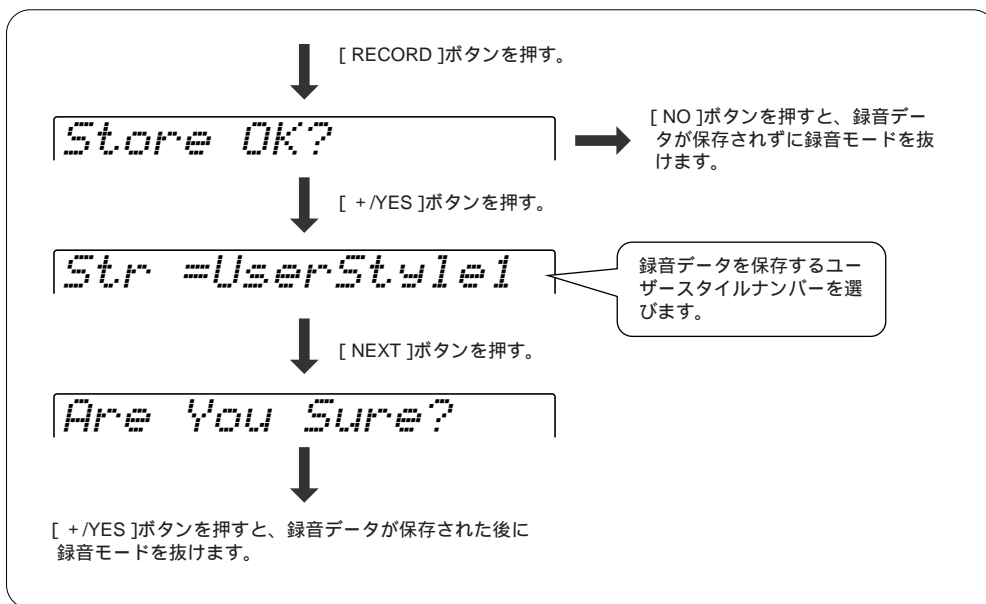
レコード

[RECORD]ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音モードを抜ける前に、録音したデータを保存します。詳細は次ページを参照してください。

スタイル録音モードからの抜け方

スタイル録音モードから抜けるときは以下の手順に従ってください。



ベース/フレーズ/パッド/コードトラックに録音する

ここでは、内蔵のスタイルを基に、リズムトラック(打楽器)以外のトラックへの録音方法を説明します。
リズムトラックと違い、基にするスタイルのトラックデータをクリア(消去)してから録音することになります。

1-9 「リズムトラックに録音する」と同じ操作です。

10 録音したいトラックを選びます。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
「BASS」, 「CHORD1」, 「CHORD2」, 「PAD」, 「PHRASE1」, 「PHRASE2」から選んでください。

Rec Track =Bas

メモ

複数のトラックを同時に録音することはできません。

11 ネクスト [NEXT]ボタンを押して、録音待機画面にします。

手順**10**で選んだトラックにデータがある場合、自動的にクリアされます。

!

手順**11**の操作をすると、手順**10**で選んだトラックのデータが自動的にクリアされますので、ご注意ください。

12 録音に使うボイス(音色)を選びます。

[VOICE R1] ボタンを押して選んでください。(26ページ)
元の画面に戻る際は [EXIT] ボタンを押してください。

13 録音をスタートします。

以下の2通りの方法があります。

[START/STOP] ボタンを押します。

[SYNC START] ボタンを押し、シンクロ待機状態(25ページ)にしてから、鍵盤を押すと、同様に録音がスタートします。

Style Recording

録音は何回もループでくり返されます。

一度録音したノートデータは次のループからは演奏されますので、耳で確認しながら重ねて録音してください。

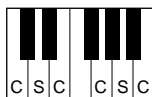
録音の際は、以下のルールに従ってください。

BASS、PHRASE1、PHRASE2トラックには、下記イラストのスケールノート(C、S)を使って録音してください。

[使用できる鍵盤...C、D、E、G、A、B]

CHORD1、CHORD2、PADトラックには、下記イラストのコードノート(C)を使って録音してください。

[使用できる鍵盤...C、E、G、B]



C=コードノート
C、S=スケールノート

自動伴奏はここで録音したデータを元(ソース)として、左手鍵域でのコード押鍵に従って音程変換された音が鳴ります。

メモ

イントロ、エンディングセクションを録音する場合は、このルールにとらわれず、自由にコード進行を持たせて録音すると、内蔵スタイルのような楽しい自動伴奏を作成することができます。

14 ^{スタート/ストップ} [START/STOP] ボタンを押して録音をストップします。

15 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音モードからの抜け方については100ページを参照してください。

録音データのタイミングのばらつきを整える

クオンタイズ
Quantize

たとえば、以下のような4拍子のフレーズを録音したとします。



演奏しているときは、正確に弾いているつもりでも、タイミングが微妙に遅れたり速かったりする場合もあります。クオンタイズはそういった微妙な「ずれ」を補正してデータを書き直す機能です。

1~5 「リズムトラックに録音する」と同じ操作です。(98ページ)

6 ^{エディット} 「Edit (= 編集) を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

`RecMode=Edit`

7 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、エディットメニュー画面にします。

8 ^{クオンタイズ} 「Quantize」を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

`Ed Menu=Quantize`

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してセクション選択画面にします。

10 クオンタイズをかけたいセクションを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

`Section=Main A`

11 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してトラック選択画面にします。

12 クオンタイズをかけたいトラックを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

`Quantize Tr =Pad`

13 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

Q. Size = 1/4

14 クオンタイズのサイズ(分解能)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

クオンタイズサイズはそのトラックで使用されている最小の音符に合わせて設定してください。たとえば、4分音符と8分音符が録音されているデータは、クオンタイズサイズ「1/8」でクオンタイズしてください。これを「1/4」でクオンタイズすると8分音符は、4分音符上に移動してしまいます。

クオンタイズサイズ一覧

サイズ	音 符
1/4	4分音符
1/6	3連4分音符
1/8	8分音符
1/12	3連8分音符
1/16	16分音符
1/24	3連16分音符
1/32	32分音符

クオンタイズする前の音符の状態



クオンタイズ値「8」でクオンタイズした後の音符の状態



15 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

Quantize OK?

この画面でクオンタイズした後の状態を聞いて確認することができます。
[START/STOP] ボタンを押して聞いてみましょう。

16 [+ / YES] ボタンを押して、クオンタイズを実行します。

クオンタイズを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



クオンタイズが完了すると...

Completed

17 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードを抜けます。

録音モードからの抜け方については100ページを参照してください。

録音したスタイルに名前をつける

ネーム
Name

1~7 クオンタイズ(102ページ)の場合と同じ操作です。

8 「Name (= 名前) を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Ed Menu=Name

9 「NEXT」 ボタンを押してネーム画面にします。

NaN=UserStyle1

カーソル

10 スタイルに名前をつけます。
鍵盤を使ってください。(21ページ)
名前は12文字以内です。

11 「RECORD」 ボタンを押して、録音モードを抜けます。
録音モードからの抜け方については100ページを参照してください。

録音したスタイルを消去する

クリア
Clear

1~7 クオンタイズ(102ページ)の場合と同じ操作です。

8 「Clear (= 消去) を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Ed Menu=Clear

9 「NEXT」 ボタンを押して、セクション選択画面にします。

10 クリアしたいセクションを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
「All Sect」を選んだ場合、スタイルデータの全セクション(全トラック)を消去することになります。この場合手順13に進んでください。

11 「NEXT」 ボタンを押して、トラック選択画面にします。

12 クリアしたいトラックを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

13

ネクスト

[NEXT] ボタンを押して、クリア実行画面にします。

A screenshot of a screen with the text "Clear OK?" in a pixelated font, enclosed in a rectangular border.

14

[+ / YES] ボタンを押して、クリアを実行します。

クリアを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。

A screenshot of a screen with the text "Completed" in a pixelated font, enclosed in a rectangular border.

15

レコード

[RECORD] ボタンを押して、録音モードを抜けます。

録音モードからの抜け方については100ページを参照してください。

MIDI機器を接続して演奏しましょう

ミディ
MIDI

PSR-540はリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)、TO HOST端子、HOST SELECTスイッチがついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。

MIDIについてご存じない方は是非お読みください。

MIDIって何?	106ページ
MIDIでできること	108ページ
MIDIデータの互換性について	109ページ

パーソナルコンピューターとの接続方法について説明します。
パーソナルコンピューターと接続する 110ページ

MIDIに関して以下の設定ができます。

MIDIテンプレート	112ページ
MIDI送信設定	114ページ
MIDI受信設定	115ページ
ローカルコントロール	116ページ
クロック	116ページ
イニシャルセンド	117ページ

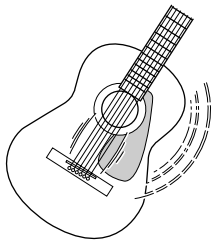
MIDIって何?

「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか? 今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはアコースティックピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。

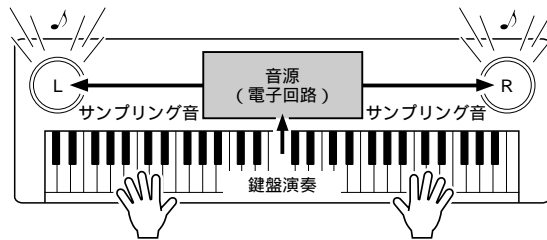
それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか?

アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう?

たとえば、PSR-540の鍵盤でグランドピアノの音色で「ド」の音を4分音符の長さで強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どのボイスで」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音が鳴るのです。

演奏情報の例

ボイスナンバー(どのボイスで)	1(グランドピアノ)
ノートナンバー(どの鍵盤を)	60(ド : C3)
ノートオン(いつ押さえたか)& ノートオフ(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ベロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

このようにPSR-540では、鍵盤演奏やボイス(音色)変更などのパネル操作のひとつひとつがMIDIデータとして処理されています。また自動伴奏(スタイル)やソング、マルチパッドの演奏、録音されるユーザーソング/ユーザースタイル/ユーザーパッドも同様にMIDIデータで構成されています。

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなど)で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

チャンネルメッセージ

PSR-540はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	PSR-540の操作/パネル設定
ノートオン/オフ	鍵盤の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	ボイスの設定(コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定)
コントロールチェンジ	ボリューム、パンなど

システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	PSR-540の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/コーラス/DSPタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック スタート/ストップ

MIDIインプリメンテーションチャート(150ページ)にPSR-540で送信/受信できるメッセージが掲載されています。チャートを見ながらメッセージの内容を理解しましょう。

メモ

ソング、スタイル、マルチパッドの演奏データもすべてMIDIデータです。

MIDI端子について

複数の機器間でMIDIデータ(演奏情報)をやりとりするために、それらの機器をケーブルで接続します。接続方法には、PSR-540のMIDI端子と外部機器のMIDI端子をMIDIケーブルで接続する方法と、PSR-540のTO HOST端子とパソコン(パーソナルコンピューター)のシリアルポートを専用ケーブルで接続する方法があります。

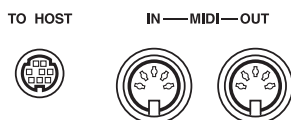
PSR-540のTO HOST端子とパソコンを接続すれば、PSR-540をMIDIインターフェース機器として使用できるため、専用のMIDIインターフェース機器は不要です。

PSR-540のリアパネルには2種類のMIDI端子とTO HOST端子がついています。

MIDI IN他のMIDI機器からのMIDIデータを受信します。

MIDI OUT PSR-540の演奏情報をMIDIデータとして他のMIDI機器へ送信します。

TO HOSTパソコンとの間でMIDIデータを送受信します。



メモ

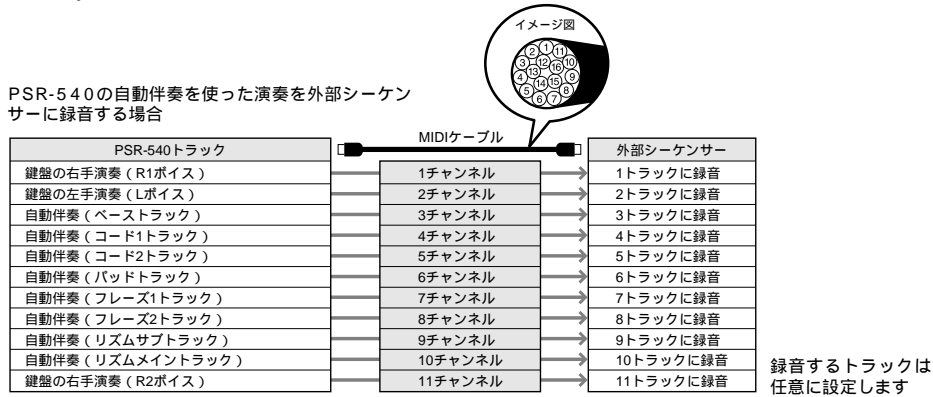
WindowsのパソコンとTO HOST端子を接続して使用する場合、パソコンにMIDIドライバーがインストールされていることが必要です。MIDIドライバーは付属のサンブルディスクに入っています。

MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などでお買い求めください。

あまり長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

MIDI機器を接続して演奏しましょう

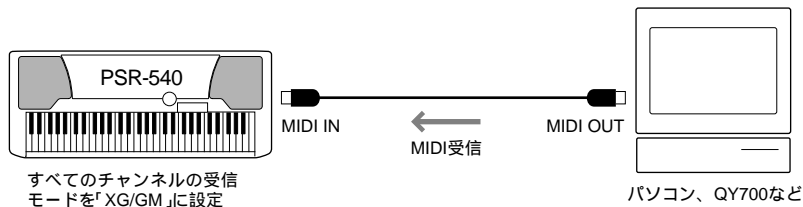
PSR-540はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器ですが、これは接続したケーブルの中を16本のパイプが通っているとイメージすればよいでしょう。PSR-540から外部機器にMIDIデータを送信する場合、MIDIデータは指定されたパイプ(チャンネル)を通して、外部機器に送信されます。たとえば、下のイラストのようにPSR-540の自動伴奏の演奏も含めて、複数のトラックを同時に送信することができます。



このように、データを送信する際に、何のデータをどのMIDIチャンネルで送信するかを設定しておく必要があります。(114ページ)

MIDIでできること

PSR-540をXGマルチ音源として(16チャンネルの演奏を同時に)鳴らす。



メモ

パソコンを使用する場合は、シーケンスソフトが必要になります。

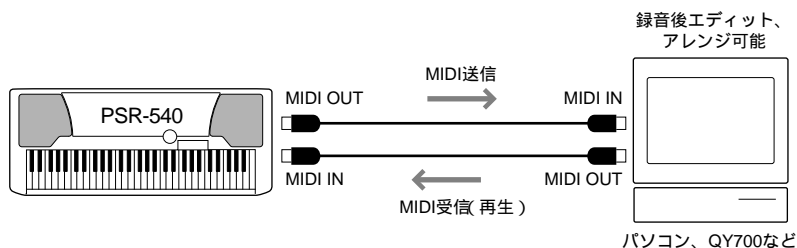
MIDI受信設定(115ページ)

PSR-540のXG音源で、MIDIキーボードの演奏を鳴らす。



MIDI受信設定(115ページ)

PSR-540で自動伴奏やマルチパッドを使った演奏データ(1~16チャンネル)をまとめて外部シーケンサー(パソコン)などに録音する。録音後、外部シーケンサーで編集した上で、PSR-540を鳴らす。



MIDI送信設定(114ページ)

イニシャルセンド(117ページ)

MIDIデータの互換性について

ここでは、PSR-540で録音したデータを他のMIDI機器で再生できるかどうか、あるいはその逆の、市販のいろいろな種類のディスクソフトや、電子楽器などで録音したソングデータ、パーソナルコンピュータなどで作成したソングデータをPSR-540で再生できるか、といった各種演奏データの互換性について考える上での、一般的な基礎知識の一端をご紹介します。実際は、再生できる場合でも、そのまま再生できる場合、再生するためにいくつかの特殊な作業が必要となる場合など、再生するMIDI機器やデータの特性により異なってきますので、事例ごとに、下記を参考にしてください。

シーケンスフォーマット

演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットと言います。

演奏データのシーケンスフォーマットと、PSR-540やMIDI機器が対応しているシーケンスフォーマットが一致していないと、再生できません。

SMF(スタンダードMIDIファイル)

代表的なシーケンスフォーマットの1つで、「フォーマット0」と「フォーマット1」があります。多くのMIDI機器が「SMFフォーマット0」に対応しており、また市販のディスクソフトの多くが「SMFフォーマット0」で作られています。

- ・PSR-540のディスクドライブは「SMFフォーマット0」と「SMFフォーマット1」の再生に対応しています。
- ・PSR-540のユーザーソングに録音した演奏データは「SMFフォーマット0」になります。

ESEQ(イーシーク)

ヤマハの多くの機器やディスクソフトで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

- ・PSR-540のディスクドライブは「ESEQ(イーシーク)」の再生に対応しています。

STYLE FILE(スタイルファイル)

スタイルファイルフォーマットとは、ヤマハの自動伴奏(オートアカンパニメント)機能のノウハウを集大成した統一フォーマットです。

- ・PSR-540では、スタイルファイルフォーマットで作成されたスタイルデータのディスクを本体にロードして再生させることができます。

音色配列フォーマット

MIDIでは音色を番号で指定します。(プログラムナンバーと言います。)その番号の付け方(音色を並べる順番)の規格を「音色配列フォーマット」と言います。

再生したい演奏データの音色配列フォーマットと、再生したいMIDI機器が対応している音色配列フォーマットが一致していないと、音色が正しく再生されません。主な音色配列フォーマットを紹介します。

GMシステムレベル1

代表的な音色配列フォーマットの1つです。

多くのMIDI機器が「GMシステムレベル1」に対応しています。また、市販のディスクソフトの多くが「GMシステムレベル1」で作られています。

- ・PSR-540は「GMシステムレベル1」に対応しています。

XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

- ・PSR-540は「XG」に対応しています。

DOX(Disk Orchestra Collection = ディスクオーケストラコレクション)

ヤマハクラビノーバをはじめとするヤマハの多くのMIDI機器で対応している音色配列です。ヤマハの別売ディスクソフト「ピアノアンサンブル」のDOCファイルなどで使われています。

- ・PSR-540は「DOC」に対応しています。

メモ

これらの条件を満たしていても、機器の仕様や、演奏データの特殊な作り方により、完全な互換性が実現できない場合もあります。

パーソナルコンピューターと接続する

PSR-540のTO HOST端子、またはMIDI端子とパソコン(パーソナルコンピューター)を接続すると、パソコン用の音楽ソフトを楽しむことができます。

接続には2つの方法があります。

PSR-540のMIDI端子を使った接続

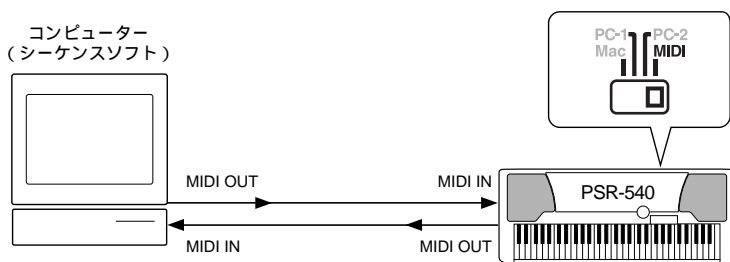
PSR-540のTO HOST端子を使った接続

PSR-540のMIDI端子を使った接続

コンピューター側に取り付けたMIDIインターフェース機器を使用して、コンピューターとPSR-540のMIDI端子を接続します。

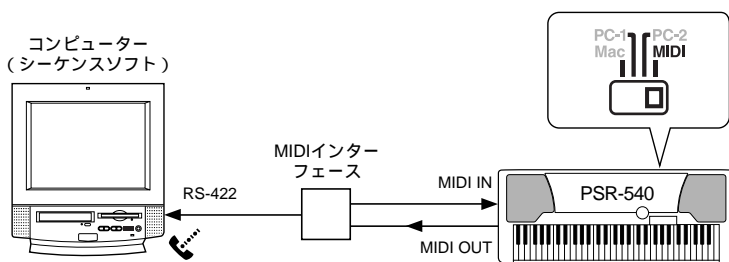
接続に使用するケーブルは、専用のMIDIケーブルをご使用ください。

MIDIインターフェース(別売)を装備したコンピューターの場合は、コンピューター側のMIDI OUT端子とPSR-540のMIDI IN端子とを接続します。PSR-540のHOSTセレクトスイッチは“MIDI”にセットします。



MacintoshシリーズのMIDIインターフェースを使用する場合は、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)にMIDIインターフェースを接続し、MIDIインターフェースのMIDI OUT端子とPSR-540のMIDI IN端子とを下図のように接続します。

PSR-540のHOSTセレクトスイッチは“MIDI”にセットします。



- ・ HOSTセレクトスイッチを“MIDI”に設定している場合は、TO HOST端子の入出力は無視されます。
- ・ Macintoshシリーズをお使いの場合、使用するMIDIインターフェースの設定に合わせて、アプリケーションソフトウェア側で、MIDIインターフェースのクロックを設定してください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をよくお読みください。

PSR-540のTO HOST端子を使った接続

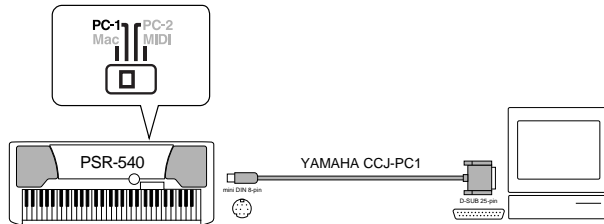
コンピューターのシリアルポート(RS-232C端子やRS-422端子)とPSR-540のTO HOST端子を接続します。

接続に使用するケーブルは、コンピューターの種類に合わせて下記のシリアルケーブル(別売)をご使用ください。

PC-9801, PC-9821シリーズ

シリアルケーブルYAMAHA CCJ-PC1N^{*} 市販品の場合は、D-SUB 25P MINI DIN 8P クロスケーブルで、コンピューターのRS-232C端子とPSR-540のTO HOST端子とを接続します。

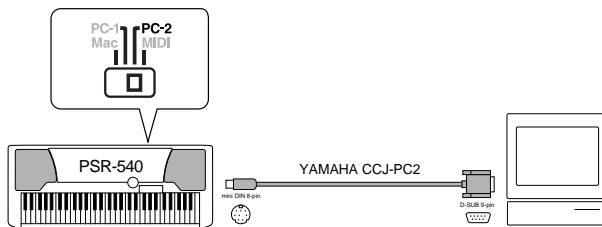
Windows 95/98用YAMAHA CBX MIDIドライバーをお使いの場合は^{*} PC-2^{*} に、Windows 3.1用YAMAHA CBX-T3ドライバーをお使いの場合は^{*} PC-1^{*} にセットします。



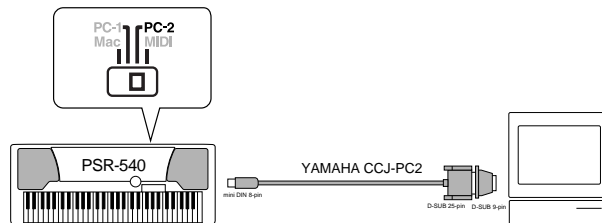
IBM-PC/ATシリーズ

シリアルケーブルYAMAHA CCJ-PC2^{*} 市販品の場合は、D-SUB 9P MINI DIN 8P クロスケーブルで、コンピューターのRS-232C端子とPSR-540のTO HOST端子とを接続します。

PSR-540のHOSTセレクトスイッチは^{*} PC-2^{*} にセットします。



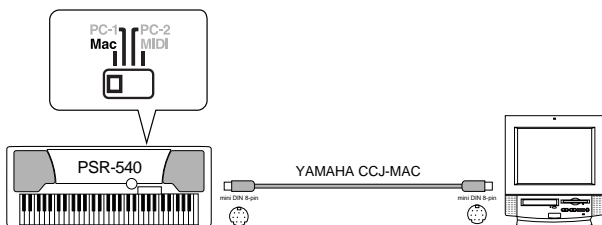
- ・ D-SUB 25P MINI DIN 8Pクロスケーブルをお使いの場合は、変換プラグアダプターでコンピューター側をD-SUB 9Pにして接続してください。



Macintoshシリーズ

シリアルケーブルYAMAHA CCJ-MAC^{*} 市販品の場合は、システムペリフェラルケーブル8ピン)で、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)とPSR-540のTO HOST端子とを接続します。

PSR-540のHOSTセレクトスイッチは^{*} Mac^{*} にセットします。



使用するシーケンスソフトウェア側で、MIDIインターフェースのクロックを1MHzに設定してご使用ください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をよくお読みください。

使用するコンピューターやシーケンスソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

^{*} Macintoshは、アップルコンピュータ株式会社の商標です。
^{*} PC-9801/9821は、日本電気株式会社の商標です。
^{*} IBM-PC/ATは、インターナショナルビジネスマシーン株式会社の商標です。
 その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標、および商標です。

代表的なMIDI設定をワンタッチで設定する

 MIDIテンプレート
MIDI Template

PSR-540はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器ですが、データを送受信する際に、何のデータをどのMIDIチャンネルで送受信するかを決める必要があります。

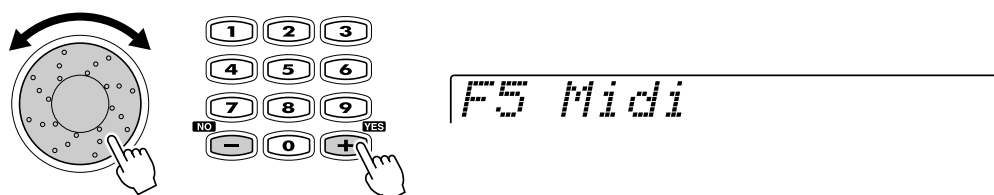
各チャンネルに対する設定方法は114～115ページで説明するとして、ここでは、代表的なMIDI送受信設定をワンタッチでできるMIDIテンプレートについて説明します。

1 ファンクション
[**FUNCTION**] ボタンを押します。

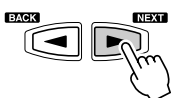


2 ミディ
「Midi」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

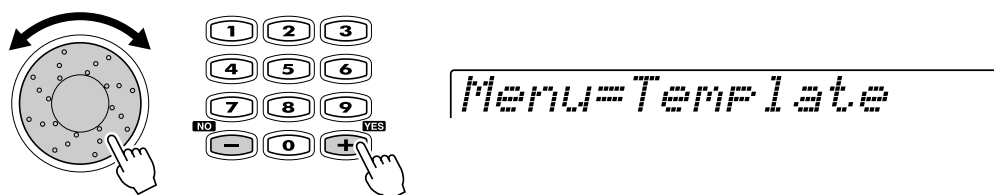


3 ネクスト
[**NEXT**] ボタンを押して、MIDI メニュー画面にします。

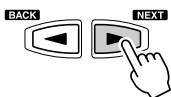


4 テンプレート
「Template」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

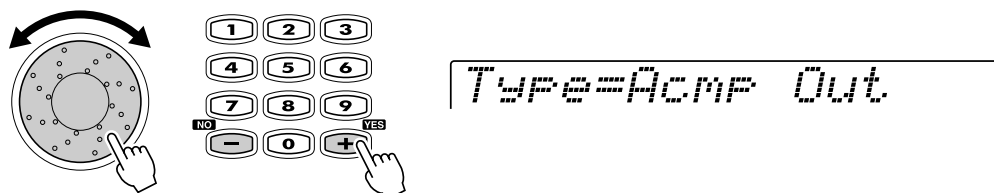


5 ネクスト
[**NEXT**] ボタンを押して、MIDIテンプレート画面にします。



6 テンプレートを選びます。

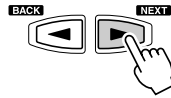
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
詳細はMIDIテンプレートリスト(113ページ)を参照してください。



7

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。



Midi Temp Load?

8

ロード (MIDI テンプレートの設定) を実行します。

[+ / YES] ボタンを押してください。

取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



Completed

MIDI テンプレート リスト

Keyboard Out... キーボードアウト (鍵盤演奏の出力)

鍵盤演奏 (ボイス R1 = R2, L) の情報を MIDI OUT する場合の設定です。PSR-540 の鍵盤演奏だけを外部音源で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音する場合に使用します。MIDI 送信チャンネルが下記の通り設定されます。

1ch = R1
2ch = R2
3ch = L
4ch ~ 16ch = Off

AcompOut... アカンパニメントアウト (自動伴奏の出力)

自動伴奏の演奏時にスタイルデータを MIDI OUT する場合の設定です。自動伴奏を外部音源で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音する場合に使用します。MIDI 送信チャンネルが下記の通り設定されます。

1ch ~ 8ch = Off 13ch = Ch2
9ch = RhS 14ch = Pad
10ch = RhM 15ch = Ph1
11ch = Bas 16ch = Ph2
12ch = Ch1

Song Out... ソングアウト (ソングの出力)

演奏時のソングデータを MIDI OUT する場合の設定です。ソング演奏を外部音源で鳴らす場合や、外部シーケンサーに録音する場合に使用します。

MIDI 送信チャンネルにソングの MIDI チャンネルがそのまま設定されます。

M. Keyboard... マスターキーボード

PSR-540 をマスターキーボードとして使用する場合に設定します。マスターキーボードとは、MIDI データを出力するためのキーボードでそれ自身に音源を持っていないキーボードのことです。

XG Module... XG モジュール

PSR-540 を XG マルチ音源として使用する場合に設定します。
MIDI 受信チャンネルが全チャンネル「XG/GM」に設定されます。

Accordion... アコーディオン

受信チャンネルが下記のように設定されます。

1ch = Keybd
2ch = Chord
3ch = Root
4ch ~ 16ch = Off

MIDI アコーディオンを接続して、PSR-540 を演奏する場合の設定です。MIDI アコーディオンから、PSR-540 の鍵盤のコントロールや自動伴奏の鍵盤のコード/ベース検出を行います。

Midi Pedal... MIDI ペダル

全受信チャンネルが「Root」に設定されます。

外部 MIDI ペダルなどを接続して演奏する場合の設定です。外部 MIDI ペダルなどから、PSR-540 自動伴奏鍵盤のベース検出をコントロールします。

MIDI送信設定

MIDIトランスミット(送信)
MIDI Transmit

MIDIデータを送信する際に、何のデータをどのMIDIチャンネルで送信するかを設定します。

1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。

2 ミディ
「Midi」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDIメニュー画面にします。

4 トランスミットチャンネル
「Transmit Ch (= 送信チャンネル)」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Menu=Transmit Ch

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDI送信チャンネル画面にします。

6 送信チャンネルの設定をします。
[TRACK 1]-[TRACK 16] ボタンで、MIDIチャンネルを選びます。

Trans Ch16=R1

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンで、送信するトラックを選びます。

- Off 演奏データを送信しません。
- R1 鍵盤演奏ボイスR1
- R2 鍵盤演奏ボイスR2
- L 鍵盤演奏ボイスL
- Upper スプリットポイントより右側で弾いた鍵盤演奏。
R1/R2 を設定した場合は、ボイスのオクターブ設定に従ったノートデータがMIDI出力されますが、Upperを設定した場合は29ページで説明したノートデータがそのまま出力されます。
- Lower スプリットポイントより左側で弾いた鍵盤演奏。
L を設定した場合は、ボイスのオクターブ設定に従ったノートデータがMIDI出力されますが、Lowerを設定した場合は29ページで説明したノートデータがそのまま出力されます。
- RhM 自動伴奏リズムメイントラック
- RhS 自動伴奏リズムサブトラック
- Bas 自動伴奏ベーストラック
- Ch1 自動伴奏コード1トラック
- Ch2 自動伴奏コード2トラック
- Pad 自動伴奏パッドトラック
- Ph1 自動伴奏フレーズ1トラック
- Ph2 自動伴奏フレーズ2トラック
- Tr1 ~ 16 ソングトラック1 ~ 16

メモ

複数のチャンネルに同じ送信トラックを設定すると、数字の一番小さなチャンネルからそのトラックの演奏が出力されます。

電源を切っても、MIDI送信トラックの設定をバックアップ(保持)することができます。詳しくは135ページをご参照ください。

初期(工場出荷時)の設定は以下の通りです。

- 1ch = R1
- 2ch = R2
- 3ch = L
- 4ch = Off
- 5ch = Off
- 6ch = Off
- 7ch = Off
- 8ch = Off
- 9ch = RhS
- 10ch = RhM
- 11ch = Bas
- 12ch = Ch1
- 13ch = Ch2
- 14ch = Pad
- 15ch = Ph1
- 16ch = Ph2

MIDIループによる機器の動作不良を避けるため、PSR-540のローカルオン/オフの設定(116ページ)と、外部機器のMIDI THRUの設定を確認してください。

MIDI受信設定

MIDIレシーブ(受信)
MIDI Receive

外部機器の送信チャンネルとPSR-540の受信チャンネルを合わせれば、外部機器の演奏をPSR-540で鳴らせます。

PSR-540では、どのチャンネルでデータを受信して(受信チャンネルの設定)、受信したデータでPSR-540をどのように鳴らすかを組み合わせて設定します。

- 1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。
- 2 ミディ
「Midi」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。
- 3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDIメニュー画面にします。
- 4 レシーブチャンネル
「Receive Ch (= 受信チャンネル)」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

Menu=Receive Ch

- 5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDIレシーブ画面にします。
- 6 受信チャンネルの設定をします。

[TRACK1]~[TRACK16] ボタンで、MIDIチャンネルを選びます。

Reciv Ch01=XG/GM

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンで、そのチャンネルの受信方法を設定します。

- ・OFF(オフ)..... 演奏データを受信しません。
- ・XG/GM..... 受信した演奏データがPSR-540の音源に直接入力され、外部機器(シーケンサー、パソコンなど)の演奏をPSR-540の音源で鳴らすことができます。
- ・Keybd(キーボード)..... 受信した演奏データがPSR-540の押鍵やパネル操作と同様に扱われます。PSR-540の自動伴奏をオンにしておけば、フィンガリングの設定に従い、外部MIDIキーボードでPSR-540の自動伴奏を演奏できます。
- ・Chord(コード)..... 受信したノートオン/オフメッセージが自動伴奏のコード鍵域の押鍵として認識されます。検出されるコードはPSR-540パネル上のフィンガリングの設定に従います。コードはPSR-540パネル上の自動伴奏オン/オフ、スプリットポイントの設定に関係なく検出されます。
- ・Root(ルート)..... 受信したノートオン/オフメッセージが自動伴奏のコード鍵域のベース(ルート)音として認識されます。ベース(ルート)音はPSR-540パネル上の自動伴奏オン/オフ、フィンガリング設定、スプリットポイントの設定に関係なく検出されます。

メモ

初期設定(工場出荷時)は全チャンネル「XG/GM」に設定されています。

電源を切っても、MIDI受信モードの設定バックアップ(保持)することができます。詳しくは135ページをご参照ください。

ローカルコントロール

ローカルコントロール
Local Control

PSR-540は、鍵盤を弾いて内蔵の音源を鳴らすしくみになっています。この状態をローカルコントロールオン(On)といいます。ローカルコントロールをオフ(Off)にすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもPSR-540からは音が出なくなります。PSR-540から音が出なくなっても、鍵盤を弾いた演奏情報をMIDI出力させることはできますので、PSR-540では音を鳴らさずに外部音源を鳴らしたいときに、ローカルコントロールをオフ(Off)にします。

メモ

電源を入れた時の設定は「On」(ローカルオン)です。

- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押します。
- 2 ミディ 「Midi」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
- 3 ネクスト [NEXT] ボタンを押して、MIDIメニュー画面にします。
- 4 ローカルコントロール 「Local」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

```
Menu=Local
```

- 5 ネクスト [NEXT] ボタンを押して、ローカルコントロール画面にします。
- 6 オン/オフ On/Offを設定します。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

```
Local =Off
```

On(ローカルオン)..... 本体の演奏は通常どおりPSR-540で発音します。またMIDI INから受信した情報もPSR-540で発音します。

Off(ローカルオフ)..... 本体の演奏はPSR-540で発音しません。ただし、MIDI INから受信した情報「XG/GM」に設定された受信チャンネルの情報のみはPSR-540で発音します。

クロック

クロック
Clock

PSR-540の自動伴奏やソングの演奏は本体内部のクロックに従っています。外部MIDIシーケンサーと接続して演奏する場合などは、どちらのクロックを使うかを定める必要があります。

- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押します。
- 2 ミディ 「Midi」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDIメニュー画面にします。

4 クロック
「Clock」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Menu=Clock

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、クロック画面にします。

6 設定をします。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Clock =Int.

Int(インターナル=内部)..... PSR-540の内部クロックで作動します。

Ext(エクスターナル=外部)..... 外部機器のクロックで作動します。

メモ

電源を入れた時のクロックの設定は「Int」です。

クロックが「Ext」の時、以下のような現象が起こります。

- ・パネルの[START/STOP] ボタンを押しても、自動伴奏/ソングはスタートしません。
- ・マルチパッドを押しても、演奏されません。
- ・テンポ表示が「EC」となり、パネルでテンポ変更できなくなります。

イニシャルセンド

イニシャルセンド
Initial Send

PSR-540のパネル設定を外部機器に送信することができます。たとえば、PSR-540の演奏を外部シーケンサーに録音する場合は、演奏の前にPSR-540のパネル設定を外部シーケンサーに送信(イニシャルセンド)して、録音してください。

1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。

2 ミディ
「Midi」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDI画面にします。

4 イニシャルセンド
「Init Send」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

Menu=Init Send

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、イニシャルセンド画面にします。

6 イニシャルセンドを実行します。

[+ / YES] ボタンを押してください。

取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



Init Send?

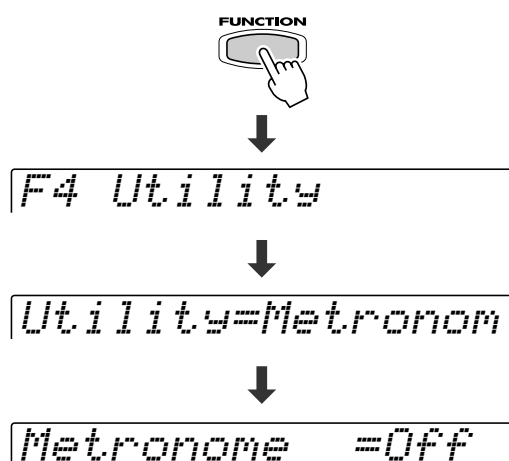
Completed

その他の便利な機能を説明します。

この章で説明する機能は、FUNCTIONの中のUtility(ユーティリティ)の中で設定するものです。

メトロノームを鳴らす	118ページ
R1, R2, L のオクターブを調整する(パートオクターブ)	118ページ
楽器全体のピッチを調整する(チューニング)	119ページ
鍵盤ごとのピッチを調整する(スケールチューニング)	119ページ
スプリットポイントを設定する	119ページ
鍵盤を弾いたときの感度を設定する(タッチセンス)	120ページ
ボイスセット機能を活用する	120ページ
フットスイッチの機能を設定する	121ページ
ピッチバンドの変化幅を変更する	122ページ

各機能の設定方法は以下のとおりです。



- 1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押す。
- 2 ユーティリティ 「Utility」を選ぶ。
- 3 ネクスト [NEXT] ボタンを押す。
- 4 各メニューを選ぶ。
- 5 ネクスト [NEXT] ボタンを押す。
- 6 値を設定する。

以下の説明では、手順6に該当する部分を説明します。

メトロノームを鳴らす

メトロノーム
Metronome

設定をOn(オン)にすることで、以下の場合に、設定されたテンポにしたがってメトロノームを鳴らすことができます。

- ・自動伴奏演奏中
- ・ソング演奏中
- ・シンクロ待機中
- ・ユーザーソング/ユーザースタイル/ユーザーパッド録音待機中
- ・ユーザーソング/ユーザースタイル/ユーザーパッド録音中

Metronome =On

ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使って、On/Off(オン/オフ)を設定します。

メモ

ソングモードでフリーテンポのソングディスクがセットされている場合、メトロノームを鳴らすことはできません。フリーテンポとは、曲の実際のテンポとは関係なく、データ上ではテンポ一定となっているソングデータのことで。

R1, R2, L のオクターブを調整する

パートオクターブ
Part Octave

鍵盤演奏のボイスR1, R2, L の相互のオクターブ関係を調整します。

Octave R1 = 1

パートの設定 (R1, R2, L) は、[PART ON/OFF ボタン (VOICE R1, VOICE R2, VOICE L) を押します。

オクターブ値の設定はダイヤル、[+ /YES ボタン、[- /NO ボタンを使います。

楽器全体のピッチを調整する

チューニング
TuningPSR-540全体のチューニング(音程ピッチ)の微調整をします。
設定範囲は414.6Hz~466.8Hzです。

Tuning = 414.6

ダイヤル、[+ /YES ボタン、[- /NO ボタンを使って設定します。

鍵盤ごとのピッチを調整する

スケールチューニング
Scale TuningPSR-540のノート(鍵盤)ごとにチューニング(ピッチの微調整)をします。ノート(鍵盤)ごとにチューニングすれば、さまざまなスケール(音階)で演奏することができます。
ここでのチューニングは鍵盤演奏だけでなく、自動伴奏/マルチパッドの演奏にも有効です。
設定範囲は - 64セント ~ + 63セントです。

Scale Tune C# = 63

ノート(鍵盤)の切り替えは[NEXT ボタンを使ってください。
調整はダイヤル、[+ /YES ボタン、[- /NO ボタンを使ってください。

チューニングの単位は「1セント = 1/100半音」です。

メモ

ノートごとのチューニング値は全オクターブ共通になります。

[- /NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定することができます。

スプリットポイントを設定する

スプリットポイント
Split Point

鍵盤の機能を左右で分割するポイントのことをスプリットポイントといいます。

自動伴奏オンの場合、スプリットポイントの右側はボイスR1/R2の鍵域、左側は自動伴奏用のコード鍵域になります。(33ページ)

自動伴奏オフの場合、スプリットポイントの右側はボイスR1/R2の鍵域、スプリットポイントの左側の鍵域はPART ON/OFFの[VOICE L ボタンをオンにすることでボイスLの音色を弾くことができます。(28ページ)

Split = C3

ダイヤル、[+ /YES ボタン、[- /NO ボタンを使ってください。

メモ

初期設定は「F#2」です。

鍵盤を弾いたときの感度を設定する

タッチセンス
Touch Sense

鍵盤を押さえる強さによって音量が変化する機能をタッチレスポンスといいます。
タッチセンスはこのタッチレスポンスの感度を決める値です。
設定範囲は0～127です。

Touch Sense = 127

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタン、ナンバーボタンを使って設定します。

タッチセンスの値が大きいほど、微妙な強弱の変化がつけやすくなります。
タッチセンスを「0」に設定すると、タッチレスポンスはオフとなり、鍵盤を押さえる強弱にかかわらず音量が一定になります。
また、パネルの[TOUCH]ボタンをオフ(消灯)にすることで、タッチレスポンスはオフとなり、鍵盤を押さえる強弱にかかわらず音量が一定になります。



ボイスセットを活用する

ボイスセット
Voice Set

PSR-540では、R1のパネルボイスそれぞれに最適な設定があらかじめ決められています。ボイスセット機能をオンにすれば、ボイスR1にパネルボイスを選んだ時に、そのパネルボイスに最適な設定が自動的にセットされるため、すぐに演奏を始めることができ、大変便利です。
初期(工場出荷時)の設定では「オン」になっています。

ボイスセットパラメーター

- ・ボイスR1(ボリューム、オクターブ、パン、リバーブデプス、コーラスデプス、DSPデプス)
- ・ボイスR2(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブデプス、コーラスデプス、DSPデプス)
- ・ハーモニータイプ、ボリューム、パート設定
- ・DSPオン/オフ、FAST/SLOWオン/オフ、およびDSPタイプ、リターンレベル

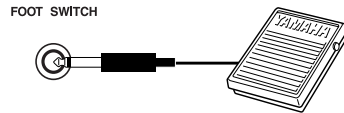
Voice Set = On

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使って、On/Off を設定します。

フットスイッチの機能を設定する

フットスイッチ
FOOTSWITCH

リアパネルのフットスイッチ端子に接続したフットスイッチ(ペダル)は、初期設定ではサステインペダルとして機能しますが、その他にもいろいろな機能を持たせることができます。また、スイッチの極性を変更する(オン/オフを逆転させる)こともできます。



フットスイッチに設定する機能を定める

Type=Sustain

↓ [NEXT] ボタンを押す。

ダイアル、[+/YES ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

フットスイッチの極性を定める

Polarity =Norm

ダイアル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

フットスイッチに設定できる機能

Sustain(サステイン)	この機能に設定してフットスイッチを踏むと、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。	 ここでフットスイッチを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く。
Sostenuto(ソステヌート)	この機能に設定してフットスイッチを踏むと、踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。	 ここでフットスイッチを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く。
Soft(ソフト)	この機能に設定してフットスイッチを踏むと、音量がわずかに下がり、音の響きが柔らかくなります。	
Regist +(レジストレーション+)	フットスイッチを踏むと、ナンバーが1つ大きいレジストレーションを呼び出します。たとえば、バンク1 - 3が呼び出されているときにフットスイッチを踏むと、1 - 4が、さらにもう一度踏むと2 - 1が呼び出されます。	
Regist - (レジストレーション-)	フットスイッチを踏むと、ナンバーが1つ小さいレジストレーションを呼び出します。たとえば、バンク3 - 2が呼び出されているときにフットスイッチを踏むと、3 - 1が、さらにもう一度踏むと2 - 4が呼び出されます。	
Start/Stop (スタート/ストップ)	フットスイッチを踏むと、パネルの[START/STOP] ボタンと同様に機能します。	
Syncro Stop (シンクロストップ)	フットスイッチを踏むと、パネルの[SYNC STOP] ボタンと同様に機能します。	
Bass Hold(ベースホールド)	フットスイッチを踏み込んでいる間、自動伴奏のベースの根音がホールドされます。	
Break(ブレイク)	フットスイッチを踏むと、演奏中の自動伴奏がストップ(ブレイク)します。フットスイッチから足を離すと次の小節から再スタートします。	
Tap Tempo(タップテンポ)	フットスイッチを踏むと、パネルの[TAP TEMPO] ボタンと同様に機能します。	

メモ

フットスイッチに「Regist +」や「Regist -」を設定して演奏する場合は、演奏に使用するレジストレーションメモリーすべてに「フットスイッチ機能 = Regist +」または「フットスイッチ機能 = Regist -」を記録するようにしてください。そうすれば「Regist +」や「Regist -」を有効に使用できます。

フットスイッチの極性

Norm(ノーマル)	使用するフットスイッチによっては上記の説明(踏んだときにサステインの効果がある、など)した動作と逆になる場合があります。その場合に「Revs」に設定してください。
Revs(リバース)	

ピッチベンドの変化幅を変更する

ピッチベンドレンジ
Pitch Bend Range

ピッチベンドの変化幅(ピッチベンドレンジ)を半音単位で変えることができます。
設定範囲は0~12で、最大の変化幅は1オクターブとなります。

Bend Range = 4

ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタン、ナンバーボタンを使って、ピッチベンドレンジを設定します。

ボイスリスト

パネルボイスとXGボイスについて

PSR-540のボイス(音色)は、「パネルボイス(ドラムキット含む)」と「XGボイス」の2種類があります。パネルボイスは、XGボイスをベースに音質を向上した「XG拡張ボイス」です。XGボイスはXGの音色配列(109ページ)に対応したボイスです。

メモ

リストにはボイスナンバー、MIDIプログラムチェンジャーナンバーを掲載します。MIDIを使ってPSR-540のボイスを鳴らす場合は、このプログラムチェンジャーナンバーを使用してください。

フットスイッチにサステイン、またはソステヌート機能を持たせている場合(121ページ)、フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、ボイス(音色)によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

ボイス(音色)構成

	パネルボイス	ドラムキット (パネルボイス)	XGボイス
PSR-540	1~215	216~227	228~707

最大同時発音数について

PSR-540の最大同時発音数は32音です。これは、ボイスR1、R2、Lや自動伴奏(オートアカンパニメント)、ソングなどを含めたすべての発音数の合計です。したがって、自動伴奏(オートアカンパニメント)やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。最大同時発音数を越えると、後着優先で発音します。

パネルボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
Piano(ピアノ)				
1	0	112	0	Grand Piano(グランドピアノ)
2	0	112	1	Bright Piano(ブライtpiano)
3	0	112	3	Honky Tonk(ホンキートンクピアノ)
4	0	114	2	Rock Piano(ロックピアノ)
5	0	112	2	Midi Grand(MIDIグランドピアノ)
6	0	113	2	CP 80(CP 80)
7	0	112	6	Harpichord(ハープシコード)
8	0	113	6	Grand Harp(グランドハーブシコード)
E.Piano(エレクトリックピアノ)				
9	0	114	4	Galaxy EP(ギャラクシーエレクトリックピアノ)
10	0	115	4	Polaris EP(ポラリスエレクトリックピアノ)
11	0	118	4	Suitcase EP(スーツケースエレクトリックピアノ)
12	0	117	5	Super DX EP(スーパーDXエレクトリックピアノ)
13	0	112	5	DX Modern EP(DXモダンエレクトリックピアノ)
14	0	112	4	Funk EP(ファンクエレクトリックピアノ)
15	0	115	5	Modern EP(モダンエレクトリックピアノ)
16	0	113	5	Hyper Tines(ハイパータインズ)
17	0	116	5	New Tines(ニュータインズ)
18	0	114	5	Venus EP(ビーナスエレクトリックピアノ)
19	0	113	4	Tremolo EP(トレモロエレクトリックピアノ)
20	0	112	7	Clav(クラビ)
21	0	113	7	Wah Clav(ワウクラビ)
Organ(オルガン)				
22	0	112	16	Jazz Organ1(ジャズオルガン1)
23	0	113	16	Jazz Organ2(ジャズオルガン2)
24	0	120	16	GlassJazzOrg(グラスジャズオルガン)
25	0	112	17	Click Organ(クリックオルガン)
26	0	113	17	Dance Organ(ダンスオルガン)
27	0	115	16	DrawbarOrgan(ドロウバーオルガン)
28	0	115	17	Mellow Draw(メロドロウバーオルガン)
29	0	116	16	Bright Draw(ブライtpドロウバーオルガン)
30	0	112	18	Rock Organ 1(ロックオルガン1)
31	0	113	18	Rock Organ 2(ロックオルガン2)
32	0	114	18	Purple Organ(パープルオルガン)
33	0	116	17	60's Organ(60年代風オルガン)
34	0	117	17	Blues Organ(ブルースオルガン)
35	0	117	16	16+1 Organ(16+1'オルガン)
36	0	118	16	16+2 Organ(16+2'オルガン)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
37	0	119	16	16+4 Organ(16+4'オルガン)
38	0	118	17	Elec.Organ(エレクトリックオルガン)
39	0	114	16	TheaterOrg1(シアターオルガン1)
40	0	114	17	TheaterOrg2(シアターオルガン2)
41	0	112	19	Pipe Organ(パイプオルガン)
42	0	113	19	ChapelOrgan1(チャペルオルガン1)
43	0	114	19	ChapelOrgan2(チャペルオルガン2)
44	0	115	19	ChapelOrgan3(チャペルオルガン3)
45	0	112	20	Reed Organ(リードオルガン)
Accordion(アコーディオン)				
46	0	113	21	Trad.Accrd(トラディショナルアコーディオン)
47	0	112	21	MusetteAccrd(ミュゼットアコーディオン)
48	0	112	23	Tango Accrd(タンゴアコーディオン)
49	0	113	23	Bandoneon(バンドネオン)
50	0	114	21	Soft Accrd(ソフトアコーディオン)
51	0	115	21	Accordior(アコーディオン)
52	0	112	22	Harmonica(ハーモニカ)
Guitar(ギター)				
53	0	113	24	Spanish Gtr(スパニッシュギター)
54	0	112	24	Classic Gtr(クラシックギター)
55	0	112	25	Folk Guitar(フォークギター)
56	0	113	25	12Str Guitar(12弦ギター)
57	0	114	24	Smooth Nylon(スムースナイロンギター)
58	0	115	25	Campfire(キャンプファイヤーギター)
59	0	112	26	Jazz Guitar(ジャズギター)
60	0	113	26	Octave Gtr(オクターブギター)
61	0	114	26	Hawaiian Gtr(ハワイアンギター)
62	0	118	27	Solid Guitar(ソリッドギター)
63	0	116	27	Bright Clear(ブライtpクリーンギター)
64	0	112	27	Clean Guitar(クリーンギター)
65	0	119	27	Elec12StrGtr(エレクトリック12弦ギター)
66	0	113	27	Tremolo Gtr(トレモロギター)
67	0	114	27	Slap Guitar(スラップギター)
68	0	113	28	Funk Guitar(ファンクギター)
69	0	112	28	Muted Guitar(ミュートギター)
70	0	113	29	Feedback Gtr(フィードバックギター)
71	0	112	29	Overdriven(オーバードライブギター)
72	0	112	30	Distortion(ディストーションギター)
73	0	115	27	Pedal Steel(ペダルスチールギター)

ボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
74	0	114	25	Mandolin(マンドリン)
Bass(ベース)				
75	0	112	33	Finger Bass(フィンガーベース)
76	0	112	32	AcousticBass(アコースティックベース)
77	0	114	32	Bass&Cymbal(ベースアンドシンバル)
78	0	112	34	Pick Bass(ピックベース)
79	0	112	35	FretlessBass(フレットレスベース)
80	0	113	35	Jaco Bass(ジャコベース)
81	0	112	36	Slap Bass(スラップベース)
82	0	112	37	Funk Bass(ファンクベース)
83	0	113	36	Fusion Bass(フェュージョンベース)
84	0	112	38	Synth Bass(シンセベース)
85	0	112	39	Analog Bass(アナログベース)
86	0	113	39	Dance Bass(ダンスベース)
87	0	113	38	Hi-Q Bass(ハイQベース)
88	0	114	38	Rave Bass(レイブベース)
Strings(スtrings)				
89	0	112	48	String Ensb(ストリングス)
90	0	113	48	Orch.Strings(オーケストラストリングス)
91	0	114	48	SymphonicStr(シンフォニックストリングス)
92	0	113	49	Slow Strings(スローストリングス)
93	0	114	49	Str.Quarte(ストリングスカルテット)
94	0	115	48	Concerto Str(コンチェルトストリングス)
95	0	115	49	Marcato Str(マルカートストリングス)
96	0	112	49	Chamber Str(チェンバーストリングス)
97	0	112	44	Tremolo Str(トレモロストリングス)
98	0	112	45	Pizz.Strings(ピチカートストリングス)
99	0	112	50	Syn Strings(シンセストリングス)
100	0	112	51	Analog Str(アナログストリングス)
101	0	112	55	OrchestraHi(オーケストラヒット)
102	0	112	40	Solo Violin(ソロバイオリン)
103	0	113	40	Soft Violin(ソフトバイオリン)
104	0	112	110	Fiddle(フィドル)
105	0	112	41	Viola(ビオラ)
106	0	112	42	Cell(チェロ)
107	0	112	43	Contrabass(コントラバス)
108	0	112	46	Harp(ハープ)
109	0	113	46	Hackbret(ハックブレット)
110	0	112	106	Shamisen(三味線)
111	0	112	107	Kota(琴)
112	0	112	104	Sitar(シタール)
113	0	112	105	Banj(バンジョー)
Choir(クワイア)				
114	0	112	52	Choir(クワイア)
115	0	112	54	Air Choir(エアークワイア)
116	0	113	53	Gothic Vox(ゴシックボックス)
117	0	113	52	Vocal Ensb(ボーカルアンサンブル)
118	0	112	53	Vox Human(ボックスヒューマナ)
Trumpet(トランペット)				
119	0	115	56	SweetTrumpe(スウィートトランペット)
120	0	112	56	Solo Trumpe(ソロトランペット)
121	0	114	56	Soft Trumpe(ソフトトランペット)
122	0	113	56	Flugel Horn(フリュージェルホーン)
123	0	112	59	MutedTrumpe(ミュートトランペット)
124	0	112	57	Trombone(トロンボーン)
125	0	114	57	Mel.Trombone(メロウトロンボーン)
126	0	112	60	French Horn(フレンチホルン)
127	0	112	58	Tuba(チューバ)
Brass(ブラス)				
128	0	113	61	BigBandBrass(ビッグバンドブラス)
129	0	112	61	BrassSection(ブラスセクション)
130	0	116	61	Mellow Brass(メロウブラス)
131	0	117	61	Small Brass(スマールブラス)
132	0	118	61	Pop Brass(ポップブラス)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
133	0	119	61	Mellow Horn(メロウホーンズ)
134	0	113	59	Ballroom Br(ボールルームブラス)
135	0	114	61	Full Horn(フルホーンズ)
136	0	115	61	High Brass(ハイブラス)
137	0	120	61	Bright Brass(ブライトブラス)
138	0	113	57	Trb.Section(トロンボーンセクション)
139	0	112	62	Synth Brass(シンセブラス)
140	0	112	63	Analog Brass(アナログブラス)
141	0	113	62	Jump Brass(ジャンプブラス)
142	0	114	62	Techno Brass(テクノブラス)
Saxophone(サックス)				
143	0	114	66	BreathyTeno(ブレッシューテナーサックス)
144	0	113	65	Breathy Alto(ブレッシューアルトサックス)
145	0	112	64	Soprano Sax(ソプラノサックス)
146	0	112	65	Alto Sax(アルトサックス)
147	0	112	66	Tenor Sax(テナーサックス)
148	0	112	67	Baritone Sax(バリトンサックス)
149	0	116	66	Sax Section(サックスセクション)
150	0	115	66	Sax Comb(サックスコンボ)
151	0	112	71	Clarinet(クラリネット)
152	0	113	71	Mel.Clarinet(メロウクラリネット)
153	0	113	66	Woodwind En(ウッドウィンドアンサンブル)
154	0	112	68	Oboe(オーボエ)
155	0	112	69	English Horn(イングリッシュホルン)
156	0	112	70	Bassoon(バスーン)
Flute(フルート)				
157	0	112	73	Flute(フルート)
158	0	113	73	Pan Flute(パンフルート)
159	0	112	72	Piccolo(ピッコロフルート)
160	0	112	75	Ethnic Flute(エスニックフルート)
161	0	112	77	Shakuhach(尺八)
162	0	112	78	Whistle(ホイッスル)
163	0	112	74	Recorder(リコーダー)
164	0	112	79	Ocarina(オカリナ)
165	0	112	109	Bagpipe(バグパイプ)
Synth Lead(シンセリード)				
166	0	116	81	Fire Wire(ファイアワイヤー)
167	0	112	80	Square Lead(矩形波リード)
168	0	112	81	SawtoothLead(ノコギリ波リード)
169	0	113	81	Big Lead(ビッグリード)
170	0	112	98	Stardus(スターダスト)
171	0	114	81	Blaster(ブラスター)
172	0	115	81	Analogor(アナログン)
173	0	113	80	Vintage Lead(ビンテージリード)
174	0	113	98	Sun Bel(サンベル)
175	0	112	83	Aero Lead(エアロリード)
176	0	114	80	Mini Lead(ミニリード)
177	0	115	80	Vinylead(ビニリード)
178	0	117	81	Warp(ワープ)
179	0	116	80	Hi Bias(ハイバイアス)
180	0	117	80	Meta Wood(メタウッド)
181	0	118	80	Tiny Lead(タイニーリード)
182	0	118	81	Sub Aqua(サブアクア)
183	0	119	81	Fargo(ファーゴ)
Synth Pad(シンセパッド)				
184	0	113	94	Insomnia(インソムニア)
185	0	115	88	Golden Age(ゴールドデンエイジ)
186	0	112	90	Krypton(クリプトン)
187	0	113	99	Cyber Pad(サイバーパッド)
188	0	112	95	Wave 200(ウェーブ200)
189	0	112	94	Equinox(イクイノックス)
190	0	114	88	Stargate(スターゲート)
191	0	112	92	DX Pad(DXパッド)
192	0	112	93	Loch Ness(ロッホネス)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
193	0	112	88	Fantasia(ファンタジア)
194	0	112	91	Xenon Pad(ゼノンパッド)
195	0	112	89	Area 51(エリア51)
196	0	112	99	AtmospherPad(アトモスフィア)
197	0	113	89	Dark Moor(ダークムーン)
198	0	115	94	Ionosphere(アイオノスフィア)
199	0	113	93	Phase IV(フェイズIV)
200	0	113	88	Symbion(シンビアント)
201	0	114	94	Solaris(ソラリス)
202	0	117	88	Millenium(ミレニアム)
203	0	113	95	Transform(トランスフォーム)
Percussion(パーカッション)				
204	0	113	11	Jazz Vibes(ジャズビブラフォン)
205	0	112	11	Vibraphone(ビブラフォン)
206	0	112	12	Marimba(マリンバ)
207	0	112	13	Xylophone(シロフォン)
208	0	112	114	Steel Drums(スチールドラム)
209	0	112	8	Celesta(チェレスタ)
210	0	112	9	Glockenspiel(グロッケンスピール)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
211	0	112	10	Music Box(ミュージックボックス)
212	0	112	14	Tubular Bell(チューブラーベル)
213	0	112	108	Kalimba(カリンバ)
214	0	112	47	Timpani(ティンパニ)
215	0	112	15	Dulcimer(ダルシマー)
Drum Kits(ドラムキット)				
216	127	0	0	StandardKit1(スタンダードキット1)
217	127	0	1	StandardKit2(スタンダードキット2)
218	127	0	8	Room Kit(ルームキット)
219	127	0	16	Rock Kit(ロックキット)
220	127	0	24	Electro.Kit(エレクトロニックキット)
221	127	0	25	Analog Kit(アナログキット)
222	127	0	27	Dance Kit(ダンスキット)
223	127	0	32	Jazz Kit(ジャズキット)
224	127	0	40	Brush Kit(ブラッシュキット)
225	127	0	48	Symphony Kit(シンフォニーキット)
226	126	0	0	SFX Kit 1(SFXキット1)
227	126	0	1	SFX Kit 2(SFXキット2)

XGボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
228	0	0	0	Grand Piano
229	0	1	0	GrndPianoKSP
230	0	18	0	MellowGrPno
231	0	40	0	PianoStrings
232	0	41	0	Dream
233	0	0	1	Bright Piano
234	0	1	1	BritePnoKSP
235	0	0	2	ElecGrandPno
236	0	1	2	ElecGrPnoKSP
237	0	32	2	Detuned CP80
238	0	40	2	Layered CP 1
239	0	41	2	Layered CP 2
240	0	0	3	Honkytonk
241	0	1	3	HonkytonkKSP
242	0	0	4	El.Piano 1
243	0	1	4	El.Piano1KSP
244	0	18	4	Mellow EP 1
245	0	32	4	Chorus EP 1
246	0	40	4	HardEl.Piano
247	0	45	4	VXfade El.P1
248	0	64	4	60sEl.Piano1
249	0	0	5	El.Piano 2
250	0	1	5	El.Piano2KSP
251	0	32	5	Chorus EP 2
252	0	33	5	DX EP Hard
253	0	34	5	DX Legend
254	0	40	5	DX Phase EP
255	0	41	5	DX+AnalogEP
256	0	42	5	DX Koto EP
257	0	45	5	VXfade El.P1
258	0	0	6	Harpsichord
259	0	1	6	Harpsi.KSP
260	0	25	6	Harpsichord2
261	0	35	6	Harpsichord3
262	0	0	7	Clavi.
263	0	1	7	Clavi.KSP
264	0	27	7	Clavi.Wah
265	0	64	7	Pulse Clavi.

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
266	0	65	7	PierceClavi.
267	0	0	8	Celesta
268	0	0	9	Glockenspiel
269	0	0	10	Music Box
270	0	64	10	Orgel
271	0	0	11	Vibraphone
272	0	1	11	Vibes KSP
273	0	45	11	Hard Vibes
274	0	0	12	Marimba
275	0	1	12	Marimba KSP
276	0	64	12	Sine Marimba
277	0	97	12	Balimba
278	0	98	12	Log Drums
279	0	0	13	Xylophone
280	0	0	14	TubularBells
281	0	96	14	Church Bells
282	0	97	14	Carillon
283	0	0	15	Dulcimer
284	0	35	15	Dulcimer 2
285	0	96	15	Cimbalom
286	0	97	15	Santur
287	0	0	16	DrawbarOrgan
288	0	32	16	DetDrawOrgan
289	0	33	16	60sDrawOrg1
290	0	34	16	60sDrawOrg2
291	0	35	16	70sDrawOrg1
292	0	36	16	DrawbarOrg2
293	0	37	16	60sDrawOrg3
294	0	38	16	Even Bar Org
295	0	40	16	16+2'2/3 Org
296	0	64	16	Organ Bass
297	0	65	16	70sDrawOrg2
298	0	66	16	Cheezy Organ
299	0	67	16	DrawbarOrg3
300	0	0	17	Perc.Organ
301	0	24	17	70sPercOrg1
302	0	32	17	DetPercOrgan
303	0	33	17	Light Organ

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
304	0	37	17	Perc.Organ2
305	0	0	18	Rock Organ
306	0	64	18	Rotary Organ
307	0	65	18	Slow Rotary
308	0	66	18	Fast Rotary
309	0	0	19	Church Organ
310	0	32	19	ChurchOrgan3
311	0	35	19	ChurchOrgan2
312	0	40	19	Notre Dame
313	0	64	19	Organ Flute
314	0	65	19	Trem.OrganFl
315	0	0	20	Reed Organ
316	0	40	20	Puff Organ
317	0	0	21	Accordion
318	0	32	21	Accord It
319	0	0	22	Harmonica
320	0	32	22	Harmonica 2
321	0	0	23	Tango Accord
322	0	64	23	TangoAccord2
323	0	0	24	Nylon Guitar
324	0	16	24	NylonGuitar2
325	0	25	24	NylonGuitar3
326	0	43	24	VelGtrHarmo
327	0	96	24	Ukulele
328	0	0	25	Steel Guitar
329	0	16	25	SteelGuitar2
330	0	35	25	12Str Guitar
331	0	40	25	Nylon&Steel
332	0	41	25	Steel&Body
333	0	96	25	Mandolin
334	0	0	26	Jazz Guitar
335	0	18	26	MellowGuitar
336	0	32	26	Jazz Amp
337	0	0	27	Clean Guitar
338	0	32	27	ChorusGuitar
339	0	0	28	Muted Guitar
340	0	40	28	FunkGuitar1
341	0	41	28	MuteSteelGtr

ボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
342	0	43	28	FunkGuitar2
343	0	45	28	Jazz Man
344	0	0	29	Overdriven
345	0	43	29	Guitar Pinch
346	0	0	30	Distortion
347	0	40	30	FeedbackGtr
348	0	41	30	FeedbackGtr2
349	0	0	31	GtrHarmonics
350	0	65	31	GtrFeedback
351	0	66	31	GtrHarmonic2
352	0	0	32	AcousticBass
353	0	40	32	Jazz Rhythm
354	0	45	32	VXUprghtBass
355	0	0	33	Finger Bass
356	0	18	33	Finger Dark
357	0	27	33	Flange Bass
358	0	40	33	Bass&DistEG
359	0	43	33	Finger Slap
360	0	45	33	FingerBass2
361	0	65	33	Mod.Bass
362	0	0	34	Pick Bass
363	0	28	34	MutePickBass
364	0	0	35	FretlessBass
365	0	32	35	Fretless 2
366	0	33	35	Fretless 3
367	0	34	35	Fretless 4
368	0	96	35	Syn.Fretless
369	0	97	35	SmthFretless
370	0	0	36	Slap Bass 1
371	0	27	36	ResonantSlap
372	0	32	36	Punch Thumb
373	0	0	37	Slap Bass 2
374	0	43	37	Velo.Sw.Slap
375	0	0	38	Synth Bass 1
376	0	18	38	SynBass1Dark
377	0	20	38	FastResoBass
378	0	24	38	Acid Bass
379	0	35	38	Clavi Bass
380	0	40	38	Techno Bass
381	0	64	38	Orbiter
382	0	65	38	Square Bass
383	0	66	38	Rubber Bass
384	0	96	38	Hammer
385	0	0	39	Synth Bass 2
386	0	6	39	MellowSyBass
387	0	12	39	SequenceBass
388	0	18	39	ClickSynBass
389	0	19	39	SynBass2Dark
390	0	32	39	SmoothSyBass
391	0	40	39	ModulrSyBass
392	0	41	39	DX Bass
393	0	64	39	X Wire Bass
394	0	0	40	Violin
395	0	8	40	SlwAtkViolin
396	0	0	41	Viola
397	0	0	42	Cello
398	0	0	43	Contrabass
399	0	0	44	Trem.Strings
400	0	8	44	SlwAtTremStr
401	0	40	44	SuspenseStr
402	0	0	45	PizzicatoStr
403	0	0	46	Orch.Harp
404	0	40	46	Yang Chin
405	0	0	47	Timpani

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
406	0	0	48	Strings 1
407	0	3	48	StereoStrngs
408	0	8	48	SlwAtkStrngs
409	0	24	48	Arco Strings
410	0	35	48	60's Strings
411	0	40	48	Orchestra
412	0	41	48	Orchestra 2
413	0	42	48	TremOrchestra
414	0	45	48	Velo.Strings
415	0	0	49	Strings 2
416	0	3	49	S.SlowStrngs
417	0	8	49	LegatoStrngs
418	0	40	49	Warm Strings
419	0	41	49	Kingdom
420	0	64	49	70's Strings
421	0	65	49	Strings 3
422	0	0	50	SynStrings1
423	0	27	50	Reso Strings
424	0	64	50	SynStrings4
425	0	65	50	SynStrings5
426	0	0	51	SynStrings2
427	0	0	52	Choir Aahs
428	0	3	52	Stereo Choir
429	0	16	52	Choir Aahs 2
430	0	32	52	Mellow Choir
431	0	40	52	ChoirStrings
432	0	0	53	Voice Oohs
433	0	0	54	Synth Voice
434	0	40	54	SynthVoice2
435	0	41	54	Choral
436	0	64	54	Analog Voice
437	0	0	55	OrchestraHit
438	0	35	55	OrchestraHit2
439	0	64	55	Impact
440	0	0	56	Trumpet
441	0	16	56	Trumpet 2
442	0	17	56	BriteTrumpet
443	0	32	56	Warm Trumpet
444	0	0	57	Trombone
445	0	18	57	Trombone 2
446	0	0	58	Tuba
447	0	16	58	Tuba 2
448	0	0	59	MutedTrumpet
449	0	0	60	French Horn
450	0	6	60	Fr.Horn Solo
451	0	32	60	FrenchHorn2
452	0	37	60	HornOrchestr
453	0	0	61	BrassSection
454	0	35	61	Tp&TbSection
455	0	40	61	BrassSect2
456	0	41	61	High Brass
457	0	42	61	Mellow Brass
458	0	0	62	SynthBrass1
459	0	12	62	Quack Brass
460	0	20	62	ResoSynBrass
461	0	24	62	Poly Brass
462	0	27	62	SynthBrass3
463	0	32	62	Jump Brass
464	0	45	62	AnaVelBrass1
465	0	64	62	AnalogBrass1
466	0	0	63	SynthBrass2
467	0	18	63	Soft Brass
468	0	40	63	SynthBrass4
469	0	41	63	Choir Brass

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
470	0	45	63	AnaVelBrass2
471	0	64	63	AnalogBrass2
472	0	0	64	Soprano Sax
473	0	0	65	Alto Sax
474	0	40	65	Sax Section
475	0	43	65	HyperAltoSax
476	0	0	66	Tenor Sax
477	0	40	66	BreathyTenor
478	0	41	66	SoftTenorSax
479	0	64	66	Tenor Sax2
480	0	0	67	Baritone Sax
481	0	0	68	Oboe
482	0	0	69	English Horn
483	0	0	70	Bassoon
484	0	0	71	Clarinet
485	0	0	72	Piccolo
486	0	0	73	Flute
487	0	0	74	Recorder
488	0	0	75	Pan Flute
489	0	0	76	Blown Bottle
490	0	0	77	Shakuhachi
491	0	0	78	Whistle
492	0	0	79	Ocarina
493	0	0	80	Square Lead
494	0	6	80	SquareLead2
495	0	8	80	LM Square
496	0	18	80	Hollow
497	0	19	80	Shroud
498	0	64	80	Mellow
499	0	65	80	Solo Sine
500	0	66	80	Sine Lead
501	0	0	81	SawtoothLead
502	0	6	81	SawtoothLd2
503	0	8	81	Thick Saw
504	0	18	81	Dynamic Saw
505	0	19	81	Digital Saw
506	0	20	81	Big Lead
507	0	24	81	Heavy Synth
508	0	25	81	Waspy Synth
509	0	40	81	Pulse Saw
510	0	41	81	Dr. Lead
511	0	45	81	VelocityLead
512	0	96	81	Seq.Analog
513	0	0	82	CalliopeLead
514	0	65	82	Pure Pad
515	0	0	83	Chiff Lead
516	0	64	83	Rubby
517	0	0	84	Charang Lead
518	0	64	84	DistortedLd
519	0	65	84	Wire Lead
520	0	0	85	Voice Lead
521	0	24	85	Synth Aahs
522	0	64	85	Vox Lead
523	0	0	86	Fifths Lead
524	0	35	86	Big Five
525	0	0	87	Bass & Lead
526	0	16	87	Big & Low
527	0	64	87	Fat & Perky
528	0	65	87	Soft Whirl
529	0	0	88	New Age Pad
530	0	64	88	Fantasy
531	0	0	89	Warm Pad
532	0	16	89	Thick Pad
533	0	17	89	Soft Pad

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
534	0	18	89	Sine Pad
535	0	64	89	Horn Pad
536	0	65	89	RotaryStrngs
537	0	0	90	PolySynthPad
538	0	64	90	Poly Pad 80
539	0	65	90	Click Pad
540	0	66	90	Analog Pad
541	0	67	90	Square Pad
542	0	0	91	Choir Pad
543	0	64	91	Heaven
544	0	66	91	Itopia
545	0	67	91	CC Pad
546	0	0	92	Bowed Pad
547	0	64	92	Glacier
548	0	65	92	Glass Pad
549	0	0	93	Metallic Pad
550	0	64	93	Tine Pad
551	0	65	93	Pan Pad
552	0	0	94	Halo Pad
553	0	0	95	Sweep Pad
554	0	20	95	Shwimmer
555	0	27	95	Converge
556	0	64	95	Polar Pad
557	0	66	95	Celestial
558	0	0	96	Rain
559	0	45	96	Clavi Pad
560	0	64	96	Harmo Rain
561	0	65	96	African Wind
562	0	66	96	Carib
563	0	0	97	Sound Track
564	0	27	97	Prologue
565	0	64	97	Ancestral
566	0	0	98	Crystal
567	0	12	98	SynthDr.Comp
568	0	14	98	Popcorn
569	0	18	98	Tiny Bells
570	0	35	98	RoundGlocken
571	0	40	98	GlockenChime
572	0	41	98	Clear Bells
573	0	42	98	Chorus Bells
574	0	64	98	Synth Mallet
575	0	65	98	Soft Crystal
576	0	66	98	Loud Glocken
577	0	67	98	ChristmasBel
578	0	68	98	Vibe Bells
579	0	69	98	DigitalBells
580	0	70	98	Air Bells
581	0	71	98	Bell Harp
582	0	72	98	Gamelimba
583	0	0	99	Atmosphere
584	0	18	99	Warm Atmos.
585	0	19	99	HollwRelease
586	0	40	99	NylonElPiano
587	0	64	99	Nylon Harp
588	0	65	99	Harp Vox
589	0	66	99	Atmos.Pad
590	0	67	99	Planet
591	0	0	100	Brightness
592	0	64	100	FantasyBells
593	0	96	100	Smokey
594	0	0	101	Goblins
595	0	64	101	GoblinsSynth
596	0	65	101	Creeper
597	0	66	101	Ring Pad

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
598	0	67	101	Ritual
599	0	68	101	To Heaven
600	0	70	101	Night
601	0	71	101	Glisten
602	0	96	101	Bell Choir
603	0	0	102	Echoes
604	0	8	102	Echoes2
605	0	14	102	Echo Pan
606	0	64	102	Echo Bells
607	0	65	102	Big Pan
608	0	66	102	Synth Piano
609	0	67	102	Creation
610	0	68	102	Star Dust
611	0	69	102	Reso&Panning
612	0	0	103	Sci-Fi
613	0	64	103	Starz
614	0	0	104	Sitar
615	0	32	104	DetunedSitar
616	0	35	104	Sitar 2
617	0	96	104	Tambra
618	0	97	104	Tamboura
619	0	0	105	Banjo
620	0	28	105	Muted Banjo
621	0	96	105	Rabab
622	0	97	105	Gopichant
623	0	98	105	Oud
624	0	0	106	Shamisen
625	0	0	107	Koto
626	0	96	107	Taisho-kin
627	0	97	107	Kanoon
628	0	0	108	Kalimba
629	0	0	109	Bagpipe
630	0	0	110	Fiddle
631	0	0	111	Shanai
632	0	64	111	Shanai2
633	0	96	111	Pungi
634	0	97	111	Hichiriki
635	0	0	112	Tinkle Bell
636	0	96	112	Bonang
637	0	97	112	Altair
638	0	98	112	GamelanGongs
639	0	99	112	StereoGamlan
640	0	100	112	Rama Cymbal
641	0	101	112	Asian Bells
642	0	0	113	Agogo
643	0	0	114	Steel Drums
644	0	97	114	Glass Perc.
645	0	98	114	Thai Bells
646	0	0	115	Woodblock
647	0	96	115	Castanets
648	0	0	116	Taiko Drum
649	0	96	116	Gran Cassa
650	0	0	117	Melodic Tom
651	0	64	117	MelodicTom2
652	0	65	117	Real Tom
653	0	66	117	Rock Tom
654	0	0	118	Synth Drum
655	0	64	118	Analog Tom
656	0	65	118	ElectroPerc.
657	0	0	119	Rev.Cymbal
658	0	0	120	GtrFretNoise
659	0	0	121	Breath Noise
660	0	0	122	Seashore
661	0	0	123	Bird Tweet

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
662	0	0	124	TelephonRing
663	0	0	125	Helicopter
664	0	0	126	Applause
665	0	0	127	Gunshot
666	64	0	0	CuttingNoise
667	64	0	1	CuttingNoiz2
668	64	0	3	String Slap
669	64	0	16	Fl.Key Click
670	64	0	32	Shower
671	64	0	33	Thunder
672	64	0	34	Wind
673	64	0	35	Stream
674	64	0	36	Bubble
675	64	0	37	Feed
676	64	0	48	Dog
677	64	0	49	Horse
678	64	0	50	Bird Tweet 2
679	64	0	54	Ghost
680	64	0	55	Maou
681	64	0	64	Phone Call
682	64	0	65	Door Squeak
683	64	0	66	Door Slam
684	64	0	67	Scratch Cut
685	64	0	68	ScratchSplit
686	64	0	69	Wind Chime
687	64	0	70	TelphonRing2
688	64	0	80	CarEngineIgn
689	64	0	81	CarTiresSql
690	64	0	82	Car Passing
691	64	0	83	Car Crash
692	64	0	84	Siren
693	64	0	85	Train
694	64	0	86	Jet Plane
695	64	0	87	Starship
696	64	0	88	Burst
697	64	0	89	RollrCoaster
698	64	0	90	Submarine
699	64	0	96	Laugh
700	64	0	97	Scream
701	64	0	98	Punch
702	64	0	99	Heartbeat
703	64	0	100	FootSteps
704	64	0	112	Machine Gun
705	64	0	113	Laser Gun
706	64	0	114	Explosion
707	64	0	115	Firework

ドラムキットリスト

← は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

各パーカッション音の使用発音数は1です。

PSR-540の鍵盤のNote#とNoteはこの表よりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の

Note#24/Note C0「シーククリックH」を鍵盤で鳴らす場合は、Note#36/Note C1の鍵盤を押さえます。

Bank MSB	Bank LSB	Prgram Number	Note #	Note	127	127	127	127	127	127
		0			0	0	0	0	0	0
		0			1	8	16	24	25	
					スタンダードキット1	スタンダードキット2	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット	アナログキット
		13	C#-1	スルドミュート	←	←	←	←	←	←
		14	D-1	スルドオープン	←	←	←	←	←	←
		15	D#-1	ハイキュー	←	←	←	←	←	←
		16	E-1	ウィップスラップ	←	←	←	←	←	←
		17	F-1	スクラッチブッシュ	←	←	←	←	←	←
		18	F#-1	スクラッチブル	←	←	←	←	←	←
		19	G-1	フィンガースナップ	←	←	←	←	←	←
		20	G#-1	クリックノイズ	←	←	←	←	←	←
		21	A-1	メトロノームクリック	←	←	←	←	←	←
		22	A#-1	メトロノームベル	←	←	←	←	←	←
		23	B-1	シーククリックL	←	←	←	←	←	←
		24	C0	シーククリックH	←	←	←	←	←	←
C1	C#1	25	C#0	ブラッシュタップ	←	←	←	←	←	←
D1	D#1	26	D0	ブラッシュスワール	←	←	←	←	←	←
E1	F#1	27	D#0	ブラッシュスラップ	←	←	←	←	←	←
F1	G#1	28	E0	ブラッシュタップスワール	←	←	←	←	リバースシンバル	リバースシンバル
G1	A#1	29	F0	スネアロー	←	←	←	←	←	←
A1	D#2	30	F#0	カスターネット	←	←	←	←	ハイキュー2	ハイキュー2
B1	C#2	31	G0	スネアHソフト	スネアHソフト2	←	←	←	スネアロックH	スネアロックH
C2	D#2	32	G#0	スティックス	←	←	←	←	←	←
D2	F#2	33	A0	バスドラムソフト	←	←	←	←	バスドラムH	バスドラムH
E2	G#2	34	A#0	オープンリムショット	オープンリムショット2	←	←	←	←	←
F2	A#2	35	B0	バスドラムハード	←	←	←	←	バスドラムH	バスドラムアナログL
G2	D#3	36	C1	バスドラム	バスドラム2	←	←	←	バスドラムロック	バスドラムロック
A2	F#3	37	C#1	サイドスティック	←	←	←	←	バスドラムゲート	バスドラムアナログH
B2	G#3	38	D1	スネアM	スネアM2	←	←	←	←	アナログサイドスティック
C3	A#3	39	D#1	ハンドクラップ	←	←	←	←	←	アナログスネア1
D3	D#3	40	E1	スネアHハード	←	←	←	←	←	←
E3	F#3	41	F1	フロアタムL	←	←	←	←	スネアアルームH	スネアロックリム
F3	G#3	42	F#1	ハイハットクローズ	←	←	←	←	スネアアルームL	スネアロックL
G3	A#3	43	G1	フロアタムH	←	←	←	←	スネアロックL	スネアロックL
A3	D#4	44	G#1	ハイハットベダル	←	←	←	←	←	←
B3	C#4	45	A1	ロータム	←	←	←	←	←	←
C4	D#4	46	A#1	ハイハットオープン	←	←	←	←	←	←
D4	F#4	47	B1	ミッドタムL	←	←	←	←	←	←
E4	G#4	48	C2	ミッドタムH	←	←	←	←	←	←
F4	A#4	49	C#2	クラッシュシンバル1	←	←	←	←	←	←
G4	D#5	50	D2	ハイタム	←	←	←	←	←	←
A4	F#5	51	D#2	ライドシンバル1	←	←	←	←	←	←
B4	G#5	52	E2	チャイニーズシンバル	←	←	←	←	←	←
C5	A#5	53	F2	ライドシンバルカップ	←	←	←	←	←	←
D5	D#5	54	F#2	タンバリン	←	←	←	←	←	←
E5	F#5	55	G2	スブラッシュシンバル	←	←	←	←	←	←
F5	G#5	56	G#2	カウベル	←	←	←	←	←	アナログカウベル
G5	A#5	57	A2	クラッシュシンバル2	←	←	←	←	←	←
A5	D#5	58	A#2	ビブラスラップ	←	←	←	←	←	←
B5	F#5	59	B2	ライドシンバル2	←	←	←	←	←	←
C6	G#5	60	C3	ボンゴH	←	←	←	←	←	←
D6	A#5	61	C#3	ボンゴL	←	←	←	←	←	←
E6	D#5	62	D3	コンガHミュート	←	←	←	←	←	←
F6	F#5	63	D#3	コンガHオープン	←	←	←	←	←	←
G6	G#5	64	E3	コンガL	←	←	←	←	←	←
A6	A#5	65	F3	ティンパレスH	←	←	←	←	←	←
B6	D#5	66	F#3	ティンパレスL	←	←	←	←	←	←
C7	F#5	67	G3	アゴゴH	←	←	←	←	←	←
D7	G#5	68	G#3	アゴゴL	←	←	←	←	←	←
E7	A#5	69	A3	カバサ	←	←	←	←	←	←
F7	D#5	70	A#3	マラカス	←	←	←	←	←	←
G7	F#5	71	B3	サンバホイッスルH	←	←	←	←	←	←
A7	G#5	72	C4	サンバホイッスルL	←	←	←	←	←	←
B7	A#5	73	C#4	ギロショート	←	←	←	←	←	←
C8	D#5	74	D4	ギロロング	←	←	←	←	←	←
D8	F#5	75	D#4	クラベス	←	←	←	←	←	←
E8	G#5	76	E4	ウッドブロックH	←	←	←	←	←	←
F8	A#5	77	F4	ウッドブロックL	←	←	←	←	←	←
G8	D#5	78	F#4	クイーカミュート	←	←	←	←	←	←
A8	F#5	79	G4	クイーカオープン	←	←	←	←	←	←
B8	G#5	80	G#4	トライアングルミュート	←	←	←	←	←	←
C9	A#5	81	A4	トライアングルオープン	←	←	←	←	←	←
D9	D#5	82	A#4	シェイカー	←	←	←	←	←	←
E9	F#5	83	B4	ジングルベル	←	←	←	←	←	←
F9	G#5	84	C5	ベルツリー	←	←	←	←	←	←
G9	A#5	85	C#5							
A9	D#5	86	D5							
B9	F#5	87	D#5							
C10	G#5	88	E5							
D10	A#5	89	F5							
E10	D#5	90	F#5							
F10	F#5	91	G5							

ドラムキットリスト

	Bank MSB	127	127	127	127	126	126	
	Bank LSB	0	0	0	0	0	0	
	Prgram Number	27	32	40	48	0	1	
	Note #	Note	ダンスキット	ジャズキット	ブラッシュキット	シンフォニーキット	SFXキット1	SFXキット2
	13	C#-1	<---	<---	<---	<---		
	14	D-1	<---	<---	<---	<---		
	15	D#-1	<---	<---	<---	<---		
	16	E-1	<---	<---	<---	<---		
	17	F-1	<---	<---	<---	<---		
	18	F#-1	<---	<---	<---	<---		
	19	G-1	<---	<---	<---	<---		
	20	G#-1	<---	<---	<---	<---		
	21	A-1	<---	<---	<---	<---		
	22	A#-1	<---	<---	<---	<---		
	23	B-1	<---	<---	<---	<---		
C1	24	C0	<---	<---	<---	<---		
	25	C#0	<---	<---	<---	<---		
D1	26	D0	<---	<---	<---	<---		
	27	D#0	<---	<---	<---	<---		
E1	28	E0	リバーシシバル	<---	<---	<---		
	29	F0	<---	<---	<---	<---		
F1	30	F#0	ハイキュー2	<---	<---	<---		
	31	G0	アナログスネアスナッピー	スネアジャズHライト	ブラッシュスラップ	<---		
	32	G#0	<---	<---	<---	<---		
A1	33	A0	アナログバスドラムダンス1	<---	<---	バスドラムL		
	34	A#0	アナログスネアオープンリム	<---	<---	<---		
B1	35	B0	アナログバスドラムダンス2	<---	<---	グランカッサ		
	36	C1	アナログバスドラムダンス3	バスドラムジャズ	バスドラムジャズ	グランカッサミュート	ギターカッティングノイズ	ダイヤルトーン
C2	37	C#1	アナログサイドスティック	<---	<---	<---	ギターカッティングノイズ2	ドア軋み
	38	D1	アナログスネアキュー	スネアジャズL	ブラッシュスラップ	マーチングスネアM	<---	ドアスラム
D2	39	D#1	<---	<---	<---	<---	ストリングスラップ	スクラッチカット
E2	40	E1	スネアアナログ+アコースティック	スネアジャズM	ブラッシュタップ	マーチングスネアH	<---	スクラッチ
	41	F1	アナログタム1	<---	ブラッシュタム1	<---	<---	ウィンドチャイム
F2	42	F#1	アナログハイハットクロース3	<---	<---	<---	<---	テレホンリング2
	43	G1	アナログタム2	<---	ブラッシュタム2	<---	<---	
G2	44	G#1	アナログハイハットクロース4	<---	<---	<---	<---	
A2	45	A1	アナログタム3	<---	ブラッシュタム3	<---	<---	
	46	A#1	アナログハイハットオープン2	<---	<---	<---	<---	
B2	47	B1	アナログタム4	<---	ブラッシュタム4	<---	<---	
	48	C2	アナログタム5	<---	ブラッシュタム5	<---	<---	
C3	49	C#2	アナログシンバル	<---	<---	ハンドシンバルL	<---	
	50	D2	アナログタム6	<---	ブラッシュタム6	<---	<---	
D3	51	D#2	<---	<---	<---	ハンドシンバルショートL	<---	
E3	52	E2	<---	<---	<---	<---	フルートキキクリック	エンジンスタート
F3	53	F2	<---	<---	<---	<---	<---	タイヤスクイール
	54	F#2	<---	<---	<---	<---	<---	カーバッシング
G3	55	G2	<---	<---	<---	<---	<---	クラッシュ
	56	G#2	アナログカウベル	<---	<---	<---	<---	サイレン
A3	57	A2	<---	<---	<---	ハンドシンバルH	<---	列車
	58	A#2	<---	<---	<---	<---	<---	ジェット機
B3	59	B2	<---	<---	<---	ハンドシンバルショートH	<---	宇宙船
	60	C3	<---	<---	<---	<---	<---	バーストノイズ
C4	61	C#3	<---	<---	<---	<---	<---	コースター
	62	D3	アナログコンガH	<---	<---	<---	<---	潜水艦
D4	63	D#3	アナログコンガM	<---	<---	<---	<---	
E4	64	E3	アナログコンガL	<---	<---	<---	<---	
F4	65	F3	<---	<---	<---	<---	<---	
	66	F#3	<---	<---	<---	<---	<---	
G4	67	G3	<---	<---	<---	<---	<---	
	68	G#3	<---	<---	<---	<---	<---	
A4	69	A3	<---	<---	<---	<---	シャワー	笑い声
	70	A#3	アナログマラカス	<---	<---	<---	雷	絶叫
B4	71	B3	<---	<---	<---	<---	風	パンチ
	72	C4	<---	<---	<---	<---	川	鼓動
C5	73	C#4	<---	<---	<---	<---	泡	足音
	74	D4	<---	<---	<---	<---	フィールド	
D5	75	D#4	アナログクラベス	<---	<---	<---	<---	
E5	76	E4	<---	<---	<---	<---	<---	
F5	77	F4	<---	<---	<---	<---	<---	
	78	F#4	スクラッチブッシュ	<---	<---	<---	<---	
G5	79	G4	スクラッチブル	<---	<---	<---	<---	
	80	G#4	<---	<---	<---	<---	<---	
A5	81	A4	<---	<---	<---	<---	<---	
	82	A#4	<---	<---	<---	<---	<---	
B5	83	B4	<---	<---	<---	<---	<---	
	84	C5	<---	<---	<---	<---	<---	
C6	85	C#5	<---	<---	<---	<---	犬	マシンガン
	86	D5	<---	<---	<---	<---	馬のかける音	レーザーガン
	87	D#5	<---	<---	<---	<---	鳥の鳴き声2	爆発音
	88	E5	<---	<---	<---	<---	<---	花火
	89	F5	<---	<---	<---	<---	<---	
	90	F#5	<---	<---	<---	<---	幽霊	
	91	G5	<---	<---	<---	<---	マオウ	

スタイルリスト

スタイル No.	スタイルネーム
8BEAT(8ビート)	
1	8Beat 1(8ビート1)
2	8Beat 2(8ビート2)
3	8Beat Adria(8ビートアドリア)
4	8Beat Pop(8ビートポップ)
5	British Pop(ブリティッシュポップ)
6	8Beat Soft(8ビートソフト)
16BEAT(16ビート)	
7	16Beat 1(16ビート1)
8	16Beat 2(16ビート2)
9	16Beat 3(16ビート3)
10	16Beat 4(16ビート4)
11	Soft Fusion(ソフトフュージョン)
12	Hip Hop Pop(ヒップホップポップ)
13	16Beat Funk(16ビートファンク)
14	Funky Pop(ファンキーポップ)
15	16Beat 5(16ビート5)
8BEAT BALLAD(8ビートバラード)	
16	Piano Ballad(ピアノバラード)
17	U.S. Ballad(USバラード)
18	Slow Rock(スローロック)
19	Modern 6/8(モダン6/8)
20	Guitar Ballad(ギターバラード)
21	Organ Ballad(オルガンバラード)
22	Epic Ballad(エピックバラード)
16BEAT BALLAD(16ビートバラード)	
23	16Beat Ballad(16ビートバラード)
24	Rock Ballad(ロックバラード)
25	Slow Ballad(スローバラード)
26	Pop Ballad(ポップバラード)
ROCK(ロック)	
27	Rock 1(ロック1)
28	Hard Rock(ハードロック)
29	Rock & Roll(ロックンロール)
30	Twist(ツイスト)
31	4/4 Blues(4/4ブルース)
32	6/8 Rock(6/8ロック)
DANCEFLOOR(ダンスフロアー)	
33	Clubdance(クラブダンス)
34	Techno(テクノ)
35	Entrance(エントランス)
36	Eurobeat(ユーロビート)
37	Trance 1(トランス1)
38	Trance 2(トランス2)
39	Cool Dance(クールダンス)
40	Funky Trip Hop(ファンキートリップホップ)
41	Handbag(ハンドバッグ)
DISCO(ディスコ)	
42	70's Disco(70's ディスコ)
43	90's Disco(90's ディスコ)
44	Disco Soul(ディスコソウル)
45	Miami Pop(マイアミポップ)
46	Disco Tropic(ディスコトロピック)
47	Disco Hands(ディスコハンズ)
SWING & JAZZ(スイング&ジャズ)	
48	Swing(スイング)
49	Big Band 1(ビッグバンド1)
50	Big Band Ballad(ビッグバンドバラード)
51	Jazz Ballad(ジャズバラード)
52	Jazz Trio(ジャズトリオ)
53	Boogie(ブギ)
54	Bebop(ビーポップ)
55	Big Band 2(ビッグバンド2)
56	Dixieland(デキシールランド)

スタイル No.	スタイルネーム
R & B(リズム&ブルース)	
57	Gospel Shuffle(ゴスペルシャフル)
58	R & B(リズム&ブルース)
59	Motown(モータウン)
60	Soul Shuffle(ソウルシャフル)
61	6/8 Blues(6/8ブルース)
COUNTRY(カントリー)	
62	Country Rock(カントリーロック)
63	Country 8Beat(カントリー8ビート)
64	Country Pop(カントリーポップ)
65	Country Swing(カントリースイング)
66	Bluegrass(ブルーグラス)
67	Country Ballad(カントリーバラード)
LATIN(ラテン)	
68	Samba Rio(サンパリオ)
69	Bossa Nova(ボサノバ)
70	Swing Reggae(スイングレゲエ)
71	Salsa(サルサ)
72	Mambo(マンボ)
73	Pop Reggae(ポップレゲエ)
BALLROOM(ボールルーム)	
74	Slow Fox(スローフォックス)
75	Quickstep(クイックステップ)
76	Tango(タンゴ)
77	Cha Cha Cha(チャチャチャ)
78	Samba(サンバ)
79	Rhumba(ルンバ)
80	Pasodoble(パソドブレ)
81	Jive(ジャイブ)
82	Beguine(ビギン)
83	Foxtrot(フォックストロット)
TRADITIONAL(トラディショナル)	
84	U.S. March(USマーチ)
85	German March(ジャーマンマーチ)
86	6/8 March(6/8マーチ)
87	Polka Pop(ポルカポップ)
88	Polka Oberkriener(ポルカオーバークライナー)
WALTZ(ワルツ)	
89	Jazz Waltz(ジャズワルツ)
90	Country Waltz(カントリーワルツ)
91	Vienna Waltz(ウィンナワルツ)
92	Slow Waltz(スローワルツ)
93	Orch. Waltz(オーケストラワルツ)
94	Waltz Oberkriener(ワルツオーバークライナー)
95	Musette(ミュゼット)
96	Guitar Waltz(ギターワルツ)
PIANIST(ピアニスト)	
97	Stride(ストライド)
98	Boogie(ブギ)
99	Swing(スイング)
100	Pianoman(ピアノマン)
101	Ballad(バラード)
102	Ragtime(ラグタイム)
103	March(マーチ)
104	6/8 March(6/8マーチ)
105	Waltz(ワルツオーバークライナー)
106	JazzWaltz(ジャズワルツ)

デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ

リバーブ(システムエフェクト)

パネル操作でリバーブタイプ/デプスを設定できますが、通常はスタイルに適したリバーブタイプ/デプスが選択されています。

コーラス(システムエフェクト)

パネル操作でコーラスタイプ/デプスを設定できますが、通常はスタイルに適したコーラスタイプ/デプスが選択されています。

DSP(システム/インサクションエフェクト)

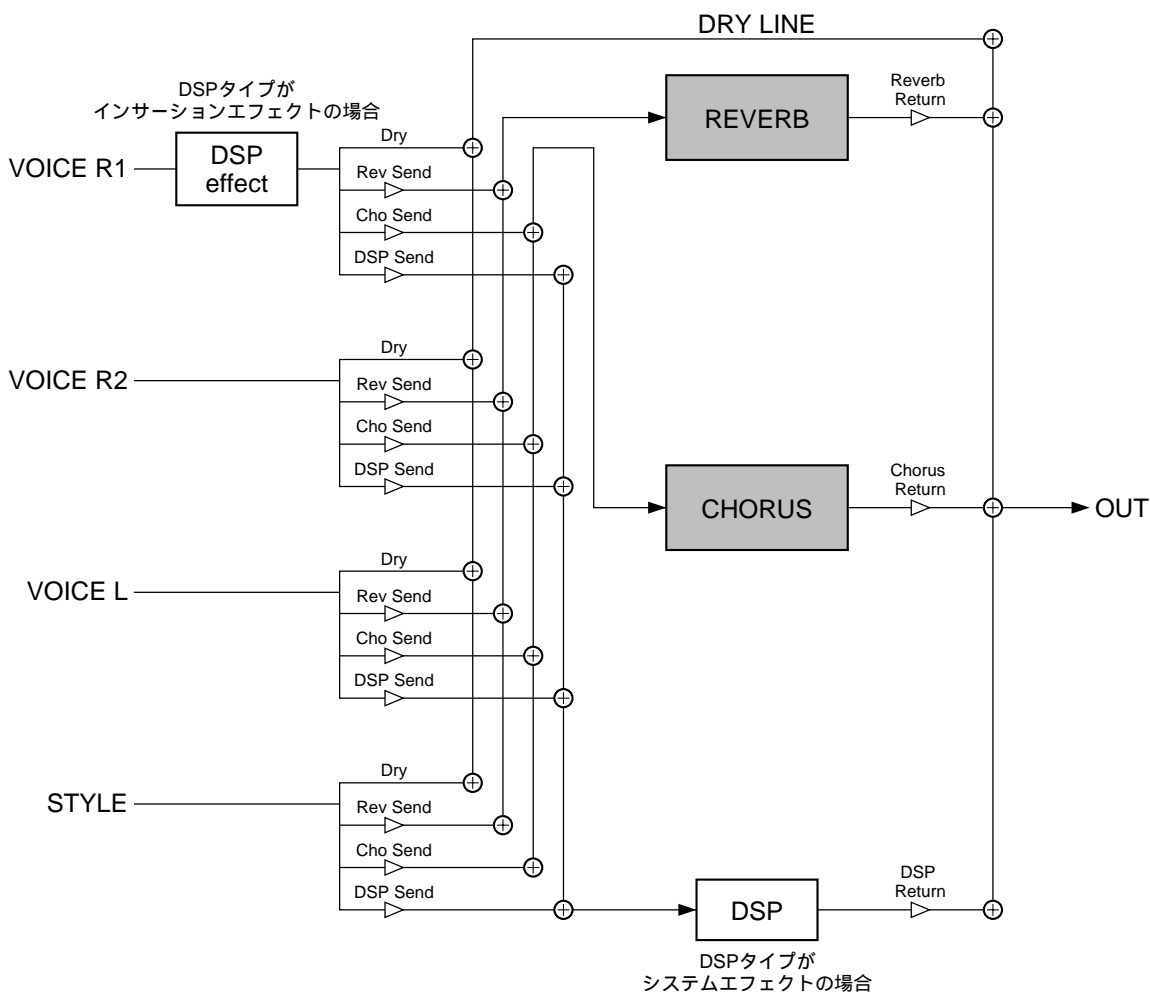
パネル操作でオン/オフ、DSPタイプ/デプスを設定できます。

DSPエフェクトのタイプにシステムエフェクトが選ばれている場合と、インサクションエフェクトが選ばれている場合とで、デジタルエフェクトのしくみが大きく異なります。

メモ

エフェクトに関する設定の中には、PSR-540のパネルでは行えないものもあります。MIDI IN演奏情報にエフェクト設定データ(システムエクスクルーシブ)があれば、個別に設定することができます。詳細はMIDIデータフォーマットを参照してください。

以下のイラストはPSR-540のパネル操作で設定できるエフェクトパラメーターの関係を図にしたものです。



デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ

リバーブタイプリスト

タイプ	システム/インサージョン	説明
Hall1 ~ 5(ホール1~5)	システム	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Room1 ~ 7(ルーム1~7)	システム	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Stage1 ~ 4(ステージ1~4)	システム	ソロ楽器に適したリバーブです。
Plate1 ~ 3(プレート1~3)	システム	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
White Room(ホワイトルーム)	システム	若干のイニシャルディレイを持った独特のショートリバーブです。
Tunne(トンネル)	システム	左右に広がった筒状の空間のシミュレートです。
Canyon(キャニオン)	システム	限りなく広がる幻想的な音の世界をイメージしたものです。
Basemen(ベースメント)	システム	若干のイニシャルディレイの後に、独特の響きを持ったリバーブです。
No Effect(ノーエフェクト)	-	エフェクトを OFF にします。













コーラスタイプリスト

タイプ	システム/インサージョン	説明
Chorus1 ~ 8(コーラス1~8)	システム	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
Celeste1, 2(セレステ1, 2)	システム	3相の LFO により、音にうねりと広がりを与えるプログラムです。
Flanger1 ~ 5(フランジャー1~5)	システム	ジェットサウンドを作り出す効果です。
No Effect(ノーエフェクト)	-	エフェクトを OFF にします。

DSPタイプリスト

タイプ	システム/インサージョン	説明
Hall1 ~ 5(ホール1~5)	システム	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Room1 ~ 7(ルーム1~7)	システム	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Stage1 ~ 4(ステージ1~4)	システム	ソロ楽器に適したリバーブです。
Plate1 ~ 3(プレート1~3)	システム	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
Delay L-C-R 1, 2(ディレイL-C-R 1, 2)	システム	Left, Center, Rightの3本のディレイ音を発生するプログラムです。
Delay L-Right(ディレイL-R)	システム	Left, Rightの2本のディレイ音を発生するプログラムです。2本のフィードバックディレイを持っています。
Echo(エコー)	システム	Left, Rightの2本のディレイと、Left, Right独立のフィードバックディレイを持っています。
Cross Delay(クロスディレイ)	システム	2本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
ER1, 2	システム	リバーブの初期反射音のみを取り出したエフェクトです。
Gate Reverb(ゲートリバーブ)	システム	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。
Reverse Gate(リバースゲート)	システム	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたものです。
Karaoke1 ~ 3(カラオケ1~3)	システム	カラオケ用のエコーと同じ仕組みのフィードバック付きのディレイです。
Chorus1 ~ 8(コーラス1~8)	システム	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
Celeste1, 2(セレステ1, 2)	システム	3相の LFO により、音にうねりと広がりを与えるプログラムです。
Flanger1 ~ 5(フランジャー1~5)	システム	ジェットサウンドを作り出す効果です。
Symphonic(シンフォニック)	システム	音にうねりと広がりを与える効果です。
Rotary Speaker1 ~ 6(ロータリースピーカー1~6)	インサージョン	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
Tremolo1 ~ 3(トレモロ1~3)	インサージョン	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
Guitar Tremolo(ギタートレモロ)	インサージョン	エレクトリックギターのトレモロをシミュレートしたものです。
Auto Pan1, 2(オートパン1, 2)	インサージョン	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
Phaser 1, 2(フェイザー1, 2)	システム	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
Distortion Hard(ディストーションハード)	インサージョン	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
Distortion Soft(ディストーションソフト)	インサージョン	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
Distortion Heavy(ディストーションヘビー)	インサージョン	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ヘビー)
Overdrive(オーバードライブ)	インサージョン	音にマイルドな歪みを与えます。
Amp Simulator(ギターアンプシミュレーター)	インサージョン	ギターアンプをシミュレートしたものです。
EQ Disc(イコライザーディスク)	インサージョン	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスク風のエフェクト効果が得られます。
EQ Telephone(イコライザーテレフォン)	インサージョン	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。
3Band EQ(3バンドイコライザー)	インサージョン	LOW, MID, HIGH のイコライジングが可能な MONO EQ です。
2Band EQ(2バンドイコライザー)	インサージョン	LOW, HIGH のイコライジングが可能な STEREO EQ です。ドラムパートに最適です。
Auto Wah1, 2(オートワウ1, 2)	インサージョン	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
No Effect(ノーエフェクト)	-	エフェクトを OFF にします。
Through(スルー)	-	エフェクトをかけずにバイパスします。

ハーモニー/エコータイプリスト

Harmony (ハーモニー)	Due(デュエット)		押鍵音に、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、2声のハーモニーになります。
	1+5		押鍵音の5度上の音が重なり、2音のハーモニーになります。
	Country(カントリー)		押鍵音よりも高い音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、2声のハーモニーになります。
	Tri(トリオ)		押鍵音に、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、3声のハーモニーになります。
	Block		押鍵音に、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声、または5声のハーモニーになります。
	4Way Close1(4ウェイクローズ1)		押鍵音に近い音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声のハーモニーになります。
	4Way Close2(4ウェイクローズ2)		押鍵音に近い音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声のハーモニーになります。 演奏するコードタイプによって、このハーモニータイプはメロディ演奏に華やかでテンションのきいた音を加えます。
	4Way Open(4ウェイオープン)		押鍵音から離れた音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声のハーモニーになります。 押鍵音より2オクターブ低い音が鳴ることもありますので、あまり低い音で弾かないようにしてください。
	Octave(オクターブ)		押鍵音の1オクターブ下の音が付加されます。
Strum(ストラム)		ブロック同様のボイス構成ですが、このタイプはアルペジオで発音します。	
Echo(エコー)	Echo1/4(エコー1/4)		押鍵音に、設定されたテンポでエコー(こだま)効果がかかります。
	Echo1/6(エコー1/6)		
	Echo1/8(エコー1/8)		
	Echo1/12(エコー1/12)		
Tremolo(トレモロ)	Tremolo1/8(トレモロ1/8)		押鍵音に、設定されたテンポでトレモロ効果がかかります。
	Tremolo1/12(トレモロ1/12)		
	Tremolo1/16(トレモロ1/16)		
	Tremolo1/32(トレモロ1/32)		
Trill(トリル)	Trill1/12(トリル1/12)		2つの音を押しえると、それぞれの音が交互に、設定されたテンポで繰り返し発音します。
	Trill1/16(トリル1/16)		
	Trill1/24(トリル1/24)		
	Trill1/32(トリル1/32)		

故障かな？と思ったら

現 象	原因および解決方法
[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がある。	本体に電流が流れるため、故障ではありません。
PSR-540から雑音が出る。	PSR-540の近くで携帯電話を使っていないか(または呼び出し音が鳴っていないか) 確認してください。 PSR-540の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。 PSR-540の近くでは携帯電話の電源を切ってください。
音量が小さくなった。 音質が劣化した。 レジストレーションメモリーが正しく機能しない。 録音内容が正しく再生されない。 突然ディスプレイの表示が消え、パネル設定がリセットされた。	電池が消耗しています。 6本とも新しい電池と交換するか、付属の電源アダプターを使用してください。(12ページ)
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミキサー(76ページ)ボリュームの設定を確認してください。ボリューム値が0の場合は、鍵盤を押さえても音は鳴りません。 ・ローカルコントロール(116ページ)の設定を確認してください。オフに設定されていれば鍵盤を押さえても音は鳴りません。 ・レジストレーションメモリーや録音モードのネーミング機能(21ページ)の画面になっていないか、確認してください。この画面のときは、鍵盤を押さえても音は鳴りません。
同時に押さえた鍵盤の音で鳴らない音がある。 鍵盤演奏をすると、自動伴奏やソングの演奏音が途切れることがある。	PSR-540の最大同時発音数を越えています。鍵盤演奏、自動伴奏、ソングなど、すべての演奏音は最大同時発音数の範囲内であれば正常に発音します。
パネルのボタンを押しても、機能しない。	パネルがディスクモード(25ページ)になっていないか、確認してください。ディスクモードではディスク操作に関連しないボタンは機能しません。
[START/STOP]ボタンを押しても、自動伴奏やソングがスタートしない。またマルチパッドを押しても演奏されない。	MIDIクロックの設定(116ページ)を確認してください。「Ext」に設定している場合は[START/STOP]ボタンを押しても、自動伴奏やソングがスタートしない。またマルチパッドを押しても演奏されません。
シンクロナイゼーションモードであるにもかかわらず、鍵盤を押しても自動伴奏がスタートしない。	自動伴奏オンの場合は、スプリットポイントの右側の鍵盤を押しても自動伴奏はスタートしません。スプリットポイントの左側のコード鍵域を押してください。
自動伴奏に関連するボタンが機能がしない。 ・[SYNC START]ボタン ・[ACMP ON/OFF]ボタン ・レジストレーションメモリーの[FREEZE]ボタン	ソングモード(25ページ)になっていないか確認してください。ソングモードでは自動伴奏に関連するボタンは機能しません。
鍵盤演奏やソング、自動伴奏、マルチパッドの演奏で、特定の音程が正しく鳴らない。	スケールチューニング(119ページ)の設定を確認してください。スケールチューニングの設定をすべて0にすれば、正しい音程で鳴ります。
スプリットポイントに関係なく、自動伴奏のコードが検出されてしまう。	フィンガリングの設定が「Full」になっていないか確認してください。この場合、鍵域でコードが検出されます。
ハーモニーをオンにできない。	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンガリングの設定が「Full」になっていないか確認してください。この場合、ハーモニーは機能しません。 ・ボイスR1にドラムキットを選んでいる場合、ハーモニーは機能しません。他の音色を選んでください。
MIDIケーブルを接続しても、MIDIデータが送受信されない。	HOST SELECT スイッチが「MIDI」以外のところになっていないか確認してください。HOST SELECT スイッチが「MIDI」以外のところになっているとMIDIケーブルを接続してもMIDIデータは送受信できません。

初期化(イニシャライズ)の方法

バックアップデータ

PSR-540のパネル上の設定は、電源を切るとそれぞれの初期設定に戻ります。

ただし、以下のパラメーターについては、電源アダプターを接続している間、または乾電池がセットされている状態ではバックアップ(保持)されています。

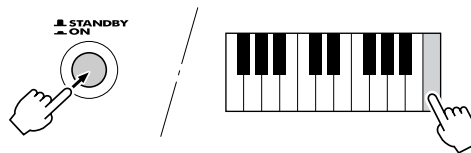
・ユーザースタイルデータ	96ページ
・ユーザーパッドデータ	92ページ
・レジストレーションメモリーデータ	54ページ
・レジストレーションメモリーバンクナンバー	56ページ
・レジストレーションメモリー/ワンタッチセッティング切り替え状態	55ページ
・レジストレーションメモリーフリーズ オン/オフ	55ページ
・MIDI送信設定	114ページ
・MIDI受信設定	115ページ
・ボイスセット オン/オフ	120ページ
・ボイスL設定(ボイスチェンジ、ミキサー、パラメーターエディット)	74ページ
・フィンガリング設定	38ページ
・スプリットポイント	119ページ
・サステイン オン/オフ	30ページ
・オクターブ設定(パートオクターブ)	119ページ
・ピッチベンドレンジ	122ページ
・スケールチューニング	119ページ
・トランスポーズ	30ページ
・フットスイッチ機能、極性	121ページ
・タッチ オン/オフ、タッチセンス	120ページ
・マルチパッド設定	43ページ
・マスターチューニング	119ページ
・メトロノーム オン/オフ	118ページ

初期化(イニシャライズ)の方法

上記のデータも含め、PSR-540のすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行ってください。

1 [STANDBY/ON] スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を切ります。

2 鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら、
[STANDBY/ON] スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。



メモ

初期化を実行すると、バックアップされていた設定は、初期設定値に戻りますのでご注意ください。

PSR-540が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行ってください。

オプション商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥ 4,000
フットスイッチ	FC4	¥ 3,000
	FC5	¥ 1,500
キーボードスタンド	L-6	¥ 8,000
	L-7	¥ 20,000
MIDIケーブル	YAMAHA MIDI-15(15m)	¥ 3,000
	MIDI-03(3m)	¥ 1,100
シリアルケーブル	YAMAHA CCJ-PC1NF	¥ 3,000
ソフトケース	SCC-35	¥ 10,000

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

エラーメッセージリスト

No File

ディスク操作(ロード、コピー、デリート)の際に、ディスクにファイルが無い場合に表示されます。

Unformatted

未フォーマットのディスクをディスクドライブに挿入すると表示されます。

Disk Error

フォーマット、ロード、セーブ、デリート、コピーなどの実行中にエラーが生じた場合に表示されます。

ディスクを交換してください。

また、ディスクからデータをロードする際、ディスクがこわれていたり、内蔵メモリー容量がいっぱいでロードできなくなった場合にも表示されます。

Write-protected

ディスクのライトプロテクトがオン(タブの窓が開いた状態 58ページ)になっていて、セーブなどディスクへの書き込みができない場合に表示されます。ディスクを取り出し、ライトプロテクトをオフにしてからもう1度ディスクを挿入してください。

File Protected

市販のディスクでファイルにプロテクトがかかっている場合に表示されます。この場合、コピーやデリートなどができません。

No Disk

ディスクドライブにフロッピーディスクが入っていません。

Disk Removed

セーブ、ロード、コピーなどディスクからの読み取り中、ディスクへの書き込み中にディスクが抜かれました。

Disk Full

ディスクの容量がいっぱいになり、これ以上ディスクに書き込めません。不要なファイルを削除(デリート)しましょう。

Wrong Disk

違うディスクへのソングコピー操作の際(64ページ)に、関係ないディスクが挿入されました。

正しいディスクを挿入してください。

Same Name

新しいファイルに名前をつける場合、同じ名前のファイルがすでにディスクにあります。

Maximum 60 Songs

ディスクへのソング録音は60曲までです。60曲を越えて録音しようとする则表示されます。

Memory Full

ユーザースタイル、ユーザーパッドの録音中に内蔵メモリーの容量がいっぱいになった時に表示されます。

Memory Over

スタイル録音モードで、内蔵メモリー容量がいっぱいのときにクオンタイズや録音しようとする则表示されます。

Data Not Found

録音モードで、録音データが無いトラックに対してクオンタイズやクリアなどの編集をしようとすると、表示されるメッセージです。

User Style Full

ユーザースタイル3個すべてにデータが録音されている場合に、新規にスタイル録音をスタートさせようとする则表示されるメッセージです。録音スタート前に、3個のうち少なくとも1個はクリアしてから録音をスタートさせてください。

Preset Data

ユーザースタイル録音モードで、リズムトラック以外のトラックのプリセットデータに対してクオンタイズなどの編集をしようとすると、表示されるメッセージです。

Cannot Operate

録音中に操作できないボタンを押した場合に表示されます。

Cannot Set MIDI

録音中、再生中などMIDI設定ができない場合にMIDI設定しようとする则表示されます。

Cannot Turn Har. On

ユーザースタイル録音中、ユーザーパッド録音中はハーモニーをオンにできません。

Cannot Turn DSP On

ユーザースタイル録音中、ユーザーパッド録音中はDSPを使えません。

Cannot Enter Func.

マルチパッド録音モードの時に、FUNCTIONの「Multi Pad」を選ぶ则表示されます。マルチパッド録音モードではFunctionの「Multi Pad」には入れません。

Backup Error

内蔵メモリーのバックアップデータ(135ページ)が壊れています。初期化(135ページ)をしてください。

Now Initializing

内蔵メモリーのバックアップデータを初期化(135ページ)しています。

Host Is Offline

ホストセレクトスイッチを「PC-1」「PC-2」に設定し、シリアルケーブルをTO HOST端子に接続した状態でコンピューターにケーブルが接続されていない場合、または、接続されているがコンピューターの電源が入っていない場合に表示されます。

Battery Low

電池が少なくなってくると数秒ごとに表示されます。12ページの説明に注意して乾電池を交換してください。

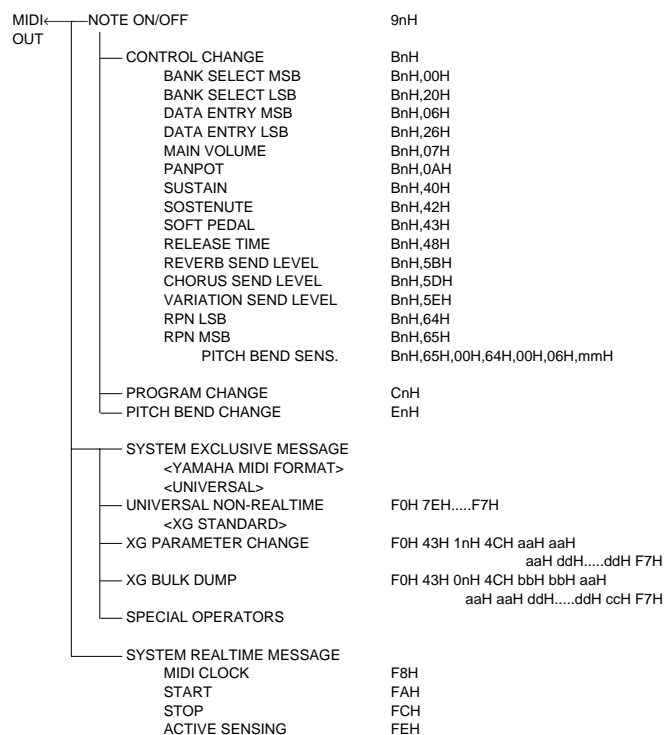
MIDIデータフォーマット

「MIDIデータフォーマット」は、データ/値を10進数や2進数、16進数で表現しています。16進数の場合は数値の(後 または列の頭)にH(Hexadecimal)が付いています。また、「n」は任意の整数を表します。データ/値を入力する場合は、以下のテーブルをご参照ください。

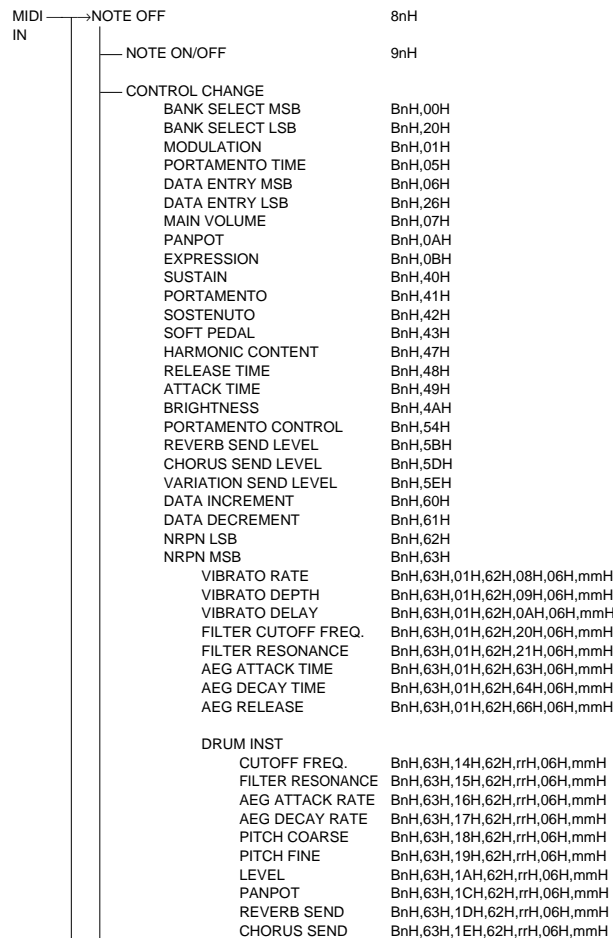
10進数	16進数	2進数	10進数	16進数	2進数
0	00	0000 0000	64	40	0100 0000
1	01	0000 0001	65	41	0100 0001
2	02	0000 0010	66	42	0100 0010
3	03	0000 0011	67	43	0100 0011
4	04	0000 0100	68	44	0100 0100
5	05	0000 0101	69	45	0100 0101
6	06	0000 0110	70	46	0100 0110
7	07	0000 0111	71	47	0100 0111
8	08	0000 1000	72	48	0100 1000
9	09	0000 1001	73	49	0100 1001
10	0A	0000 1010	74	4A	0100 1010
11	0B	0000 1011	75	4B	0100 1011
12	0C	0000 1100	76	4C	0100 1100
13	0D	0000 1101	77	4D	0100 1101
14	0E	0000 1110	78	4E	0100 1110
15	0F	0000 1111	79	4F	0100 1111
16	10	0001 0000	80	50	0101 0000
17	11	0001 0001	81	51	0101 0001
18	12	0001 0010	82	52	0101 0010
19	13	0001 0011	83	53	0101 0011
20	14	0001 0100	84	54	0101 0100
21	15	0001 0101	85	55	0101 0101
22	16	0001 0110	86	56	0101 0110
23	17	0001 0111	87	57	0101 0111
24	18	0001 1000	88	58	0101 1000
25	19	0001 1001	89	59	0101 1001
26	1A	0001 1010	90	5A	0101 1010
27	1B	0001 1011	91	5B	0101 1011
28	1C	0001 1100	92	5C	0101 1100
29	1D	0001 1101	93	5D	0101 1101
30	1E	0001 1110	94	5E	0101 1110
31	1F	0001 1111	95	5F	0101 1111
32	20	0010 0000	96	60	0110 0000
33	21	0010 0001	97	61	0110 0001
34	22	0010 0010	98	62	0110 0010
35	23	0010 0011	99	63	0110 0011
36	24	0010 0100	100	64	0110 0100
37	25	0010 0101	101	65	0110 0101
38	26	0010 0110	102	66	0110 0110
39	27	0010 0111	103	67	0110 0111
40	28	0010 1000	104	68	0110 1000
41	29	0010 1001	105	69	0110 1001
42	2A	0010 1010	106	6A	0110 1010
43	2B	0010 1011	107	6B	0110 1011
44	2C	0010 1100	108	6C	0110 1100
45	2D	0010 1101	109	6D	0110 1101
46	2E	0010 1110	110	6E	0110 1110
47	2F	0010 1111	111	6F	0110 1111
48	30	0011 0000	112	70	0111 0000
49	31	0011 0001	113	71	0111 0001
50	32	0011 0010	114	72	0111 0010
51	33	0011 0011	115	73	0111 0011
52	34	0011 0100	116	74	0111 0100
53	35	0011 0101	117	75	0111 0101
54	36	0011 0110	118	76	0111 0110
55	37	0011 0111	119	77	0111 0111
56	38	0011 1000	120	78	0111 1000
57	39	0011 1001	121	79	0111 1001
58	3A	0011 1010	122	7A	0111 1010
59	3B	0011 1011	123	7B	0111 1011
60	3C	0011 1100	124	7C	0111 1100
61	3D	0011 1101	125	7D	0111 1101
62	3E	0011 1110	126	7E	0111 1110
63	3F	0011 1111	127	7F	0111 1111

- 上記のテーブル以外でも、たとえば、144 ~ 159(10進数)9nH/1001 0000 ~ 1001 1111(2進数)は、それぞれ(1 ~ 16)チャンネルごとのノートオンメッセージを示します。176 ~ 191(BnH/1011 0000 ~ 1011 1111)は、それぞれ(1 ~ 16)チャンネルごとのコントロールチェンジメッセージを示します。192 ~ 207(CnH/1100 0000 ~ 1100 1111)は、それぞれ(1 ~ 16)チャンネルごとのプログラムチェンジメッセージを示します。240(F0H/1111 0000)は、システムエクスクルーシブメッセージの始まりを示します。247(F7H/1111 0111)は、システムエクスクルーシブメッセージの終わりを示します。
- aaH(16進数)0aaaaaa(2進数)はデータのアドレスを示します。アドレスは、High、MidとLowがあります。
- bbH/0bbbbbbはバイトカウントを示します。
- ccH/0ccccccはチェックサムを示します。
- ddH/0ddddddはデータ/値を示します。

(1)送信



(2)受信



VARIATION SEND	BnH,63H,1FH,62H,rrH,06H,mmH
RPN LSB	BnH,64H
RPN MSB	BnH,65H
PITCH BEND SENS.	BnH,65H,00H,64H,00H,06H,mmH
FINE TUNING	BnH,65H,00H,64H,01H,06H,mmH,26H,IIH
COARSE TUNING	BnH,65H,00H,64H,02H,06H,mmH
NULL	BnH,65H,7FH,64H,7FH
ALL SOUND OFF	BnH,78H,00H
RESET ALL CONTROLLERS	BnH,79H,00H
ALL NOTES OFF	BnH,7BH,00H
OMNI OFF	BnH,7CH,00H
OMNI ON	BnH,7DH,00H
MONO	BnH,7EH
POLY	BnH,7FH
PROGRAM CHANGE	CnH
CHANNEL AFTER TOUCH	DnH
PITCH BEND CHANGE	EnH
SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE	
<YAMAHA MIDI FORMAT>	
<UNIVERSAL>	
UNIVERSAL REALTIME	F0H 7FH.....F7H
UNIVERSAL NON-REALTIME	F0H 7EH.....F7H
<XG STANDARD>	
XG PARAMETER CHANGE	F0H 43H 1nH 4CH aaH aaH aaH ddH.....ddH F7H
XG BULK DUMP	F0H 43H 0nH 4CH bbH bbH aaH aaH aaH ddH.....ddH cCH F7H
PARAMETER REQUEST	F0H 43H 3nH 4CH aaH aaH aaH F7H
DUMP REQUEST	F0H 43H 2nH 4CH aaH aaH aaH F7H
SPECIAL OPERATORS	
Others	
SYSTEM REALTIME MESSAGE	
MIDI CLOCK	F8H
START	FAH
STOP	FCH
ACTIVE SENSING	FEH

(3) 送信 / 受信

(3-1) CHANNEL VOICE MESSAGES

(3-1-1) NOTE OFF(受信のみ)

STATUS	100nnnn(8nH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk	k = 0 (C-2) - 127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvv	vは無視

(3-1-2) NOTE ON/OFF

STATUS	1001nnnn(9nH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk	k = 0 (C-2) - 127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvv	(v = 0) NOTE ON
	00000000	(v = 0) NOTE OFF

(3-1-3) PROGRAM CHANGE

STATUS	1100nnnn(CnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	0ppppppp	p = 0 - 127

* XG DRUM VOICE番号とPROGRAM NUMBERとの対応

P = 0	Standard Kit
P = 1	Standard2 Kit
P = 8	Room Kit
P = 16	Rock Kit
P = 24	Elctnic Kit
P = 25	Analog Kit
P = 27	Dance Kit
P = 32	Jazz Kit
P = 40	Brush Kit
P = 48	Symphonic Kit

* XG SFX KIT番号とPROGRAM NUMBERとの対応

P = 0	SFX1 Kit
P = 1	SFX2 Kit

ドラムボイスが選ばれているときに異なるドラムボイスのプログラムチェンジを受信すると、その時ドラムボイスで使用していたドラムセットアップデータは、新しいドラムボイスのデータにリセットされる。

(3-1-4) CHANNEL AFTER TOUCH(受信のみ)

STATUS	1101nnnn(DnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
VALUE	0vvvvvv	v = 0 - 127 AFTER TOUCH VALUE

(3-1-5) PITCH BEND CHANGE

STATUS	1110nnnn(EnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
LSB	0vvvvvv	PITCH BEND CHANGE LSB
MSB	0vvvvvv	PITCH BEND CHANGE MSB

(3-1-6) CONTROL CHANGE

STATUS	1011nnnn(BnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	0ccccccc	
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	

* 送信する CONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0:XG NORMAL, 64:SFX NORMAL, 126:XG SFX KIT, 127:XG DRUM
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127
c = 6	DATA ENTRY MSB	; v = 0 - 127 *1
c = 38	DATA ENTRY LSB	; v = 0 - 127 *1
c = 7	MAIN VOLUME	; v = 0 - 127
c = 10	PANPOT	; v = 0 - 127
c = 64	SUSTAIN	; v = 0-63:OFF, 64-127:ON *2
c = 66	SOSTENUTO	; v = 0-63:OFF, 64-127:ON *2
c = 67	SOFT PEDAL	; v = 0-63:OFF, 64-127:ON *2
c = 72	RELEASE TIME	; v = 0-64 - 64:0 - 127:+63
c = 91	REVERB SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 93	CHORUS SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 94	VARIATION SEND LEVEL	; v = 0 - 127 (Connection=1[System]の時のみ)
c = 100	RPN LSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 101	RPN MSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照

* 受信する CONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0:XG NORMAL, 64:SFX NORMAL, 126:XG SFX KIT, 127:XG DRUM
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127
c = 1	MODULATION	; v = 0 - 127 *2
c = 5	PORTAMENTO TIME	; v = 0 - 127 *2
c = 6	DATA ENTRY MSB	; v = 0 - 127 *1
c = 38	DATA ENTRY LSB	; v = 0 - 127 *1
c = 7	MAIN VOLUME	; v = 0 - 127
c = 10	PANPOT	; v = 0 - 127
c = 11	EXPRESSION	; v = 0 - 127
c = 64	SUSTAIN	; v = 0-63:OFF, 64-127:ON *2
c = 65	PORTAMENTO	; v = 0-63:OFF, 64-127:ON *2
c = 66	SOSTENUTO	; v = 0-63:OFF, 64-127:ON *2
c = 67	SOFT PEDAL	; v = 0-63:OFF, 64-127:ON *2
c = 71	HARMONIC CONTENT	; v = 0-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 72	RELEASE TIME	; v = 0-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 73	ATTACK TIME	; v = 0-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 74	BRIGHTNESS	; v = 0-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 84	PORTAMENT CONTROL	; v = 0 - 127 *2
c = 91	REVERB SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 93	CHORUS SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 94	VARIATION SEND LEVEL	; v = 0 - 127 (Connection=1[System]の時のみ)
c = 96	DATA INCREMENT	; v = 0 - 127 *1
c = 97	DATA DECREMENT	; v = 0 - 127 *1
c = 98	NRPN LSB	(3-4)NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 99	NRPN MSB	(3-4)NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 100	RPN LSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 101	RPN MSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照

*1 RPN, NRPNで指定パラメーターを設定する時のみ用いる。

*2 リズム音色に対しては無効。

・ PROGRAM CHANGEを受信するまで、BANK SELECTの処理は保留される。ボイスバンクを含めて、ボイスを変更する場合、BANK SELECTとプログラムチェンジメッセージをセットにして、BANK SELECT MSB,LSB,PROGRAM CHANGEの順で送信すること。

・ MODULATION はピッチの深さをコントロールする。

・ PORTAMENTO TIMEはPortamento Switch = ON の時のピッチ変化速度を調節する。0でポルタメント最短時間、127でポルタメント最長時間となる。

・ PANPOTはメロディ音色、リズム音色とも音色のプリセット値に対し相対的に変化する。

・ PORTAMENT CONTROL において、ポルタメントタイムは常に0に固定。

・ HARMONIC CONTENTは、音色で設定されているレゾナンスを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。値が大きくなるほどクセのある音になる。音色により、効果のある範囲が設定できる範囲より狭い場合がある。

・ RELEASE TIMEは、音色で設定されているエンベロープ リリース タイムを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。

・ ATTACK TIMEは、音色で設定されているエンベロープ アタック タイムを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。

・ BRIGHTNESSは、音色で設定されているカットオフ周波数を調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。値が小さくなるほど柔らかな音になる。音色により、効果のある範囲が設定できる範囲より狭い場合がある。

MIDIデータフォーマット

(3-2) CHANNEL MODE MESSAGES

STATUS 1011nnnn(BnH) n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
 CONTROL NUMBER 0ccccccc c = CONTROL NUMBER
 CONTROL VALUE 0vvvvvvv v = DATA VALUE

(3-2-1) ALL SOUND OFF (受信のみ)

(CONTROL NUMBER = 78H, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルの発音中の音をすべて消音する。
 ノート・オンやホールド・オンなどのチャンネルメッセージの状態も消去する。

(3-2-2) RESET ALL CONTROLLERS (受信のみ)

(CONTROL NUMBER = 79H, DATA VALUE = 0)

以下のコントローラーの設定値をリセットする。
 PITCH BEND CHANGE 0 (中点)
 AFTER TOUCH 0 (最小)
 MODULATION 0 (最小)
 EXPRESSION 127 (最大)
 SUSTAIN 0 (オフ)
 SOSTENUTO 0 (オフ)
 SOFT PEDAL 0 (オフ)
 NRPN 番号未設定状態、内部データは変化しない
 RPN 番号未設定状態、内部データは変化しない
 PORTAMENTO CONTROL リセット
 PORTAMENTO 0 (オフ)

(3-2-3) ALL NOTES OFF (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7BH, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルのオンしているノートをすべてオフする。ただし、サステインまたはソフトウェアオンの場合は、それらがオフになるまで発音は終了しない。

(3-2-4) OMNI OFF (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7CH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFF を受信したときと同じ処理を行う。

(3-2-5) OMNI ON (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7DH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFF を受信したときと同じ処理を行う。
 OMNI ONにはならない。

(3-2-6) MONO (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7EH, DATA VALUE = 0)

ALL SOUND OFF を受信したときと同じ処理を行なう。
 3rd byte(モノ数)が0 - 16の範囲内であれば該当チャンネルを Mode4(m = 1)にする。

(3-2-7) POLY (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7FH, DATA VALUE = 0)

ALL SOUND OFF を受信したときと同じ処理を行ない、該当チャンネルを Mode3 にする。

(3-3) REGISTERED PARAMETER NUMBER (RPN)

STATUS 1011nnnn(BnH) n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
 RPN LSB 01100100(64H)
 RPN LSB NUMBER 0ppppppp p = RPN LSB(下表参照)
 RPN MSB 01100101(65H)
 RPN MSB 0qqqqqqq q = RPN MSB(下表参照)
 DATA ENTRY MSB 00000110(06H)
 DATA VALUE 0mmmmmmm m = Data Value
 DATA ENTRY LSB 00100110(26H)
 DATA VALUE 0lllllll l = Data Value

まず RPN MSB/LSB でパラメーターを指定し、その後データエントリー-MSB/LSB でそのパラメーターの値を設定する。

RPN MSB	RPN LSB	D.ENTRY MSB	D.ENTRY LSB	PARAMETER NAME	DATA RANGE
00H	00H	mmH		PITCH BEND SENSITIVITY	00H - 18H (0 - 24 半音)
01H	00H	mmH	lllH	FINE TUNE	{mmH, lllH} = {00H, 00H} - {40H, 00H} - {7FH, 7FH} (-8192*100/8192) - 0 - (+8192*100/8192)
02H	00H	mmH		COARSE TUNE	28H - 40H - 58H (-24 - 0 - +24 半音)
7FH	7FH			NULL	RPN番号が指定されていない状態になる。内部の設定値には影響しない。

(3-4) NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER (NRPN) (受信のみ)

STATUS 1011nnnn(BnH) n = 0 - 15
 VOICE CHANNEL NUMBER
 NRPN LSB 01100010(62H)
 NRPN LSB NUMBER 0ppppppp p = NRPN LSB(下表参照)
 NRPN MSB 01100011(63H)
 NRPN MSB NUMBER 0qqqqqqq q = NRPN MSB(下表参照)
 DATA ENTRY MSB 00000110(06H)
 DATA VALUE 0mmmmmmm m = Data Value

まず NRPN MSB/LSB でパラメーターを指定し、その後データエントリー-MSB/LSB でそのパラメーターの値を設定する。

NRPN MSB	NRPN LSB	D.ENTRY MSB	D.ENTRY LSB	PARAMETER NAME	DATA RANGE
01H	08H	mmH		VIBRATO RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	09H	mmH		VIBRATO DEPTH	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	0AH	mmH		VIBRATO DELAY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)

01H	20H	mmH		FILTER CUTOFF FREQUENCY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	21H	mmH		FILTER RESONANCE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	63H	mmH		EG ATTACK TIME	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	64H	mmH		EG DECAY TIME	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	66H	mmH		EG RELEASE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
14H	rrH	mmH		DRUM FILTER CUTOFF FREQ.	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
15H	rrH	mmH		DRUM FILTER RESONANCE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
16H	rrH	mmH		DRUM AEG ATTACK RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
17H	rrH	mmH		DRUM AEG DECAY RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
18H	rrH	mmH		DRUM PITCH COARSE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
19H	rrH	mmH		DRUM PITCH FINE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
1AH	rrH	mmH		DRUM LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1CH	rrH	mmH		DRUM PANPOT	00H, 01H - 40H - 7FH (random, left - center - right)
1DH	rrH	mmH		DRUM REVERB SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1EH	rrH	mmH		DRUM CHORUS SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1FH	rrH	mmH		DRUM VARIATION SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)

MSB 14H-1FH(ドラム用)はそのチャンネルにドラムボイスがアサインされている場合のみ有効。

rrH : drum instrument note number

(3-5) SYSTEM REALTIME MESSAGES

(3-5-1) MIDI CLOCK

STATUS 11111000 (F8H)

送信 : 96分 Timing で送信する。

受信 : 楽器本体の Clock が External に変更された場合、外部接続機器からの FAH 受信後に96分 Timing として外部からの Clock を受信し、同期ようになる。Tempo用 Timing Clock として内部 Clock を使用するかまたは MIDI IN から入る Timing Clock を使用するかの選択が行える。

(3-5-2) START

STATUS 11111010 (FAH)

送信 : 楽器本体のオートアカンパニメント、ソング再生がスタートしたときに出力される。
 受信 : 楽器本体の状態によるが、オートアカンパニメント、ソング再生、ソング録音がスタートする。
 クロックモードが内部(Ext. ClockがInternal)の場合は、FAHは受信しない。

(3-5-3) STOP

STATUS 11111100 (FCH)

送信 : 楽器本体のオートアカンパニメント、ソング再生がストップしたときに出力される。
 受信 : 楽器本体の状態によるが、オートアカンパニメント、ソング再生、ソング録音がストップする。

(3-5-4) ACTIVE SENSING

STATUS 11111110 (FEH)

約 200 msec 毎に送信する。

このCodeを一度受信すると、Sensingを開始する。約400 msec 以上の間、StatusもDataも来ない時は、MIDI 受信 BufferをClearし、発音している音とSustainを強制的にOFFにする。また、各Control情報の値は初期設定値にリセットする。

(3-6) SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE

(3-6-1) YAMAHA MIDI FORMAT

(3-6-1-1) SECTION CONTROL

2進	16進	Exclusive status
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01111110	7E	Style
00000000	00	
0s8sssss	SS	Switch No.
	00H	: INTRO A
	01H - 07H	: INTRO B
	08H	: MAIN A
	09H - 0FH	: MAIN B
	10H	: FILL IN A
	11H - 1FH	: FILL IN B
	20H	: ENDING A
	21H - 27H	: ENDING B
0ddddd	DD	Switch On/Off: 00H(Off), 7FH(On)
11110111	F7	End of Exclusive

ONコードを受信すると指定したセクションに変化する。

(3-6-1-2) TEMPO CONTROL

2進	16進	Exclusive status
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01111110	7E	Style
00000000	01	
0ttttttt	TT	Tempo4
0ttttttt	TT	Tempo3
0ttttttt	TT	Tempo2
0ttttttt	TT	Tempo1
11110111	F7	End of Exclusive

内部クロックを受信したテンポ値に変更する。
 Tempo4からTempo1はSMFのテンポメタイベント値24ビットを下位から7ビット毎に分割し、Tempo1から格納する。

(3-6-2) UNIVERSAL SYSTEM EXCLUSIVE

(3-6-2-1) UNIVERSAL REALTIME MESSAGE

(3-6-2-1-1) MIDI MASTER VOLUME(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01111111	7F	Universal Realtime
01111111	7F	ID of target Device
00000100	04	Sub-ID #1=Device Control Message
00000001	01	Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss	SS	Volume LSB
0tttttt	TT	Volume MSB
11110111	F7	End of Exclusive
または		
11110000	F0	Exclusive status
01111111	7F	Universal Realtime
0xxxxxxx	XN	When N is received N=0-F, whichever is received. When N is transmitted N always=0. X = don't care
00000100	04	Sub-ID #1=Device Control Message
00000001	01	Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss	SS	Volume LSB
0tttttt	TT	Volume MSB
11110111	F7	End of Exclusive

全チャンネルの VOLUME を一括で変更する。
TT の値をMIDI マスターボリューム値として用いる。(SS の値は無視)

(3-6-2-2) UNIVERSAL NON REALTIME MESSAGE

(3-6-2-2-1) GENERAL MIDI SYSTEM ON

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01111110	7E	Universal Non-Realtime
01111111	7F	ID of target Device
00001001	09	Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001	01	Sub-ID #2=General MIDI On
11110111	F7	End of Exclusive
または		
11110000	F0	Exclusive status
01111110	7E	Universal Non-Realtime
0xxxxxxx	XN	When N is received N=0-F, whichever is received. When N is transmitted N always=0. X = don't care
00001001	09	Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001	01	Sub-ID #2=General MIDI On
11110111	F7	End of Exclusive

On を受信することにより、SYSTEM MODE がXG に変更される。MIDI マスターチューニングを除く全てのControlデータ設定値をDefaultに戻す。このメッセージの実行には、約50msかかるため、次のメッセージとの間隔を注意すること。GM ON受信後は、以下のMessageに制限がかかる。

10ChでのBank Select MSB/LSBは、無視され、Drum音色固定となる。

10Ch以外でのBank Select MSB/LSBは、127/0以外は、無視する。

NRPNは受信しない。

XG ONを受信すると、これらの制限は解除される。

(3-6-3) XG STANDARD

(3-6-3-1) XG PARAMETER CHANGE

(3-6-3-1-1) XG SYSTEM ON

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1N	Device Number
01001100	4C	Model ID
00000000	00	Address High
00000000	00	Address Mid
01111110	7E	Address Low
00000000	00	Data
11110111	F7	End of Exclusive

Onを受信することにより、SYSTEM MODEがXGに変更される。ControllerがResetされ、付表のMultiPart, Effectのすべてのデータと、All Systemのうち(XG)と記されているデータすべての設定値が、Default値になる。

このメッセージの実行には、約50msかかるため、次のメッセージとの間隔を注意すること。

(3-6-3-1-2) XG PARAMETER CHANGE

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1N	Device Number
01001100	4C	Model ID
0aaaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaaa	AA	Address Low
0ddddddd	DD	Data
↓	↓	
11110111	F7	End of Exclusive

Data Sizeが2または4のパラメーターは、そのSize分のデータを送信する。
AddressおよびParameterについては、付表1-2~1-5を参照すること。

以下の種類のデータを送受信する。

System Data
Multi Effect1 Data
Multi Part Data
Drums Setup Data

(3-6-3-2) XG BULK DUMP

2進	16進	
01110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0000nnnn	0N	Device Number
01001100	4C	Model ID
0bbbbbbb	BB	ByteCount MSB
0bbbbbbb	BB	ByteCount LSB
0aaaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaaa	AA	Address Low
0ddddddd	DD	Data
↓	↓	
0ccccccc	CC	Check sum
11110111	F7	End of Exclusive

AddressおよびByte Countは、付表1-2~1-5(P.???~???)を参照すること。
Check sumはByte Count、Start Address、Data、Check sum自身を加算した値の下位7bitがゼロになる値である。

XG バルクダンプ、バルクリクエストでは Address にブロックの先頭を指定した場合のみ受信する。

ブロックとは付表中 Total Size として括られるデータ列の単位を示す。

以下の種類のデータを送受信する。(送信はBulk Dump Requestを受信した時のみ)

System Data
System Information (送信のみ)
Multi Effect1 Data
Multi Part Data
Drums Setup Data

(3-6-3-3) XG PARAMETER REQUEST(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0011nnnn	3n	Device Number
01001100	4C	Model ID
0aaaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaaa	AA	Address Low
11110111	F7	End of Exclusive

AddressおよびByte Countは、付表1-2~1-5(P.???~???)を参照すること。

以下の種類のデータを受信する。

System Data
Multi Effect1 Data
Multi Part Data
Drums Setup Data

(3-6-3-4) XG DUMP REQUEST(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0010nnnn	2n	Device Number
01001100	4C	Model ID
00aaaaaaaa	AA	Address High
00aaaaaaaa	AA	Address Mid
00aaaaaaaa	AA	Address Low
11110111	F7	End of Exclusive

AddressおよびByte Countは、付表1-2~1-5(P.???~???)を参照すること。

以下の種類のデータを受信する。

System Data
System Information
Multi Effect1 Data
Multi Part Data
Drums Setup Data

(3-6-4) CLAVINOVA MIDI COMPLIANCE

(3-6-4-1) DOC MULTI TIMBRE ON / OFF(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
00000001	01	Clavinova common ID
0001000n	1N	N: 3(DOC Multi Timbre Off),4(DOC Multi Timbre On)
11110111	F7	End of Exclusive

(3-6-4-2) MIDI FA CANCEL(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
00000001	01	Clavinova common ID
01100001	61	MIDI FA Cancel
11110111	F7	End of Exclusive

このメッセージを受信すると[FAH]を受けてもリズムがスタートしないようになる。

MIDIデータフォーマット

(3-6-5) SPECIAL OPERATORS

(3-6-5-1) VOLUME, EXPRESSION AND PAN REALTIME CONTROL OFF

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010001	11	Sub ID	
0000nnnn	0N	N = MIDI Channel	
01000101	45	Volume and Expression Realtime Control Off	
0vvvvvvv	VV	Value VV: Off=7FH, on=OOH	
11110111	F7	End of Exclusive	

このExclusiveのOnを受信するとその後のVolume, Expression, PANの変更はキーオン時のみ有効になる。Offを受信すると通常に戻る。

(3-6-6) Others

(3-6-6-1) MIDI MASTER TUNING(受信のみ)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
0001nnnn	1N	When N is received N=0-F, whichever is received. When N is transmitted N always=0.	
00100111	27	Model ID	
00110000	30	Sub ID	
00000000	00		
00000000	00		
0mmmmmmMM		Master Tune MSB	
0lllllll	LL	Master Tune LSB	
0ccccccc	CC	don't care	
11110111	F7	End of Exclusive	

全チャンネルの TUNING を一括で変更する。

MM, LL の値をMIDI マスターチューニング値として用いる。(N及びCCの値は無視)

T = M-128

T : 実際のチューニング値(-99cent - +99cent)

M : MM の0-3ビットを MSB、LLの0-3ビットを LSB とする 1 バイトの値(28-228)

この設定はGMシステムオン、XGシステムオンでリセットされない。

< 付表 1-1 > Parmeter Basic Address

	Parameter Change Address			Description			
	(H)	(M)	(L)		Address	Parameter	
SYSTEM	00	00	00	System			
	00	00	7D	Drum Setup Reset			
	00	00	7E	XG System On			
	00	00	7F	All Parameter Reset			
INFORMATION	01	00	00	System Information			
EFFECT 1	02	01	00	Effect1(Reverb, Chorus, Variation)			
MULTI PART	08	00	00	Multi Part 1			
			:				
	08	0F	00	Multi Part 16			
DRUM	30	0D	00	Drum Setup 1	Address	Parameter	
	31	0D	00	Drum Setup 2	:	:	
					3n	0D	0
					3n	0E	0
					:	:	
					3n	5B	0
							note number 13
							note number 14
							:
							note number 91

< 付表 1-2 > MIDI Parameter Change table (SYSTEM)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
00 00	4	0000	Master Tune	-102.4..+102.3[cent]	00 04 00 00
01		..07FF		1st bit3-0 → bit15-12	(400)
02				2nd bit3-0 → bit11-8	(XG GM onでResetされない)
03				3rd bit3-0 → bit7-4	
				4th bit3-0 → bit3-0	
04	1	00..7F	Master Volume	0..127	7F
05	1		Not Used		
06	1	28..58	Transpose	-24..+24[semitones]	40
7D	0n	0n	Drum Setup Reset	0n=Drum Setup Number	
7E	00	00	XG System On	00=XG Sytem on	
7F	00	00	All Parameter Reset	00=on (receive only)	
TOTAL SIZE	7				

< 付表 1-3 > MIDI Parameter table (System information)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description
01 00	E	20..7F	Model Name	32..127(ASCII)
:				
0D				
0E	1	00		
0F	1	00		
TOTAL SIZE	10			

(Dump Requestにより送信される。受信は行なわない。Bulk Dump Only)

< 付表 1-4 > MIDI Parameter Change table (EFFECT)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
02 01 00	2	00..7F	Reverb Type MSB	Ef. Type List 参照	01(=HALL1)
		00..7F	Reverb Type LSB	00 : basic type	00
	02	00..7F	Reverb Parameter 1	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	03	00..7F	Reverb Parameter 2	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	04	00..7F	Reverb Parameter 3	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	05	00..7F	Reverb Parameter 4	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	06	00..7F	Reverb Parameter 5	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	07	00..7F	Reverb Parameter 6	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	08	00..7F	Reverb Parameter 7	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	09	00..7F	Reverb Parameter 8	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	0A	00..7F	Reverb Parameter 9	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	0B	00..7F	Reverb Parameter 10	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	0C	00..7F	Reverb Return	- ..0..+6dB(0..64..127)	40
	0D	01..7F	Reverb Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
TOTAL SIZE 0E					
02 01 10	1	00..7F	Reverb Parameter 11	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	11	00..7F	Reverb Parameter 12	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	12	00..7F	Reverb Parameter 13	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	13	00..7F	Reverb Parameter 14	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	14	00..7F	Reverb Parameter 15	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	15	00..7F	Reverb Parameter 16	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
TOTAL SIZE 6					
02 01 20	2	00..7F	Chorus Type MSB	Effect Type List 参照	41(=Chorus1)
		00..7F	Chorus Type LSB	00 : basic type	00
	22	00..7F	Chorus Parameter 1	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	23	00..7F	Chorus Parameter 2	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	24	00..7F	Chorus Parameter 3	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	25	00..7F	Chorus Parameter 4	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	26	00..7F	Chorus Parameter 5	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	27	00..7F	Chorus Parameter 6	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	28	00..7F	Chorus Parameter 7	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	29	00..7F	Chorus Parameter 8	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	2A	00..7F	Chorus Parameter 9	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	2B	00..7F	Chorus Parameter 10	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	2C	00..7F	Chorus Return	- ..0..+6dB(0..64..127)	40
	2D	01..7F	Chorus Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
	2E	00..7F	Send Chorus To Reverb	- ..0..+6dB(0..64..127)	00
TOTAL SIZE 0F					
02 01 30	1	00..7F	Chorus Parameter 11	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	31	00..7F	Chorus Parameter 12	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	32	00..7F	Chorus Parameter 13	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	33	00..7F	Chorus Parameter 14	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	34	00..7F	Chorus Parameter 15	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	35	00..7F	Chorus Parameter 16	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
TOTAL SIZE 6					
02 01 40	2	00..7F	Variation Type MSB	Ef. Type List 参照	05(=DELAY L,C,R)
		00..7F	Variation Type LSB	00 : basic type	00
	42	00..7F	Vari. Param. 1 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 1 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	44	00..7F	Vari. Param. 2 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 2 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	46	00..7F	Vari. Param. 3 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 3 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	48	00..7F	Vari. Param. 4 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 4 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	4A	00..7F	Vari. Param. 5 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 5 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	4C	00..7F	Vari. Param. 6 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 6 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	4E	00..7F	Vari. Param. 7 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 7 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	50	00..7F	Vari. Param. 8 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 8 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	52	00..7F	Vari. Param. 9 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 9 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	54	00..7F	Vari. Param. 10 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 10 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
	56	00..7F	Variation Return	- ..0..+6dB(0..64..127)	40
	57	01..7F	Variation Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
	58	00..7F	Send Vari. To Reverb	- ..0..+6dB(0..96..127)	00
	59	00..7F	Send Vari. To Chorus	- ..0..+6dB(0..96..127)	00
	5A	00..01	Variation Connection	0:insertion,1:system	00
	5B	00..7F	Variation Part	part1..16(0..15), off(16..63,65..127), AD1(64)	7F
	5C	00..7F	MW Vari. Ctrl Depth	-63..+63	40
	5D	00..7F	PB Vari. Ctrl Depth	-63..+63	40
	5E	00..7F	CAT Vari. Ctrl Depth	-63..+63	40
	5F	1	Not Used		
	60	1	Not Used		
TOTAL SIZE 21					
02 01 70	1	00..7F	Variation Parameter 11	option Parameter	Depend on Variation Type
	71	00..7F	Variation Parameter 12	option Parameter	Depend on Variation Type
	72	00..7F	Variation Parameter 13	option Parameter	Depend on Variation Type
	73	00..7F	Variation Parameter 14	option Parameter	Depend on Variation Type
	74	00..7F	Variation Parameter 15	option Parameter	Depend on Variation Type
	75	00..7F	Variation Parameter 16	option Parameter	Depend on Variation Type
TOTAL SIZE 6					

MIDIデータフォーマット

< 付表 1-5 > MIDI Parameter Change table (MULTI PART)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
08 nn 00	1	00..20	Element Reserve	0..32	0(Part10), 2(Others)
nn 01	1	00..7F	Bank Select MSB	0..127	7F(Part10), 00(Others)
nn 02	1	00..7F	Bank Select LSB	0..127	00
nn 03	1	00..7F	Program Number	1..128	00
nn 04	1	00..0F, 7F	Rcv Channel	0..15;1..16,127;off	Part No.
nn 05	1	00..01	Mono/Poly Mode	0:mono,1:poly	01
nn 06	1	00..03	Same Note Number Key On Assign	0:single 1:multi	00
nn 07	1	00..02	Part Mode	2:inst (for DRUM) 0:normal 1:drum(ROM) 2-3:drum(RAM)	00 (Part10以外) 01 (Part10)
nn 08	1	28..58	Note Shift	-24..+24[semitones]	40
nn 09	2	00..FF	Detune	-12.8..+12.7[Hz] 1st bit3..0 → bit7..4 2nd bit3..0 → bit3..0	08 00 -80
nn 0A					
nn 0B	1	00..7F	Volume	0..127	64
nn 0C	1	00..7F	Velocity Sense Depth	0..127	40
nn 0D	1	00..7F	Velocity Sense Offset	0..127	40
nn 0E	1	00..7F	Pan	0:random L63..C..R63(1..64..127)	40
nn 0F	1	00..7F	Note Limit Low	C-2..G8	00
nn 10	1	00..7F	Note Limit High	C-2..G8	7F
nn 11	1	00..7F	Dry Level	0..127	7F
nn 12	1	00..7F	Chorus Send	0..127	00
nn 13	1	00..7F	Reverb Send	0..127	28
nn 14	1	00..7F	Variation Send	0..127	00
nn 15	1	00..7F	Vibrato Rate	-64..+63	40
nn 16	1	00..7F	Vibrato Depth	-64..+63	40
nn 17	1	00..7F	Vibrato Delay	-64..+63	40
nn 18	1	00..7F	Filter Cutoff Freq.	-64..+63	40
nn 19	1	00..7F	Filter Resonance	-64..+63	40
nn 1A	1	00..7F	EG Attack Time	-64..+63	40
nn 1B	1	00..7F	EG Decay Time	-64..+63	40
nn 1C	1	00..7F	EG Release Time	-64..+63	40
nn 1D	1	28..58	MW Pitch Control	-24..+24[semitones]	40
nn 1E	1	00..7F	MW Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
nn 1F	1	00..7F	MW Amp. Control	-100..+100[%]	40
nn 20	1	00..7F	MW LFO PMod Depth	0..127	0A
nn 21	1	00..7F	MW LFO FMod Depth	0..127	00
nn 22	1	00..7F	MW LFO AMod Depth	0..127	00
nn 23	1	28..58	Bend Pitch Control	-24..+24[semitones]	42
nn 24	1	00..7F	Bend Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
nn 25	1	00..7F	Bend Amp. Control	-100..+100[%]	40
nn 26	1	00..7F	Bend LFO PMod Depth	0..127	00
nn 27	1	00..7F	Bend LFO FMod Depth	0..127	00
nn 28	1	00..7F	Bend LFO AMod Depth	0..127	00
TOTAL SIZE 29					
nn 30			Not Used		
:			:		
nn 40			Not Used		
nn 41	1	00..7F	Scale Tuning C	-64..+63[cent]	40
nn 42	1	00..7F	Scale Tuning C#	-64..+63[cent]	40
nn 43	1	00..7F	Scale Tuning D	-64..+63[cent]	40
nn 44	1	00..7F	Scale Tuning D#	-64..+63[cent]	40
nn 45	1	00..7F	Scale Tuning E	-64..+63[cent]	40
nn 46	1	00..7F	Scale Tuning F	-64..+63[cent]	40
nn 47	1	00..7F	Scale Tuning F#	-64..+63[cent]	40
nn 48	1	00..7F	Scale Tuning G	-64..+63[cent]	40
nn 49	1	00..7F	Scale Tuning G#	-64..+63[cent]	40
nn 4A	1	00..7F	Scale Tuning A	-64..+63[cent]	40
nn 4B	1	00..7F	Scale Tuning A#	-64..+63[cent]	40
nn 4C	1	00..7F	Scale Tuning B	-64..+63[cent]	40
nn 4D	1	28..58	CAT Pitch Control	-24..+24[semitones]	40
nn 4E	1	00..7F	CAT Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
nn 4F	1	00..7F	CAT Amplitude Control	-100..+100[%]	40
nn 50	1	00..7F	CAT LFO PMod Depth	0..127	00
nn 51	1	00..7F	CAT LFO FMod Depth	0..127	00
nn 52	1	00..7F	CAT LFO AMod Depth	0..127	00
nn 53			Not Used		
:			:		
66			Not Used		
nn 67	1	00..01	Portamento Switch	off/on	00
nn 68	1	00..7F	Portamento Time	0..127	00
nn 69			Not Used		
:			:		
6E			Not Used		
TOTAL SIZE 3F					

nn = PartNumber

Partにドラムボイスがアサインされている場合、以下のパラメーターは効果がつかない。

- ・ Bank Select LSB
- ・ Pitch EG
- ・ Portamento
- ・ Soft Pedal
- ・ Mono/Poly
- ・ Scale Tuning

< 付表 1-6 > MIDI Parameter Change table (DRUM SETUP)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description (H)	Default Value (H)
3n rr 00	1	00..7F	Pitch Coarse	-64..+63	40
3n rr 01	1	00..7F	Pitch Fine	-64..+63[cent]	40
3n rr 02	1	00..7F	Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 03	1	00..7F	Alternate Group	0:off,1..127	Depend on the Note
3n rr 04	1	00..7F	Pan	0:random L63..C..R63(1..64..127)	Depend on the Note
3n rr 05	1	00..7F	Reverb Send Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 06	1	00..7F	Chorus Send Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 07	1	00..7F	Variation Send Level	0..127	7F
3n rr 08	1	00..01	Key Assign	0:single,1:multi	00
3n rr 09	1	00..01	Rcv Note Off	off/on	Depend on the Note
3n rr 0A	1	00..01	Rcv Note On	off/on	01
3n rr 0B	1	00..7F	Filter Cutoff Freq.	-64..63	40
3n rr 0C	1	00..7F	Filter Resonance	-64..63	40
3n rr 0D	1	00..7F	EG Attack Rate	-64..63	40
3n rr 0E	1	00..7F	EG Decay1 Rate	-64..63	40
3n rr 0F	1	00..7F	EG Decay2 Rate	-64..63	40

TOTAL SIZE 10

n:Drum Setup Number(0 - 1)

rr:note number(0DH - 5BH)

XG SYSTEM on や GM on メッセージを受信すると、Drum Setup Parameter はすべて初期化される。
Drum Setup Reset メッセージにより、各Drum Setup Parameterを初期化することができる。

< 付表1-7 > Effect Type List

- XG ESSENTIAL EFFECT(XG必須)
- Same as LSB=0
- XG OPTION EFFECT
- パネル用に拡張したType

TYPE LSBに,EFFECT TYPEを持たない値を受信した場合、LSB=0のTYPEとなる。

[] ナンバー/名前はパネル上でのもの。

REVERB TYPE

TYPE MSB	TYPE LSB	01	02	03..07	08	09...15	16	17	18	19	20
DEC 00	HEX 00	NO EFFECT									
001	01	[1]HALL1	[5]HALL2				[2]HALL2	[3]HALL3	[4]HALL4		
002	02	[10]ROOM1	[11]ROOM2	[12]ROOM3			[6]ROOM1	[7]ROOM2	[8]ROOM3	[9]ROOM4	
003	03	[15]STAGE1	[16]STAGE2				[13]STAGE1	[14]STAGE2			
004	04	[19]PLATE					[17]PLATE1	[18]PLATE2			
005	05	NO EFFECT									
...
015	0F	NO EFFECT									
016	10	[20]WHITE ROOM									
017	11	[21]TUNNEL									
018	12	[22]CANYON									
019	13	[23]BASEMENT									
020	14	NO EFFECT									
...
127	7F	NO EFFECT									

CHORUS TYPE

TYPE MSB	TYPE LSB	01	02	03..07	08	09...15	16	17	18	19	20
DEC 00	HEX 00	NO EFFECT									
001	01	NO EFFECT									
...
064	40	NO EFFECT									
065	41	[6]CHORUS1	[7]CHORUS2	[5]CHORUS5			[8]CHORUS4				
066	42	[9]CELESTE1	[4]CHORUS4	[10]CELESTE3			[3]CHORUS3	[1]CHORUS1			
067	43	[15]FLANGER 1	[14]FLANGER 4				[11]FLANGER1	[12]FLANGER2	[13]FLANGER3		
068	44	NO EFFECT									
...
127	7F	NO EFFECT									

VARIATION TYPE(0-63)

TYPE MSB	TYPE LSB	01	02	03..07	08	09...15	16	17	18	19	20
DEC 00	HEX 00	NO EFFECT									
001	01	[1]HALL1	[5]HALL2				[2]HALL2	[3]HALL3	[4]HALL4		
002	02	[10]ROOM1	[11]ROOM2	[12]ROOM3			[6]ROOM1	[7]ROOM2	[8]ROOM3	[9]ROOM4	
003	03	[15]STAGE1	[16]STAGE2				[13]STAGE1	[14]STAGE2			
004	04	[19]PLATE					[17]PLATE1	[18]PLATE2			
005	05	[21]DELAY L,C,R					[20]Delay LCR				
006	06	[22]DELAY L,R									
007	07	[23]ECHO									
008	08	[24]CROSS DELAY									
009	09	[25]ER1	[26]ER2								
010	0A	[27]GATE REVERB									
011	0B	[28]REVERS GATE									
012	0C	NO EFFECT or THRU*									
...
019	13	NO EFFECT or THRU*									
020	14	[29]KARAOKE 1	[30]KARAOKE 2	[31]KARAOKE 3							
021	15	NO EFFECT or THRU*									
...
063	3F	NO EFFECT or THRU*									

* Effect Connectionが、System時No Effect、Insertion時Thru.

VARIATION TYPE (64-127)

TYPE MSB	TYPE LSB	01	02	03..07	08	09...15	16	17	18	19	20
DEC 04	HEX 40	THRU									
065	41	[37]CHORUS1	[38]CHORUS2	[36]CHORUS5			[39]CHORUS4				
066	42	[40]CELESTE1	[35]CHORUS4	[41]CELESTE3			[33]CHORUS2	[34]CHORUS3	[32]CHORUS1	[53]Rotary Sp5	
067	43	[46]FLANGER 1	[45]FLANGER 4				[42]FLANGER1	[43]FLANGER2	[44]FLANGER3		
068	44	[48]SYMPHONIC						[47]Symphonic			
069	45	[54]ROTARY SP.						[49]Rotary Sp1			
070	46	[57]TREMOLLO						[55]Tremolo1	[52]Rotary Sp4		
071	47	[60]AUTO PAN						[36]AutoPan	[50]Rotary Sp2	[51]Rotary Sp3	[56]Tremolo2
072	48	[61]PHASER									[58]Gtr Tremolo
073	49	[65]DISTORTION					[62]PHASER 2				
074	4A	[66]OVER DRIVE									
075	4B	[67]JAMP SIM.									
076	4C	[70]3BAND EQ						[63]DIST.HARD	[64]DIST.SOFT		
077	4D	[71]2BAND EQ						[68]EQ DISCO	[69]EQ TEL		
078	4E	[73]AUTO WAH									
079	4F	THRU						[72]Auto Wah			
...
127	7F	THRU									

TOUCH WAH 1 (variation, insertion block), TOUCH WAH+DIST (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitive	0-127	0-127		●
2	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127		
3	Resonance	1.0-12.0	10-120		
4					
5	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	
6	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		
7	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3	
8	EQ High Gain	-12+12dB	52-76		
9	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127		
10					
11	Drive	0-127 (variation block)	0-127		
12					
13					
14					
15					
16					

TOUCH WAH 2 (variation, insertion block), TOUCH WAH+ODRV (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitive	0-127	0-127		●
2	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127		
3	Resonance	1.0-12.0	10-120		
4					
5	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	
6	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		
7	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3	
8	EQ High Gain	-12+12dB	52-76		
9	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127		
10					
11	Drive	0-127 (variation block)	0-127		
12	EQ Low Gain (distortion)	-12+12dB (variation block)	52-76		
13	EQ Mid Gain (distortion)	-12+12dB (variation block)	52-76		
14	LPF Cutoff	1.0kHz-thru (variation block)	34-60	table#3	
15	Output Level	0-127 (variation block)	0-127		
16	Release	10-680ms	52-67		

PITCH CHANGE 1 (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Pitch	-24+24	40-88	table#7	●
2	Initial Delay	0.1mS-400.0mS	0-127		
3	Fine 1	-50+50	14-114		
4	Fine 2	-50+50	14-114		
5	Feedback Level	-63+63	1-127		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127		
11	Pan 1	L63-R63	1-127		
12	Output Level 1	0-127	0-127		
13	Pan 2	L63-R63	1-127		
14	Output Level 2	0-127	0-127		
15					
16					

PITCH CHANGE 2 (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Pitch	-24+24	40-88	table#7	●
2	Initial Delay	0.1mS-400.0mS	0-127		
3	Fine 1	-50+50cent	14-114		
4	Fine 2	-50+50cent	14-114		
5	Feedback Level	-63+63	1-127		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127		
11	Pan 1	L63-R63	1-127		
12	Output Level 1	0-127	0-127		
13	Pan 2	L63-R63	1-127		
14	Output Level 2	0-127	0-127		
15					
16					

COMPRESSOR (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Attack	1-40ms	0-19	table#8	
2	Release	10-680ms	0-15	table#9	
3	Threshold	-48-6dB	79-121		
4	Ratio	1.0-20.0	0-7	table#10	
5	Output Level	0-127	0-127		
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

NOISE GATE (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Attack	1-40ms	0-19	table#8	
2	Release	10-680ms	0-15	table#9	
3	Threshold	-72-30dB	55-97		
4	Output Level	0-127	0-127		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

VOICE CANCEL (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11	Low Adjust	0-26	0-26		
12	High Adjust	0-26	0-26		
13					
14					
15					
16					

NO EFFECT (reverb, chorus, variation block), THRU (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

HARMONIC ENHANCER (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	HPF Cutoff	500Hz-16kHz	28-58	table#3	
2	Drive	0-127	0-127		
3	Mix Level	0-127	0-127		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

TALKING MODULATION (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Vowel	a,i,u,e,o	0-4		
2	Move speed	1-62	1-62		
3	Drive	0-127	0-127		
4	Output Level	0-127	0-127		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

LO-FI (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sampling Freq Control	a,i,u,e,o	0-4		
2	Word Length	1-62	1-62		
3	Output Gain	0-127	0-127		
4	LPF Cutoff	0-127	0-127		
5	Filter Type	Thru,PowerBass,Radio,Tel,Clean,Low	0-5		
6	LPF Resonance	1.0-12.0	10-120		
7	Bit Assign	0-6	0-6		
8	Emphasis	Off/On	0-1		
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14					
15	Input Mode	mono/stereo			
16					

DIST+DELAT (variation block), OVERDRIVE+DELAT (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Lch Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860		
2	Rch Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860		
3	Delay Feedback Time	0.1-1486.0ms	1-14860		
4	Delay Feedback Level	-63+63	1-127		
5	Delay Mix	0-127	0-127		
6	Dist Drive	0-127	0-127		
7	Dist Output Level	0-127	0-127		
8	Dist EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		
9	Dist EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14					
15					
16					

COMP+DIST+DELAT (variation block), COMP+OVERDRIVE+DELAT (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control	
1	Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860			
2	Delay Feedback Level	-63+63	1-127			
3	Delay Mix	0-127	0-127			
4	Dist Drive	0-127	0-127			
5	Dist Output Level	0-127	0-127			
6	Dist EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
7	Dist EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76			
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			
11	Comp. Attack	1ms-40ms	0-19			table#8
12	Comp. Release	10ms-680ms	0-15			table#9
13	Comp. Threshold	-48dB-6dB	79-121			
14	Comp. Ratio	1.0-20.0	0-7			table#10
15						
16						

WAH+DIST+DELAT (variation block), WAH+OVERDRIVE+DELAT (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860		
2	Delay Feedback Level	-63+63	1-127		
3	Delay Mix	0-127	0-127		
4	Dist Drive	0-127	0-127		
5	Dist Output Level	0-127	0-127		
6	Dist EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		
7	Dist EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76		
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127		
11	Wah Sensitive	0-127	0-127		
12	Wah Cutoff Freq Offset	0-127	0-127		
13	Wah Resonance	1.0-12.0	10-120		
14	Wah Release	10-680ms	52-67		
15					
16					

* (注: Parameter10 Dry/WetはInsertion型Effectにのみ有効)

MIDIインプリメンテーションチャート

[Portable Keyboard]
Model : PSR-540

MIDI Implementation Chart

Date :3-MAR-1999
Version : 1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 - 16 *1 1 - 16 *1	1 - 16 *2 1 - 16 *2	
Mode Default Messages Altered	3 x *****	3 x x	
Note Number : True voice	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	o 9nH,v=1-127 x 9nH,v=0	o 9nH,v=1-127 x	
After Key's Touch Ch's	x x	x o	
Pitch Bend	o	o	
Control Change	0,32 o 1,5,11 x 7,10 o 6,38 o 64,66-67 o 65 x 72 o 71,73-74 x 84 x 91,93-94 o 96-97 x 98-99 x 100-101 o	o o o o o o o o o o o o o o	Bank Select Data Entry Portamento Sound Controller Sound Controller Portament Cntrl Effect SendLevel Data Inc,Dec NRPN LSB,MSB RPN LSB,MSB
Prog Change : True #	o 0 - 127 *****	o 0 - 127	
System Exclusive	o	o	
: Song Pos. Common : Song Sel. : Tune	x x x	x x x	
System : Clock Real Time : Commands	o o	o o	
Aux : All Sound Off : Reset All Cntrls : Local ON/OFF Mes- : All Notes OFF sages : Active Senseo : Reset	x x x x o x	o o x o (123-127) x	

Mode 1 : OMNI ON, POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
x : No

- *1 R1、R2、L、スタイル、ソングの各トラックはパネル設定により送信できません。(114ページ)
- *2 初期設定(工場出荷時)でMIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能しパネル音色、あるいは他のパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、スタイル、マルチパッドおよびソングセッティングに影響します。
- ・ MIDI マスターチューン、XG システムマスターチューン
 - ・ XG システムトランスポート
 - ・ リバーブ、コーラス、DSPエフェクトを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ

また、以下のMIDI受信モード設定においても鍵盤演奏、パネル設定に影響します。これらのモードはパネル操作によって選択することができます。(115ページ)

Keyboard(キーボード) :	Keyboardに設定されたチャンネルで受信したノートオン/オフメッセージは、鍵盤演奏と同じ方法で扱われます。以下のチャンネルメッセージだけがこのモードにおいて認識されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートオン/オフ ・ コントロールチェンジ <ul style="list-style-type: none"> バンクセレクト(R1のみ) モジュレーション ボリューム(R1のみ) データエントリー パンポット(R1のみ) エクスペッション サステイン ソステヌート ソフトペダル ハーモニックコンテンツ リリースタイム ブライトネス エフェクト1デプス (リバーブセンドレベル) (R1のみ) エフェクト3デプス(コーラスセンドレベル) (R1のみ) エフェクト4デプス (バリエーションセンドレベル) (R1のみ) RPN(ピッチベンドセンシティブィティ) オールノートオフ ・ プログラムチェンジ(R1のみ) ・ ピッチベンド
Root(ルート) :	Rootに設定されたチャンネルで受信したノートオン/オフメッセージは、自動伴奏鍵域のベース音として認識されます。ベース音はパネル上のアカンパニメントオン/オフ、フィンガリングモード、アカンパニメントのスプリットポイントに関係なく検出されます。
Chord(コード) :	Chordに設定されたチャンネルで受信したノートオン/オフメッセージは、自動伴奏鍵域での押鍵として認識されます。検出されるコードは、フィンガリングモードに依存します。コードはパネル上の自動伴奏オン/オフ、アカンパニメントのスプリットポイントに関係なく検出されます。
Off(オフ) :	Offに設定されたチャンネルにおいてチャンネルメッセージは一切受信しません。

索引

五十音順

ア

アカンパニメントスタイル	98
アカンパニメントボリューム	37

イ

移調(トランスポーズ)	30
イニシャルセンド	117
インサクションエフェクト	50, 131
イントロ	34, 96

エ

エコー	50
エディット	78, 96
エンディング	34, 96

オ

オクターブ	74, 77, 88, 119
オートアカンパニメント(自動伴奏)	32
オートフィル	34
オプション商品	135
オンベースコード	40
音量の調整	15

カ

各部の名称	10
乾電池	12, 13, 135

キ

キーボード	115
キーボードパーカッション	31
極性(フットスイッチ)	121
曲の途中から再生する	71

ク

クオンタイズ	86, 102
クリア	91, 95, 104
クロック	116

ケ

鍵盤	29
鍵盤ごとのピッチの調整	119
鍵盤で打楽器音を鳴らす	31
鍵盤を弾いたときの感度	120

コ

故障かな?と思ったら	134
コード	16, 38, 115
コード1/2(自動伴奏トラック)	37, 96
コードノート	93, 101
コードマッチ(マルチパッド)	43, 44, 94
コントロールチェンジ	107

サ

再生	32, 33, 59, 68
最大同時発音数	123
サステイン	13, 121
サンプルディスク	4, 59

シ

システムエフェクト	50, 131
自動伴奏(オートアカンパニメント)	32
自動伴奏オン/オフ	25, 33
受信チャンネル	115
仕様	158
初期化(イニシャライズ)	135
シングルフィンガー	38
シンクロスタート	33, 34
シンクロストップ	41
シンクロ待機状態	25

ス

スケールチューニング	119
スタイル	32
スタイルファイル	9, 57, 109
スタイルモード	25
スタート	15, 32, 33, 59, 69
スタートメジャー	71, 84
スタンダードMIDI	109
スタンバイ/オンスイッチ	15, 135
スプリットポイント	29

セ

セクション(自動伴奏)	34
セーブ	60, 81, 83, 89

ソ

送信チャンネル	114
ソステヌート	121
ソフト	121
ソングコピー	64
ソングプレイモード	69
ソングボリューム	70
ソングモード	25

タ

ダイアル	20
ダイレクトアクセス	24
タッチセンス	120
タッチレスポンス	120
タップ	36, 121

チ

チューニング	119
--------	-----

テ

ディスクモード	25
ディスプレイ	16
デジタルエフェクト	46, 131
デモソング	15
デリート	67
電源アダプター	10, 12
電源の準備	12
電源を入れる	15
テンポ	16, 36

ト

同梱品	4
ドラムキット	31
ドラムキットリスト	128
ドラムキャンセル	99
トランスポーズ	30, 73

ナ

ナンバーボタン	20
---------	----

ノ

ノートオフ	106
ノートオン	106

ハ

パッド(自動伴奏トラック)	37, 96
パートオクターブ	119
パートの設定	74
パネル設定	54, 117
パネルボイス	123
ハーモニー	50
ハーモニー/エコータイプリスト	133
ハーモニーボリューム	52
パラメーターエディット	77
パン	74, 88, 107
バンク	44, 56

ヒ

ピッチベンド	30
ピッチベンドレンジ	122
ビートランプ	16

フ

フィルイン	34, 96
フィンガード1	38
フィンガード2	38
フィンガリング	38
フォーマット	60
フットスイッチ	13, 121
譜面立て	4, 14
フリーズ機能	55
フルキーボード	38
プレイモード	69
フレーズ1/2(自動伴奏トラック)	37, 96
プログラムチェンジ	107
フロッピーディスク	58

ヘ

ベース(自動伴奏トラック)	37, 96
ヘッドフォン	13
ベロシティ	106

ホ

ボイス(音色)	26
ボイスセット	120
ボイスデータ	88
ボイスリスト	123
保証とアフターサービス	159
ボリューム	37, 52, 70, 74, 88, 107

マ

マスターボリューム	15
マルチパッド	43
マルチパッドバンクリスト	45
マルチフィンガー	38

ミ

ミディ(MIDI)	106
-----------	-----

メ

メインA(セクション)	34, 96
メインB(セクション)	34, 96
メジャー	16
メトロノーム	118
メロディ	80

モ

モード 25

ユ

ユーザースタイル 96

ユーザーソング 78

ユーザーパッド 92

リ

リズム(自動伴奏トラック)..... 37, 96

リハーサルモード 25

リバーブ 46

リバーブタイプリスト 132

リバーブデプス 47

リピート再生 72

ル

ルート 115

ルートキー 38

レ

レジストレーションメモリー 54

ロ

ローカルコントロール 116

録音 78, 92, 96

録音モード 25

ロード 62

ワ

和文シート 4, 14

ワンタッチセッティング 42

アルファベット順

A

ACCOMPANIMENT(オートアカンパニメント = 自動伴奏)...	32
ACMP(ACCOMAPNIMENTの省略).....	33

B

BACK(バック).....	17
Bank(バンク).....	44, 56
Bend Range	122
Break(ブレイク).....	121

C

CHORD(コード = 和音).....	16, 115
Chord Match(コードマッチ).....	43, 44
Chorus(コーラス).....	48
Clea(クリア = 消去).....	91, 95, 104
Clock(クロック).....	116
Copy(コピー).....	64

D

DELETE(デリート = 削除).....	67
Depth(デプス = 効果の深さ).....	77
DIRECT ACCESS(ダイレクトアクセス).....	24
DSP	49

E

ECHO(エコー).....	50
Edi(エディット = 編集).....	74, 78
EXIT	17
Ex(エクスターナル = 外部の).....	117

F

FORMAT(フォーマット).....	60
FREEZE(フリーズ = 固定).....	55
FUNCTION(ファンクション = 機能).....	17, 118

G

GM	9, 109
----------	--------

H

HARMONY(ハーモニー).....	50
---------------------	----

I

In(インターナル = 内部の).....	117
-----------------------	-----

K

Keyboard(キーボード = 鍵盤).....	115
---------------------------	-----

L

LOAD(ロード).....	62
Local Control(ローカルコントロール).....	116

M

Measure(メジャー = 小節).....	16
Melody(メロディ).....	80
Metronome(メトロノーム).....	118
MIDI(ミディ).....	106
MIDIインプリメンテーションチャート	150
MIDI受信設定	115
MIDI送信設定	114
MIDI端子	107
MIDIチャンネル	108
MIDIデータフォーマット	138
MIXER(ミキサー).....	17, 76
MULTI PAD(マルチパッド).....	43
Multi Track(マルチトラック録音).....	82

N

Name(ネーム = 名前).....	21, 56, 61, 90, 94, 104
NEXT(ネクスト = 次の).....	17

O

Octave(オクターブ).....	119
ONE TOUCH SETTING(ワンタッチセッティング).....	42

P

Par(パン).....	77, 89
Parameter Edi(パラメーターエディット).....	74, 77
Part Octave(パートオクターブ).....	119
PART ON/OFF(パートオン/オフ).....	27, 28
PITCH BEND(ピッチベンド).....	30
Punch In/Out(パンチイン/アウト).....	84

Q

Quantize(クオンタイズ).....	86, 102
Quick(クイック録音).....	80

R

Receive(レシーブ = 受信).....	115
RECORD(レコード = 録音).....	80, 92, 98
REGISTRATION MEMORY(レジストレーションメモリー).....	54
Repea(リピート).....	72
Return Level(リターンレベル).....	47, 48, 49
Reverb(リバース).....	46
Root(ルート).....	115

S

SAVE(セーブ=保存).....	60
Scale Tuning(スケールチューニング).....	119
Sof(ソフト).....	121
SONG COPY(ソングコピー).....	64
Sostenuto(ソステヌート).....	121
Split Point(スプリットポイント).....	29, 33, 119
Start Measure(スタートメジャー=開始する小節).....	71
START/STOP(スタート/ストップ).....	32, 69, 99, 101
STYLE(スタイル).....	17, 25, 34
Sustain(サステイン).....	121
SYNC START(シンクロスタート).....	25
SYNC STOP(シンクロストップ).....	41

T

TEMPO/TAP(テンポ/タップ).....	36
TO HOST(トゥーホスト).....	107
Touch Sense(タッチセンス).....	120
TRACK(トラック).....	37, 70
Transmit(トランスミット=送信).....	114
TRANSPOSE(トランスポーズ=移調).....	30, 73
Tuning(チューニング).....	119

U

User Pad(ユーザーパッド).....	92
User Song(ユーザーソング).....	78
User Style(ユーザースタイル).....	96
UTILITY(ユーティリティ).....	60, 64, 67, 118

V

VOICE(ボイス).....	17, 26
VOICE CHANGE(ボイスチェンジ).....	17, 74
VOICE L(ボイスL).....	26
VOICE R1(ボイスR1).....	27
VOICE R2(ボイスR2).....	28
Voice Set(ボイスセット).....	120
VOL(VOLUMEの省略).....	37, 70
VOLUME(ボリューム).....	15, 37, 70, 76, 89

X

XG.....	9, 109
XG/GM.....	115

コンピューターを使って、PSR-540をもっと楽しんでいただくために

何が必要なの？

PC(パーソナルコンピューター、以下略)
PCと楽器をつなぐケーブル(お使いのPCの種類によって異なります。詳しくは、110ページをご覧ください。)
MIDI Driver(PCから音源にデータを送るために必要なソフトウェアです。)
Macintoshをお使いの方は、すでにインストールされていますので、用意する必要はありません。
MIDI Driverのインストール方法については、「どうすればいいの?」をご参照ください。
MIDI再生用ソフト(PC上でMIDIソングデータを再生するために必要です。)
XGworks、MIDPLUG、メディアプレーヤーや市販のシーケンソフトのことで、詳しくは、以下「何ができるの?」や「どうすればいいの?」をご参照ください。

どうやってつなぐの？

PCのシリアルポート(RS-232C/RS-422)とPSR-540のTO HOST端子を専用ケーブルでつなぎます。詳しくは111ページをご覧ください。

TO HOST 端子とは？

「1本のケーブルでMIDIデータの送受信ができる端子です。」

HINT TO HOST端子は大変便利な端子です。この端子がない場合、通常のMIDIケーブルを2本使用し、さらにPC側にMIDI用ボードを装着する必要があります。特にNote PCをご使用の場合、MIDI用ボードを装着できないので、TO HOST端子は大変便利です。

インターネットをすでにご利用の方は、引き続き以下をお読みください

インターネットを未使用の方は、
「インターネット未使用の方のために」をお読みください。

何ができるの？

自宅がカラオケが楽しめます。(マイク、マイク用アンプは別途必要です。)
通信音楽 <http://www.midilink.co.jp/yamaha/>
にアクセスしてみましょう。きっと楽しさが実感できるはずですよ。
Macintoshをお使いの方は、別売りのソフト「音楽」を使用するとカラオケが楽しめます。
インターネット上で世界中のMIDIソングデータが聴けます。
MIDPLUGなどのMIDI再生ソフトをインストールすれば、世界中のMIDIファイルが再生可能です。また、自分のハードディスクにダウンロードすれば、無限にライブラリが増えていきます。最新のヒット曲をダウンロードできます。
<http://www.yamaha.co.jp/xg/pds/pds.html>
(YAMAHAのフリーソング集です。)
<http://www.midilink.co.jp/yamaha/>
<http://www.midipal.co.jp/>
<http://www.avexnet.or.jp/midizone/index.htm>

ピアノの練習が自宅で手軽にできます。
別売りのソフト「これからはじめる大人のピアノ」を使用してピアノのレッスンが可能です。
<http://www.ymm.co.jp/cdrom/pds/>
市販のMIDIソングデータを使用して、自分だけのソングデータの作成が可能です。
XGworksを使用してお好みの作/編曲ができます。
<http://www.yamaha.co.jp/xg/utility/xgwup.html>から無料で体験版がダウンロードできます。
XGworksは、YAMAHA独自のシーケンサーでMIDIソングデータの編集/作成が容易です。

どうすればいいの？

Windows95/98をお使いの方

- 1 YAMAHA MIDI Driverをインストールしてください。
同梱ディスクにMIDI Driverが入っています。
インストール方法については、同梱ディスク内のREADME.txtをご参照ください。
- 2 PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは111ページをご覧ください)
- 3 <http://www.yamaha.co.jp/xg/pds/pds.html>にアクセスし、MIDIデータを入力し、ダブルクリックしてください。
- 4 メディアプレーヤーが立ち上がり、音が出ることを確認してください。
メディアプレーヤーが立ち上がらない場合、
<http://www.yamaha.co.jp/xg/midplug/top.html>にアクセスしてMIDPLUGをダウンロードしてください。

Macintoshをお使いの方

- MIDI Driverのインストールは必要ありません。
- 1 PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは111ページをご覧ください)
 - 2 <http://www.yamaha.co.jp/xg/midplug/top.html>にアクセスしてMIDPLUGをダウンロードしてください。
 - 3 <http://www.yamaha.co.jp/xg/pds/pds.html>にアクセスし、MIDIデータを選び、クリックしてください。
MIDPLUGが立ち上がり、音が出ます。

インターネットを未使用の方のために

何ができるの？

ピアノの練習が自宅で手軽にできます。
別売りのソフト「これからはじめる大人のピアノ」を使用してピアノのレッスンが可能です。
市販のMIDIソングデータを使用して、自分だけのソングデータの作成が可能です。
XGworksを使用してお好みの作/編曲ができます。
XGworksは、YAMAHA独自のシーケンサーでMIDIソングデータの編集/作成が容易です。

どうすればいいの？

Windows95/98をお使いの方

- 1 YAMAHA MIDI Driverをインストールしてください。
同梱ディスクにMIDI Driverが入っています。
インストール方法については、同梱ディスク内のREADME.txtをご参照ください。
 - 2 PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは111ページをご覧ください)
MIDIデータを再生するために、MIDPLUG/XGworksなどのソフトウェアが必要です。
- #### Macintoshをお使いの方
- MIDI Driverのインストールは必要ありません。
PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは111ページをご覧ください)
MIDIデータを再生するために、MIDPLUGなどのソフトウェアが必要です。

* 記載してあるURLは予告なく変更されることがあります。
* 上記情報を通じて得られたデータなどには各々著作権を保持する権利者があり、お客様が個人的な楽しみのため以外の目的でご使用、無断複製等を行ったり、商業的、あるいは公的に使用した場合著作権侵害にあたります。

* 上記情報を通じて得られた情報およびそれを運用した結果については弊社では一切責任を負いません。
* 通信障害によるデータ破損については弊社では、一切責任を負いません。
* Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
* Macintoshは、米国Apple社の商標です。

仕様一覧

鍵盤

レギュラーサイズ61鍵(C1~C6: タッチレスボンス付)

ディスプレイ

大型液晶ディスプレイ(LCD)

セットアップ

スタンバイ/オンスイッチ
マスターボリューム: MIN~MAX

デモソング

5曲

リアルタイムコントロール

ピッチベンドホイール

コントロール&ナンバーボタン

FUNCTION, SONG, STYLE, VOICE L, VOICE R1, VOICE R2, VOICE CHANGE, MIXER, NEXT/BACK, EXIT
データダイヤル, ナンバーボタン[0] ~ [9], [+ /YES], [- /NO]

全体のコントロール

テンポ: 32~280
トランスポーズ(移調)

ボイス

パネルボイス215音色 + 12ドラムキット + XG Voices480音色
最大同時発音数32
ボイスセット機能
R1/R2/L ボイス
パートオン/オフ (R1/R2/L)
ボイスチェンジ
ミキサー(ボリューム)
パラメーターエディット: Octave, Pan, Reverb Depth, Chorus Depth, DSP Depth

自動伴奏

106スタイル
自動伴奏トラック : RHYTHM1/2, BASS, CHORD 1/2, PAD, PHRASE1/2
自動伴奏トラック設定 : オン/オフ
自動伴奏コントロール : 自動伴奏オン/オフ, シンクロスタート, シンクロストップ, スタート/ストップ, イントロ, メインA/B(オートフィル), エンディング/リタルダンド

ビートランブ

自動伴奏ボリューム
ボイスチェンジ
ミキサー
パラメーターエディット: Pan, Reverb depth, Chorus depth, DSP depth
ワンタッチセッティング
フィンガリング : マルチフィンガー/シングルフィンガー/フィンガード1/フィンガード2/フルキーボード

マルチパッド: 1~4

36マルチパッドバンク
コードマッチ
ネーミング

デジタルエフェクト

リバーブ : 24種類
コーラス : 16種類
DSP (システム/インサーション) : 74種類
ハーモニー/エコー : 22種類

レジストレーションメモリー: 1~4

32バンク
ネーミング
自動伴奏フリーズ

ディスク

ソング再生/録音
ロード
セーブ
ユーティリティ: フォーマット, ソングコピー, デリート

ソング

ソング音量
ソングトラック設定: オン/オフ
リピートプレイ
ソングトランスポーズ

ソング録音

クイック録音/マルチ録音
録音トラック: 1~16
パンチイン/パンチアウト
クオンタイズ
ネーミング
クリア
セットアップデータ: Volume, Octave, Pan, Reverb depth, Chorus depth, DSP depth

マルチパッド録音

ユーザーパッドバンク: 4 (37~40)
ネーミング
クリア
コードマッチ

スタイル録音

ユーザースタイル: 3 (107~109)
録音トラック : 6セクション×8トラック
ドラムキャンセル
クオンタイズ
ネーミング
クリア

MIDI

送信設定, 受信設定, ローカルコントロール, クロック, イニシャルデータセンド, MIDI テンプレート

その他の機能

メトロノーム, パートオクターブ, マスターチューニング, スケールチューニング, スプリットポイント, タッチセンス, ボイスセット, フットスイッチ機能設定, ピッチベンドレンジ

付属端子

DC IN 10-12V, PHONES, SUSTAIN, AUX OUT R, L+R/L, MIDI IN/OUT, TO HOST

アンプ実用最大出力

電源アダプターPA-6使用時: 6W + 6W
乾電池使用時: 4.5W + 4.5W

スピーカー

12 cm x 2

消費電力

28W(電源アダプターPA-6使用時)

電源

アダプター: PA-6
定格電圧: DC10-12V
定格電流: 2A
電池: 単1乾電池(1.5V)×6

電池寿命

アルカリ電池: 約12時間
(デモ演奏連続使用, マスターボリューム 約70%)

寸法(幅×奥×高mm)

952×387×169 (mm)

重量(kg)乾電池含まず

8.7kg

付属品

サンプルディスク
電源アダプターPA-6
譜面立て
和文シート
取扱説明書
保証書

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、バックライト、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL. 06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL. 087-822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-1158

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-1696
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

電子楽器事業部 営業部	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1 国内営業第二グループ	TEL. 053-460-3275
EM東京事業所 企画課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-5476
北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6113
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル	TEL. 022-222-6147
関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-1688
EM大阪事業所 第二営業課	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL. 06-6252-7491
名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5199
広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL. 082-244-3749
九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2130

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>

ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division, Yamaha Corporation
© 1999 Yamaha Corporation

??????? ???POTY???.?-01A0 Printed in China